

MFJ

国内競技規則書

1989年版



日本モーターサイクル協会



加速レスポンスが 違う! 高性能プラグ

プラチナ特殊合金中心電極

プラチナ特殊合金の超極細中心電極 (0.7φ) 使用により、飛火性を向上。接合部はレーザー3点溶接により、すぐれた信頼性を発揮します。



テーパーカット接地電極

従来のU溝カットをさらに極めたテーパーカット接地電極の採用により、消炎作用を低減させ、着火性を向上。絶妙の加速レスポンスと高出力を実現しました。



ZU
DENSO
 SPARK PLUGS
 日本電装株式会社
 〒448 愛知県刈谷市昭和町1-1 TEL.0566)22-3311

グ
イ
グ
イ
ツ

ド
レ
ス
ポ
ン
ス



THE RADIAL

モータースポーツのトレンドは、ラジアル。
そこで、朗報をひとつ。
サーキットにおいて、幾多にもおよぶ
残してきたバトラックスに、
BT-60S RADIAL、
BT-62S RADIALが、ラインナップ。
その計り知れないポテンシャル、
可能性に対し、いま、サーキットが、
ストリートが、一斉にバトラックス・コール！

'88鈴鹿4時間耐久レースで、
レーシング・バトラックスがV3の偉業を達成。
しかも、1位から5位までを独占！

RADIAL

■THE DRY		■THE DRY & WET		■THE DRY		■THE DRY & WET	
BT-60S RADIAL		BT-62S RADIAL		BT-09S BT-10S		BT-17S SOCT	
F	R	F	R	F	R	F	R

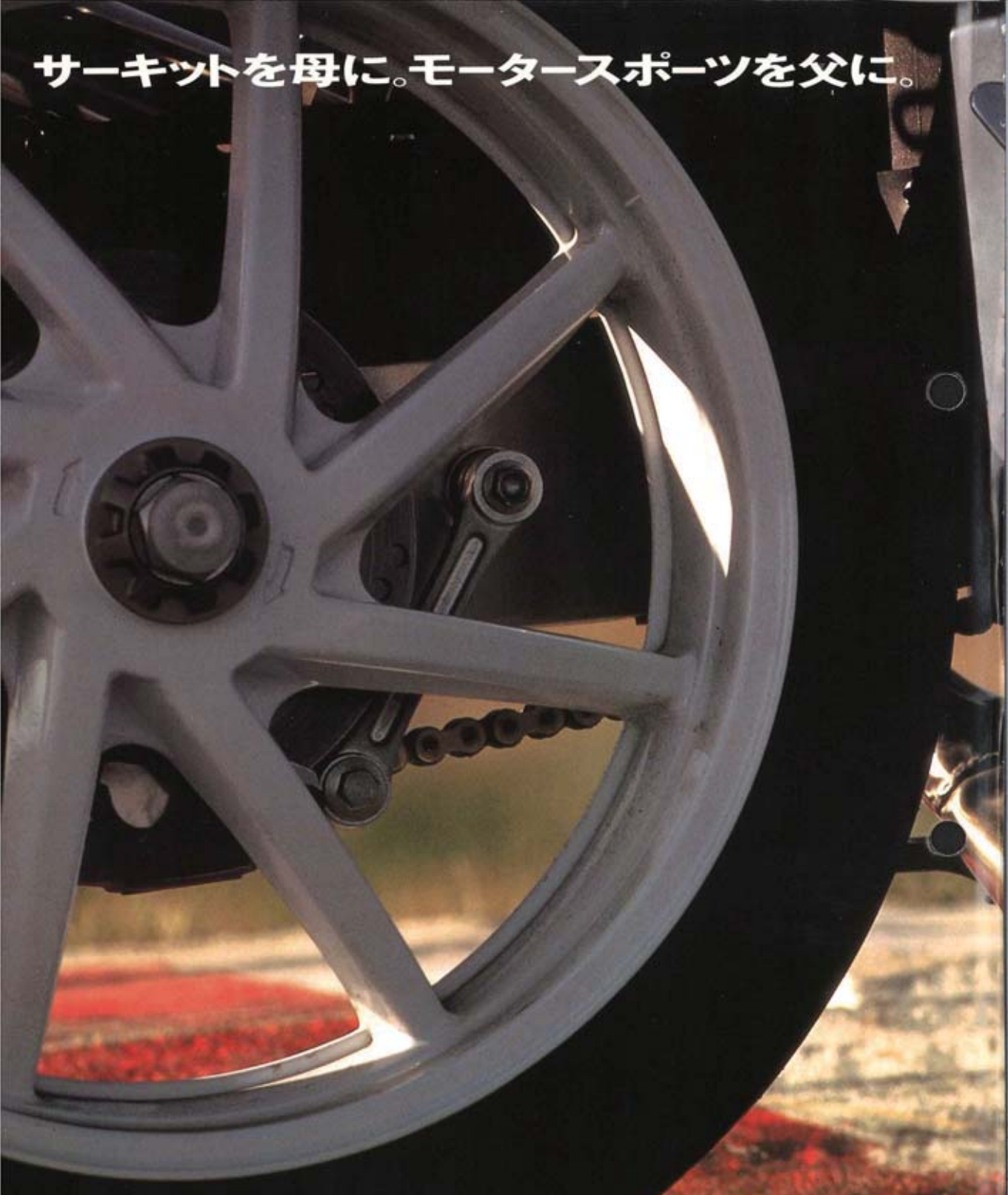
NEW

レーシングパフォーマンスを秘めたロードギア

BATTLAX-S

from BRIDGESTONE MOTORSPORT

サーキットを母に。モータースポーツを父に。



NEW **VF-R400R**

NC30

●水冷DOHC4バルブ90度V型4気筒エンジン ●カムギアトレントドライブ
●ラジアルタイヤ ●先進のエプロンミクス ●ジュラルミン鍛造のスタンプ ●同
高出力59PS/12,500rpm ●最大トルク4.0kg-m/10,000rpm ●車両重量182kg ●乾燥重量164kg
●ブレーキ/後・油圧式ディスクブレーキ ●タイヤサイズ：前120/60R17 55H・後160/60R18 62H

We Like Bikes.

バイクが好きだから、セーフティライド。

- ヘルメットを正しくかぶりましょう。 ●点検整備を忘れずに。 ●安全のため改造はやめましょう。
- 心にゆとりのもてるスピードで走りましょう。 ●カーブではスピードをひかえめに。
- 追越しは余裕をもって。 ●自分を目立たせるため、早朝・夕方「ヘッドライト早め点灯」を。

VFR マシンにこの名を冠するためには、いくつもの条件を満たさなければならない。まず、パワー、トルク、車体構成などに群を抜いた優位性を誇る4サイクルV型4気筒エンジンを搭載していること。次に、この力強くソウルフルなパワーユニットを、比類なき高剛性のシャシーで包むこと。さらに、コンマ1秒を争うために生まれた必然のフォルムで、その姿を覆うこと。そしてなにより、モータースポーツの頂点に君臨するマシン、RVFと呼応して生まれなければならないことである。RVFが進化するとき、VFRもまた進化する。サーキットで生まれ、コンマ1秒の争いに育まれたマシンのポテンシャルを秘めて、VFR400R、新登場。第3世代へと進化した、V4のチカラを味わう日がやってきた。

FORCE V4



ト式ローカームの動力系・上下分離式の大型ランジェーター・RVFイメージの左出しマフラー・5角形目録の半断面アルミインテグレートバックボーンフレーム・独自のプロアーム・センターロックリアホイール・前輪のベタル類 主要諸元 ●型式NC30 ●水冷4サイクルDOHC4バルブ90度V型4気筒・399cm³ ●最高速 ●点火方式：フルポイント式 ●点火方式：6段リターン電圧 ●ブレーキ：前・油圧式ダブルディスク ●後：ドラム ●車体色：シールドシルバーメタリック・ブラック・ブルーメタリック・ロスホワイト・ファイアリングレッド ●標準現金価格（北海道、沖縄および一部離島を除く）¥749,000 ●諸税別打込価格（消費税別）¥819,000 ●価格には送料・税・登録料など（別）諸費用は含まれていません。

■標準現金価格（北海道、沖縄および一部離島を除く）¥749,000

V4 MOMENTUM

VFR400Rに最大成されたV4テクノロジーを、48ページにまとめた小冊子（B5判）ができました。一部480円（郵送料とも）お申し込みは切手480円分を同封のうえ、〒107 東京都港区南青山2-1-1 本田技研工業㈱販売促進部V4 BOOK係まで。



「もっと楽しく、安全なライディング」をHondaは提案します。
スポーツバイクをお買い上げのお客様に「セーフティアドバイス」を実施中。その場で、あなたのライディング特性が分かります。また、本格的テクニックを身につけたい、ライダー仲間におススメのものか「カンダ・スポーツ・ライディングスクール」。ライディングの安全性と楽しさを追求する実践的スクールです。さあ、キミも参加してみよう。



SEE YOU

声援をありがとう。来年も、サーキットで、そして

'88世界選手権ロードレース500ccクラス
ヤマハ、3年連続メーカーチャンピオン
E.ローソン、3度目の世界制覇決定！

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。 ■ヘルメットを正しくかぶりましょう。 ■点検・整備を忘れずに。
●安全速度で走りましょう。無理な加速はやめましょう。 ●カーブではスピードをひかめに。 ●よく見る、よく見られることに努めましょう。 ●早朝・夕暮れは早めにヘッドライトの点灯を。
●競技用に改造した車両での公道走行はできません。 ●YRSで正しいライディングテクニックをマスターしましょう。
カタログご希望の方は機種名・雑誌名を明記のうえ、郵便切手170円を添えて、〒438 静岡県豊田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課まで。

'88全日本選手権ロードレース500ccクラス
藤原 儀彦、2年連続優勝決定!

AGAIN.

フィードバックテクノロジーで、また会おう。

'88全日本選手権ロードレース250ccクラス
本間 利彦、初優勝決定!

YAMAHA
'88 GP CHAMPION FAIR

総計2,650名様にビッグなGPグッズが
当たるGPチャンピオンクイズ実施中!
詳しくは、お近くのY.E.S.S.ショップにてお問い合わせください。

みんな、気をつけて、乗りこえ。

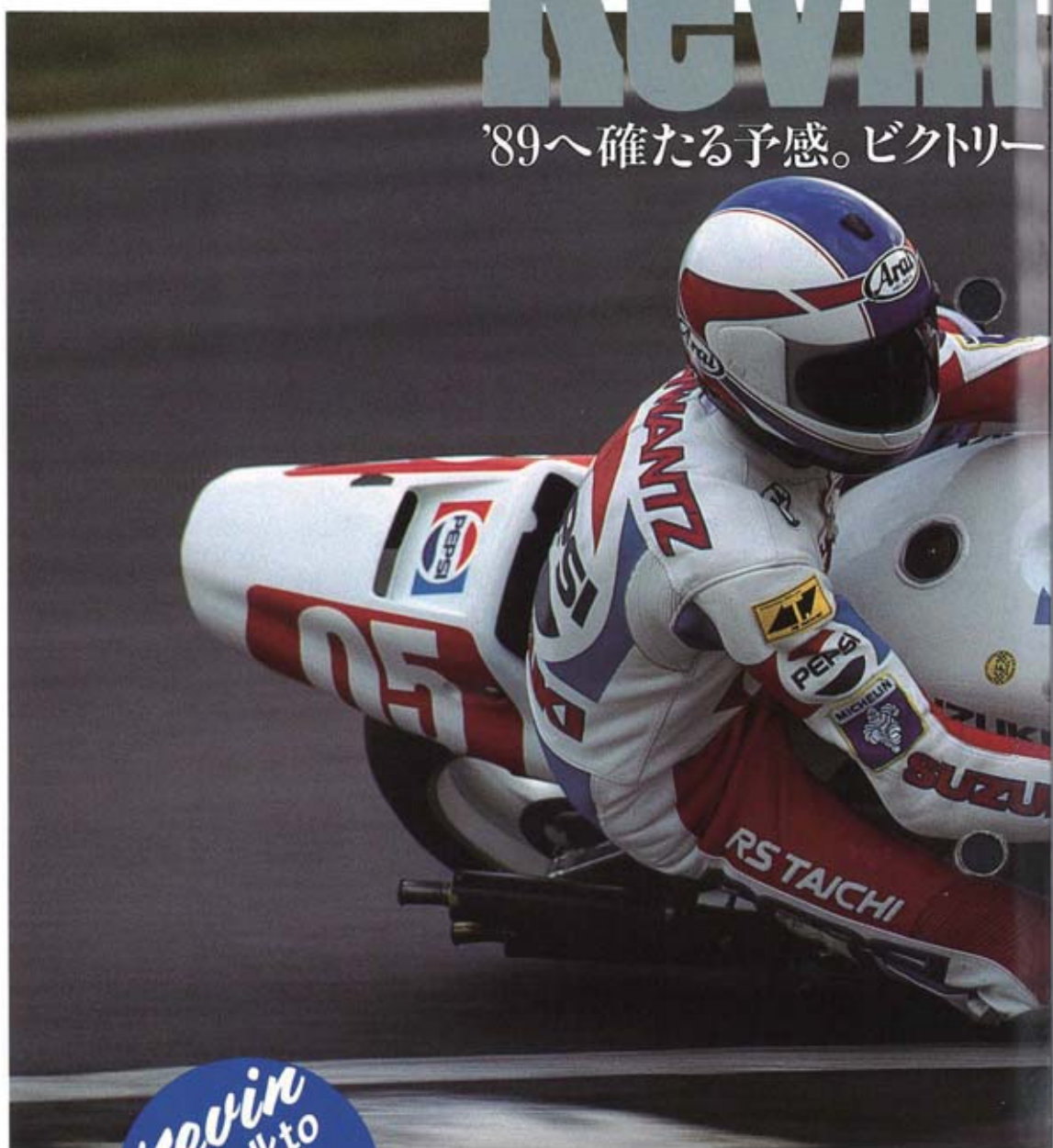
バイクが好き、だからいい運転。

秋の交通安全キャンペーン実施中!



Kevin

'89へ確たる予感。ビクトリー



Kevin
ポール・ト
フィニッシュ!
FUJI INTERNATIONAL
ROAD RACE '88

**BREAK
FREE '89 SUZUKI
THE POTENTIAL**

10月、開催された富士スーパーサブリント。500ccクラスで圧倒的な強さをみせつけたのが「スズキ RGV-Γ」を駆るケビン・シュワツツだ。'89もスズキのテーマは、BREAK FREE THE POTENTIAL。ライダーの持つ可能性を最大限に発揮できるモーターサイクルづくりをめざすスズキの決意を表している。トップライダーが「競う'88の最終戦」といえるレースでの勝利は、大きい意義をもつ。'89におけるスズキの決意とこのテーマが「着実に反映されていることを裏打ちしているからだ。

バイクが好き、だからいい運転。 ●ヘルメットを正しくかぶりましょう。●点検、整備を忘れずに。●安全のため改造はやめましょう。

●安全速度で走りましょう。●一時停止は正確に。●車間距離は余裕をもって。●カーブではスピードをひかえめに。●会合は早めに行きましょう。●早朝・夕暮れは早めにライトの点灯を。●カタログご希望の方は、機種名、雑誌名を明記し、切手170円分を同封のうえ、〒432-91 浜松市外高保 鈴木自動車工業㈱ スズキインフォメーションセンター「RGV250」係へ。

Won!

レーンはΓのためにある。



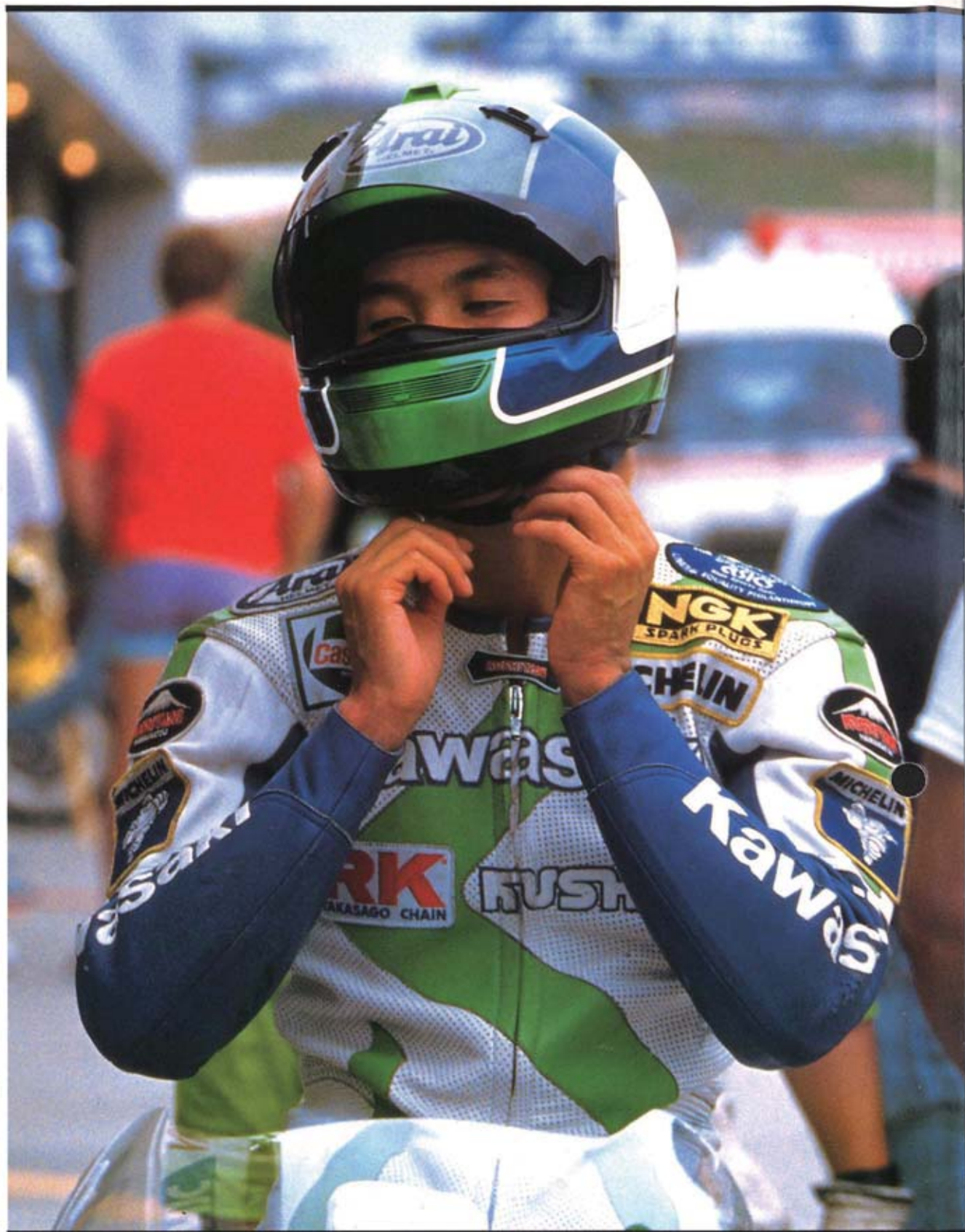
●水冷・2サイクル・V型2気筒●クランクケースリッドバルブ●総排気量249cc●最高出力45ps/9500rpm●最大トルク3.8kg-m/8000rpm●スリグシット・キャブ●AETC(AUTOMATIC EXHAUST TIMING CONTROL)
●ラジアルフロー・ラジエター●リヤ:ニューリンク式フルフローターサスペンション●フロント:大径290mmフローティング・ダブルディスク&異径4ポット(前方34mm, 後方30mm)キャリパー●DC-ALBOXフレーム●タイヤサイズ:フロント110/70 R17 53H, リヤ140/60 R18 64H●乾燥重量128kg●車体色:ブルー・ホワイトツートン/レッド・ホワイトツートン/ブラック●標準現金価格¥569,000/609,000(スポーツプロダクション仕様, ブルー・ホワイトツートンのみ)

BRAND-NEW
RGV250F

走りの写真はプロライダーによるサーキット走行を撮影したものです。一般公道では無理な走行はしないようにしましょう。●価格すべて標準現金価格です。(北海道・沖縄および一部離島を除く)●価格には保険料・税金・登録に伴う諸費用は含まれていません。

もっと個性的に、もっとあなたらしく
Personal Best

 **SUZUKI**



安全に走るための心がけ、ルールとマナー。

RIDE IN GOOD MANNERS.

ヘルメットを正しくかぶりましょう。点検・整備を忘れずに。安全のため改造はやめましょう。安全速度で走りましょう。カーブではスピードをひかえめに。無理な追い越しはやめましょう。充分に確認し、確認されるよう努めましょう。早朝、夕方は早めにヘッドライトの点灯を、いつもふさわしい服装で乗りましょう。

STORY IN THE WIND

風を起こすのは、誰だ。TT F-1で、そしてスズカ8耐で。少しずつそのシルエットを現わしてきたライムグリーンドリー
ム。そして今年'89年、私たちの熱い想いは本格的なレーシングシーンへの参入という形
で結晶する。駆けぬける風の中で生命を受けたマシンをお目にかける日も近い。いまあなたのレーシングストーリーは、Kawasakiからはじまる。



TT F-1 RACER ZXR-7

※写真のZXR-7は販売していません。

カワサキオートバイのお求めは、お近くのカワサキ特約店へ。お近くの特約店がおわかりにならない場合は、各販売会社・営業所へお問い合わせください。
カワサキ純正部品は、カワサキ特約店でお願いします。カワサキではカワサキ特約店と提携したスピード・デザイン純正部品直送体制を構築しています。
部品・用品についてのお問い合わせは、各カワサキモータースサービスへ。PHONE: 078-923-1492
カタログご希望の方は、必要事項と雑誌名を明記し1万円切手を同封の上、〒671 明石市川崎町1-1 カワサキオートバイ販売株式会社(カワサキ館)までお送りください。

Kawasaki
カワサキオートバイ販売株式会社
株式会社カワサキモータースサービス

LMSPORTS

COMES OUT FROM RACING TECHNOLOGY



HONDA BROS FITTING PARTS

Le Mans co., LTD.

LE MANS CO., LTD. LE MANS BLD. 3-2-15 HIROO, SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPAN.
TELEPHONS: TOKYO (03) 400-5086

MARCH RALT REYNARD EARL'S AEROQUIP
GOODRIDGE TECNOMAGNESIO DYMA G ATL SERCKSPED
COSWORTH U.S.A. YOSHIMURA WHITE BROS HRC

好評発売中

RTL250S、TLM250Rは限定販売です。
お早目にお近くのHRCサービスショップまで
お願い致します。

'89-RTL250S

"自在のコントロール、"

テクノロジーを結集してさらに熟成一。

グリップとレスポンスをさらに磨いて'89-RTL250S新登場。



標準現金価格 **¥620,000**
(運賃別途)

総排気量(cc):249 ポア×ストローク(mm):70×64.9 最高出力(PS/rpm):16.5/7,000 最大トルク(kgf·m/rpm):2.05/5,000 バルブ方式:OHV
点火方式:CDI キャブレター型式:京浜PW24 実速機:6速 フレーム
形式:OSD(オーバーセクションダイヤモンド) ホイールベース(mm):1,315
最低地上高(mm):325 キャスター(度):25° サスペンション(F):テレコピ
ック、(R)プロリンク タイヤサイズ(F):MICHELIN TRIAL 2.75-21、(R):
MICHELIN TRIAL COMPETITION X1 4.00R18TL 燃料タンク容量(l):
3.3 重量「半乾燥」(kg):85

'89-TLM250R

"テクノロジーの勝利、"

理想を具現化する設計技術一。

エンジン性能と足廻りに磨きがかかって'89-TLM250R新登場。



標準現金価格 **¥480,000**
(運賃別途)

総排気量(cc):249 ポア×ストローク(mm):74×58 最高出力(PS/rpm):16.0/5,000 最大トルク(kgf·m/rpm):2.60/3,500 バルブ方式:ピストンリッドバルブ 点火方式:CDI キャブレター型式:京浜PE24 実速機:6速 フレーム形式:ダイヤモンド ホイールベース(mm):1,335 最低地上高(mm):320 キャスター(度):23° サスペンション(F):テレコピック、(R):プロリンク タイヤサイズ(F):MICHELIN TRIAL 2.75-21 (R):MICHELIN TRIAL COMPETITION X1 4.00R18 燃料タンク容量(l):3.3 重量「半乾燥」(kg):85

遊びでも、
本気になるヤツがいろいろ。

可能性がBIGなら、本物で応えたい。
HRCからの提案一、RTL250S。



ロード系HRCクラブ走行会

'89 2月度開催日程(鈴鹿サーキット)

開催日

7日(火)・8日(水)・13日(月)・14日(火)・28日(水)

開催時間 AM10:30~12:00 PM3:30~5:00

○申込みについては、最寄りのHRCサービスショップに御相談下さい。

○'89モデル優先参加とさせていただきます。

○定員になり次第メ切りと致します。

※ご予約・お問い合わせはHRCサービスショップにお願い致します。

※マシンの仕様は車輛改良のため予告なく変更する場合があります。

21世紀に夢を求めて

HRC
ホンダレーシング

〒352 埼玉県新座市野火止8-18-4
本社 営業ブロック直通 TEL0484-77-9538
FAX0484-78-7531

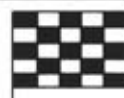
- このバイクは体重40kg以下の方の使用を想定して製作されています。
- このバイクは公道および一般交通の用に供する場所では御走行できません。
- 登録してナンバープレートを取得することはできません。

標準現金価格 **¥178,000**
(運賃別途)

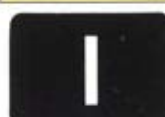
SIGNAL FLAGS

信号旗

(合図旗および合図)
競技中、競技役員が次の信号旗(フラッグ)を示した場合、各ライダーはこの旗の指示に従わなければならない。

旗の種類	旗の意味		旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス		ロードレース	モトクロス
 国旗	レーススタート (通常緑シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシン) で行なう場合もある。	 赤旗	レースまたはプラクティス が中断され、すべてのライ ダーは最大限の慎重さと注 意を持ってそれぞれのピッ トに戻る。サーキットを開 鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黄旗	危険予告・減速	危険予告・減速	 黄旗と赤ストライプ 付黄旗の交差表示	レース停止(赤旗と同じ意味) (コントロールラインで赤 旗が出されたら、すぐに 各ピットで指示される。)	
 白旗	コース上(ランオフエリア 含む)に危険がある。 減速・停止準備・追越禁止	危険予告・徐行・停止準備 安全確認・追越禁止	 黒旗	白ナンバーを付した黒ボー ドを併用する。 示されたナンバーを付けて いるライダーは次のラップ でピット停止。	ナンバーを示したボードと 併用。指示されたライダー は走行停止。
 赤ストライプ付 黄旗	コース表面が滑りやすい		 青旗	追越しシグナル、1台また はそれ以上のスピードの速 いマシンが追い越そうとし ている。	
 緑旗	先に出した合図の解除 (コースクリアー)	先に出した合図の解除	 チェッカー旗	レース終了	レース終了

レースナンバープレート・ライセンス識別カラー

ロードレース		モトクロス		トライアル	
●前面: タテ235mm × ヨコ285mm ●後面: タテ250mm × ヨコ300mm		タテ235mm × ヨコ285mm		タテ150mm以上 × ヨコ175mm以上	
 スポーツプロダクション	 ノービス(側面)	 KIDSライセンス	 ノービス	 KIDSライセンス	
 ジュニア(前面)	 国際A級(側面)	 ジュニア	 国際B級	 ノービス	 ジュニア
注: タテ×ヨコの数字は、ナンバープレートの寸法を示す。 また、数字の書体はFIMの指定に基づくMFJの正規の ものである。		 国際A級(125cc)	 国際A級(250cc)	 T. NIPPON 国際B級	 T. NIPPON 国際A級

ヘルメットのMFJ公認マーク

●MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークの貼付されてい
ないヘルメットについては、特別検査料金(1,000円)を支
払い、特別検査を受けなければならない。

ロードレース特選



ロードレース用
モトクロス用



トライアル用
フーリング用



1989年度版

MFJ国内競技規則書

●目次●

- 12 — 信号旗／レースナンバープレート／ライセンス識別カラー
- 14 — MFJ中央委員会メンバー／全国組織
- 18 — MFJ国内競技規則
- 31 — 細則1・ロードレース競技細則
- 36 — 細則2・ロードレース車両細則
- 48 — 細則3・'89全日本ロードレース選手権大会特別規則
- 61 — 付録4・ロードレース地方選手権大会
- 73 — 細則5・モトクロス競技細則
- 79 — 細則6・'89全日本モトクロス選手権大会特別規則
- 91 — 細則7・トライアル競技細則
- 98 — 細則8・'89全日本トライアル選手権大会特別規則
- 107 — 細則9・MFJライセンス昇格・降格に関する規則
- 111 — 付 録
 - ① — MFJ公認車両・部品・トライアルタイヤ・ヘルメット
 - ② — MFJ共済会制度
 - ③ — 歴代チャンピオンリスト

※'89ミニバイク規則は、本誌とは別に小誌として別冊を出しております。

全国組織

国内競技規則

ロードレース

モトクロス

トライアル

付録

1989年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻228号

日本モーターサイクル協会

The Motorcycling Federation of Japan (M.F.J.)

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03-865-8441

日本モーターサイクル協会

MFJ中央スポーツ委員会メンバー

MFJ全国組織

スポーツ委員会

雄男美享直樹安司陸浩一郎	孟
一利瑠光茂武啓正	四榮恭富
川野井谷倉崎田木上本沼木山谷木浪貴	
外上藤染名岩吉鈴村山杉鈴村鮎若富高	
長長長員員員員員員員員員員員員員員	
員員員員員員員員員員員員員員員員	
委委任任任任任任任任任任任任任任任	
委副副副副副副副副副副副副副副副副	

都道府県		区 分	会 長	専務理事又は 事 務 局 長	郵便番号
北海道ブロック協議会			和 田 庄太郎	高 橋 昭 重	065
北海道	札幌モーターサイクル・スポーツ協会	和 田 庄太郎	河 原 博	065	
	旭川モーターサイクル・スポーツ協会	細 川 悦 郎	石 坂 辰義	070	
	釧路モーターサイクル・スポーツ協会	笹 山 紀 彦	児 玉 賢 次	084	
	帯広モーターサイクル・スポーツ協会	石 原 正 光	広 瀬 晴 美	080-24	
	北見モーターサイクル・スポーツ協会	磯 角 幸 雄	古 林 能 仁	090	
	函館モーターサイクル・スポーツ協会	藤 尾 尚 司	藤 尾 尚 司	041	
東北ブロック協議会			関 登	安 藤 八 郎	983
東北	青森モーターサイクル・スポーツ協会	上 杉 利 男	下 山 作 一	030	
	岩手モーターサイクル・スポーツ協会	加 藤 英 治	及 川 雪 男	020-01	
	宮城モーターサイクル・スポーツ協会	川 口 夫美男	安 藤 八 郎	983	
	秋田モーターサイクル・スポーツ協会	石 塚 俊 夫	佐 藤 勇 嘉	010	
	山形モーターサイクル・スポーツ協会	佐 藤 与 市	羽 角 宏	990	
	福島モーターサイクル・スポーツ協会	関 登	佐 藤 三 男	960	
関東ブロック協議会			岩 田 定 雄	宮 城 久 夫	108
関東	東京モーターサイクル・スポーツ協会	岩 田 定 雄	宮 城 久 夫	108	
	茨城モーターサイクル・スポーツ協会	石 川 和 夫	大 内 勝 也	310	
	栃木モーターサイクル・スポーツ協会	阿子島 俊 一	伊 藤 喜代美	321-01	
	群馬モーターサイクル・スポーツ協会	河原井 源 次	滝 沢 又	379-21	
	埼玉モーターサイクル・スポーツ協会	永 田 正 雄	熊井戸 紀 一	330	
	千葉モーターサイクル・スポーツ協会	秋 篠 敬 作	金 子 竹 治	260	
	神奈川モーターサイクル・スポーツ協会	蓑 輪 武 士	鈴 木 克 典	226	
	新潟モーターサイクル・スポーツ協会	池 田 芳 男	加 藤 俊 明	950	
	山梨モーターサイクル・スポーツ協会	萩 原 茂 賀	仲 田 幸 弥	406	
	長野モーターサイクル・スポーツ協会	柳 田 勝	小 泉 清 人	380	

都道府県		区 分	会 長	専務理事又は 事務局 長	郵便番号
中 部	中部ブロック協議会		田 辺 薊	中 村 茂 男	466
	静 岡	モーターサイクル・スポーツ協会	戸 田 芳 司	長 田 幹 雄	422
	富 山	モーターサイクル・スポーツ協会	斎 藤 正 義	太 田 三 郎	930
	石 川	モーターサイクル・スポーツ協会	坂 井 豊 治	西 出 永 央	921
	福 井	モーターサイクル・スポーツ協会	川 井 洋 司	漆崎信弘(代行)	910-37
	岐 阜	モーターサイクル・スポーツ協会	仲 神 桂 二	早 川 幸 男	501-61
	愛 知	モーターサイクル・スポーツ協会	田 辺 薊	中 村 茂 男	466
近 畿	三 重	モーターサイクル・スポーツ協会	藤 井 璋 美	佐 野 純 二	514-03
	近畿ブロック協議会		鈴 木 義 夫	山 田 和 夫	550
	滋 賀	モーターサイクル・スポーツ協会	中 田 眞 悟	寺 田 三喜男	520-01
	京 都	モーターサイクル・スポーツ協会	桜 井 伊 蔵	兵 藤 泰 弘	612
	大 阪	モーターサイクル・スポーツ協会	鈴 木 義 夫	神 田 圭 造	550
	兵 庫	モーターサイクル・スポーツ協会	西 海 義 治	中 林 稔 弘	673
	奈 良	モーターサイクル・スポーツ協会	小 島 末太郎	畑 中 武 夫	630
中 国	和歌山	モーターサイクル・スポーツ協会	林 伸 良	竹 内 高 夫	641
	中国ブロック協議会		佐々木 吉 雄	矢 島 誠	550
	鳥 取	モーターサイクル・スポーツ協会	吉 兼 宅 弥	岡 憲 司	680
	島 根	モーターサイクル・スポーツ協会	堀 尾 俊 之	清 水 昭 二	690
	岡 山	モーターサイクル・スポーツ協会	椋 代 修	藤 原 宣 彦	700
	広 島	モーターサイクル・スポーツ協会	森 征四郎	佐 藤 光 義	730
	山 口	モーターサイクル・スポーツ協会	佐々木 吉 雄	江 藤 信 男	753
四 国	四国ブロック協議会		高 木 宏	清 家 新 暢	761
	徳 島	モーターサイクル・スポーツ協会	岩 尾 英 二	富 浪 拓	770
	香 川	モーターサイクル・スポーツ協会	高 木 宏	谷 本 謙 二	761
	愛 媛	モーターサイクル・スポーツ協会	木 村 興 洋	土 居 靖 雄	791-11
	高 知	モーターサイクル・スポーツ協会	泉 谷 親 男	奥 村 巖	781-02
九 州	九州ブロック協議会		西 俊 明	川 原 明 人	816
	福 岡	モーターサイクル・スポーツ協会	西 俊 明	川 原 明 人	816
	佐 賀	モーターサイクル・スポーツ協会	椎 屋 智 氏	内 川 直 絃	840-01
	長 崎	モーターサイクル・スポーツ協会	村 上 幸 三		851-01
	熊 本	モーターサイクル・スポーツ協会	玉 城 昌 一	松 田 忠 也	862
	大 分	モーターサイクル・スポーツ協会	倉 石 満	田 原 丈 平	870-01
	宮 崎	モーターサイクル・スポーツ協会	杉 浦 勝 弘	藤 田 和 司	880
	鹿児島	モーターサイクル・スポーツ協会	沢 村 興 藏	家 村 行 夫	891-01
	沖 縄	モーターサイクル・スポーツ協会	徳 野 睦 夫	山入端 彰	901-21

所 在 地	電 話 番 号
名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内	052 (833) 9676
静岡市国吉田32-7 静岡県軽自動車協会内	0542 (61) 4455
富山市藤木521-1 富山県軽自動車協会内	0764 (24) 6420
金沢市入江3-134 石川県自動車販売店会館内	0762 (91) 7111
福井市浅水町138字上植木11-2 福井県軽自動車協会内	0776 (38) 0558
羽島郡柳津町大字高桑字立野3276-1 岐阜県軽自動車協会内	0582 (79) 1561
名古屋市昭和区天白町大字八事字富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内	052 (833) 9676
津市雲出長常町六の割1190-1 三重県軽自動車協会内	0592 (34) 8611
大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内	06 (541) 5254
大津市唐崎3-17-1 滋賀県自動車会館内	0775 (62) 3858
京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館内	075 (671) 5887
大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会内	06 (541) 5254
神戸市西区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内	078 (927) 7701
奈良市南京終町2-321-1 奈良県二輪車安全普及協会内	0742 (61) 5593
和歌山市西浜中川向坪1,660-389 和歌山県二輪車安全普及協会内	0734 (32) 5378
山口市葵一丁目5-58 山口県軽自動車協会内	0839 (22) 8877
鳥取市秋里246-5 鳥取県二輪車安全普及協会内	0857 (28) 6850
松江市八幡町725番地 島根県二輪車安全普及協会内	0852 (37) 1685
岡山市柳町2丁目10-17 ライダーズショップ・コスモス内	0862 (22) 8625
広島市中区舟入南6-5-28 ㈱ホンダ二輪広島内	082 (295) 7111
山口市葵一丁目5-58 山口県軽自動車協会内	0839 (22) 8877
高松市郷東町140	0878 (82) 3212
徳島市西新町4-7 ㈱富浪商店内	0886 (22) 5545
高松市郷東町140	0878 (82) 3212
松山市南高井町1812-3 愛媛県二輪車安全普及協会内	0899 (75) 4505
高知市横浜1657 高知県二輪車安全普及協会内	0888 (42) 4311
福岡市博多区半道橋2-7-70 西京ホンダ販売㈱内	092 (474) 6196
福岡市博多区半道橋2-7-70 西京ホンダ販売㈱内	092 (474) 6196
佐賀市若楠2-10-7 佐賀県二輪車安全普及協会内	0952 (30) 8442
長崎市田中町581-3 村上ホンダ販売㈱	0958 (37) 8421
熊本市東町4-71 熊本県二輪車安全普及協会内	096 (367) 5488
大分市三川上一丁目4-35 大分県軽自動車協会内	0975 (53) 1910
宮崎市花ヶ島町新地橋1134 ㈱ホンダ二輪南九州宮崎営業所	0985 (27) 6611
鹿児島市谷山港2-4-3 鹿児島県二輪車安全普及協会内	0992 (61) 8966
浦添市字仲西146 沖縄県ホンダモーター㈱内	0988 (77) 2558

'89 M F J

国内

競技規則

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste：略称FIM）の国際スポーツ憲章、FIM競技規則にもとづいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

第1章 総 則

- 1 モーターサイクル・スポーツの国内的統括 19
- 2 公認競技会および承認競技会の種目 19
- 3 大会特別規則並びに公式通知 19

第2章 ライセンス

- 4 競技ライセンスとその種目 20
- 5 競技ライセンスの申請資格 20
- 6 競技ライセンスの有効期間 21
- 7 競技ライセンスの効力の失効等 21
- 8 競技ライセンス資格の昇格および降格 21

第3章 競技会

- 9 競技参加者 21
- 10 競技参加者の遵守事項 22
- 11 ライダーの装備 22
- 12 競技出場の申し込み 22
- 13 出場料およびMFJ共済会掛金 26

- 14 競技 26
- 15 入賞 26
- 16 公式得点 26
- 17 出場車両 26
- 18 MFJ公認車両および公認部品・用品 24
- 19 燃料およびオイル 24
- 20 車両検査 24
- 21 ライダーおよび車両の変更 26
- 22 優勝者等の決定 26
- 23 入賞者の車両検査 26
- 24 競技結果および記録の公表 26
- 25 競技会の延期および中止等 26
- 26 暫定結果に対する抗議 26
- 27 損害に対する責任 26
- 28 大会審査委員会の権限 26
- 29 違反行為に対する罰則 26
- 附 則 26

第1章

総 則

1 モーターサイクル・スポーツの国内的統括

- この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正及び秩序を保持することを目的とする。
- 日本モーターサイクル協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、この規則を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該競技審査委員会が行ない、これを最終的なものとする。
また競技会において疑義が生じた場合で、本規則に規定されていない事項については、FIM国際スポーツ憲章並びにFIM競技規則の趣旨により判定する。

2 公認競技会及び承認競技会の格式及び種目

- 公認競技会の格式
 - 国内格式競技会
国内格式競技会はMFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。
 - 国際格式競技会
国際格式競技会は各国モーターサイクル協会（FMN）が発行するFIMインターナショナルライセンスを所持する複数のFMNのライダーが参加することができ、この競技会にはFIM競技規則が適用される。
- 格式の内わけは下記のとおりとする。

公 認 競 技 会	
国 際 格 式	国 内 格 式
1. 世界選手権競技会	6. 全日本選手権
2. 国際選手権競技会	7. 特別競技会
3. 日本(MFJ)グランプリ	8. 地方選手権競技会
4. 全日本選手権	9. 県選手権競技会
5. 国際競技会	10. その他

- 公認競技会の種目
公認競技会の種目は次のとおりとする。
 - ロードレース
 - モトクロス
 - トライアル
 - スノーモビル
 - その他MFJスポーツ委員会が認める競技
- 承認競技会の種目は競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。
 - ロードレース
 - モトクロス
 - トライアル
 - スノーモビル
 - エンデューロ
 - ミニバイクレース
 - その他MFJスポーツ委員会が認める競技

3 大会特別規則並びに公式通知

- 競技会は、この規則および種目別細則に基づいて行なわれるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの公示、特別規則または公式通知によって行なわれる。
- 大会特別規則及び公式通知は、競技主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。
 - 大会特別規則には次の各項が示される。
 - 競技会の名称
 - 競技会の格式
 - 競技会組織
 - 主催者の名称、所在地および連絡先
 - 開催日時
 - 開催場所
 - 競技の種目および内容
 - 参加資格
 - 出場申し込み受付場所
 - 出場申し込み期間
 - 出場料とMFJ共済会掛金
 - 出走者の定員
 - 賞およびその詳細
 - その他
- 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および特別競技規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則及びMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。



第2章

ライセンス

4 競技ライセンスとその種目

1. ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンス及びビットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。
2. 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は次のとおりである。

●競技ライセンスの種目

種目 クラス	ロードレース	モトクロス	トライアル	スノーモビル
国際A級	○	○	○	技量区分 なし
国際B級	○	○	○	
ジュニア	○	○	○	
ノービス	○	○	○	
Bロード	○	○	○	
KIDS	○	○	○	○

●競技会の参加区分

取得している ライセンス	競技ライセンス					L ライセンス
	ロード レース ライセンス	モト クロス ライセンス	トライ アル ライセンス	スノー モビル ライセンス	その他	
公認 競技会	ロードレース	○				
	モトクロス		○			
	トライアル			○		
	スノーモビル				○	
承認 競技会	ロードレース	○				○
	モトクロス	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○
その他MFJ スポーツ委員 会の認める競 技会		○	○	○	○	○

※ビットクルーライセンスでは、ライダーとして承認競技会に参加できるが（Lライセンスと同じ）運転免許を受けているものに限る。

3. FIMライセンス（MFJ経由）

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技ライセンス区分	取得資格
ロードレース	① 1大会のみ有効なライセンス 国内における世界選手権競技会に使用できる	当該種目の国際B級以上のライセンス所有者
モトクロス	② 年間ライセンス 国内、国外で行なわれる世界選手権、国際競技会に使用できる	当該種目の国際A級ライセンスを取得後1年以上経過した者
トライアル		

5 競技ライセンスの申請資格

競技ライセンスの取得申請をおこなう者は次の要件をみたしていなければならない。

1. 日本にスポーツ国籍を有する者。
2. 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヵ月以上継続的に居住した外国人が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国の代表機関の承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国の代表機関（FMN）からFIMインターナショナルライセンスの発給を受けており、かつ、FMNからの移籍許可を得て、MFJスポーツ委



員会に認められた場合は3ヵ月の居住証明は必要としない。

3. 過去6ヵ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。

4. 種目による条件

1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、Lライセンス

- (1) 運転免許（小型特殊免許を除く・以下同じ）を受けていること。
- (2) 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証（発行後6ヶ月以内のものに限る。以下同じ）を受けていること。

2) ロードレース

- (1) 運転免許を受けており、下記を満たすこと。

① ノービスライセンス

MFJの公認するロードレース・ノービスライセンス講習会の修了証を受けていること。またはMFJの公認するサーキットにおける3時間走行証明書を受けていること。

② B.ロードライセンス

MFJの公認するサーキットのライセンス講習会の修了証を受けていること。

3) ビットクルー

16歳以上であること。

6 競技ライセンスの有効期間

競技ライセンス及びLライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。

7 ライセンスの効力の失効等

次の者はライセンスの効力が失効し、または停止される。

- (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
- (2) 運転免許の効力を失った者
- (3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
- (4) MFJの認めないモーターサイクル競技に出場した者。
- (5) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
- (6) MFJスポーツ委員会の裁定により停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）

8 競技ライセンス資格の昇格及び降格

競技ライセンスの昇格および降格については別に定めるMFJライセンス昇格、降格に関する規則による。

(P.107参照)



第3章

競技会

9 競技参加者

MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。

1) エントラント

（注：エントラントとは、MFJの正会員である二輪車メーカー、特別会員及び賛助会員で「競技参加の申請」を行なった団体または個人をいう）

2) ライダー

ライダーとは、次の者をいう。

- (1) MFJ競技ライセンスを受けていること（効力の停止中の者を除く）

ただし、満20歳未満の者は親権者の承諾書を提出したものであること。

- (3) 競技開催期間中、転倒事故等により負傷したライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得たものであること。

3) ビットクルー

ビットクルーとは、次の者をいう。

(1) メカニック

メカニックは、16歳以上でMFJビットクルーライセンスを所有している者。

(2) ビットサインマンおよびヘルパー

ビットサインマンおよびヘルパーは16歳以上でMFJビットクルーライセンスを所有している者。

2. 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびビットクルーの資格要件を確認ことができ、もし本規則上違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

1. 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。
 - 1) 競技会中は、MFJ国内競技規則にしたがって行動し、参加者はすべての行動に対して責任を持たなければならない。
 - 2) 国内競技規則及び競技管理上のあらゆる規定や競技役員の指示にしたがい、かつレース場以外では交通法規を守らなければならない。
 - 3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち野卑な言動は厳に慎まなければならない。
 - 4) 競技に関する業務についているときは、飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
 - 5) 競技会中は参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならない。
2. 特にライダーは、上記のほか、次の事項を守らなければならない。
 - 1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフートレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
 - 2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
 - 3) 競技中（公式練習も含む）は他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
 - 4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
 - 5) 他の人の援助を一切受けてはならない。
他の人による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の人が車両に触れることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目別細則による。
 - 6) 競技中の車両には、いかなる人も同乗させてはならない。
 - 7) ライダーはレース中、酒気をおびたり、または医薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくろってはならない。

11 ライダーの装備

ライダーの装備は、次によることとする。

- 1) ヘルメット
 - 1) ライダーは、コース（グリーンベルトを含む）にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着していなければならない。
 - 2) MFJが公認するヘルメットの規格については、

種目により、それぞれの細則により定める。

なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。

- 3) MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
 - 4) 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査がおこなわれ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上使用を禁止する。
 - 5) MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。この場合は別に定める特別検査料を支払わなければならない。
- 2) 服装
 - 1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
 - 2) その他については、種目により、それぞれの細則により定める。

12 競技出場申し込み

1. 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - 1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてに指示どおり記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
 - 2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - 3) 申込み期間、申込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
2. レース出走者数または出場申込み者数の定員は大会特別規則に示される。

なお、出場申込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスのレースを中止することがある。

13 出場料およびMFJ共済会掛金

1. エントラントまたはライダーは、出場申込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を払い込まなければならない。
2. ライダーは、出場申込みのときMFJ共済会掛金を主催者に払い込まなければならない。MFJ共済会については、別に定める規則による。

3. いったん、主催者に受理された出場料および共済会掛金は払戻しされない。

14 競 技

- 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝レース出場者を決定することがある。その詳細についてはそれぞれの種目の細則および大会特別規則の定めるところによる。
- スタートの方法はそれぞれの種目の細則及び大会特別規則の定めるところによる。
- レース中、競技役員が合図旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 合図旗とその意味については、各競技種目細則の定めるところによる。
- 停止
 - レース中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分に注意しなければならない。
 - レース中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ(中途退場)する場合は、その地点からもっとも近い競技役員(コース審判)に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - ライダーは停止車両をそのレースが終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。ただし、そのレースに支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員(コース審判)から指示された場合には、これに従わなければならない。
- ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- レースの終了

レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

15 入 賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。また賞は主催者(大会事務局)から交付されるが、この時期等の詳細は大会特別規則により示される。

16 公式得点

公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点は、下記のとおりとし、これの詳細は別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

(1) 全日本選手権及び地方選手権競技会

順位	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	
5位	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

(2) その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	8	8	8	8	8	
3位	6	6	6	6		
4位	5	5	5			
5位	4	4				
6位	3					

17 出場車両

- 競技に出場する車両のクラス別区分等は、それぞれの競技種目別の細則の定めるところによる。
- 総排気量は、シリンダー容積を測定するのに用いられる幾何公式によって計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

公式

$$\text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D = ボア
C = ストローク

(少数点以下4ケタで切り捨てる) 単位 = cm

測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても、排気量が当該クラスのリミットを超える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行なわれる。

- 車両は細則に示す「改造の限度」と「総合仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件をみたし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

18 MFJ公認車両および公認部品・用品

- MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両および部品・用品公認細則」の定めるところによる。
なお、公認された車両および部品・用品についてはMFJの発行するライディング誌、その他により公示される。
- 公認の発効は、車両については、MFJ技術委員会において審査し、承認された日から30日を経過した日からとし、ヘルメットについては承認された日からとする。
- 車両は、当該競技会出場申込みの時点で公認が発効されている車両でなければ出場申込みをすることができない。ただし、大会当日に公認が発効される車両にあっては、車両変更申請を行なうことで競技に使用することができる。

19 燃料およびオイル

- 競技に使用する燃料は、一般市販ガソリン（民間航空機用の市販ガソリンも可）でなければならない。また主催者が指定し競技場にて供給する場合は、ガソリンの製造メーカーおよびその他の詳細は公式通知に示される。
- オイルの製造メーカーは指定しない。
- その他燃料については、次によらなければならない。
 - ガソリンおよびオイルにはオクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
 - ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は、必ずその指示にしたがわなければならない。
 - ガソリン及びオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法により定められているところによる。

20 車両検査

- 競技車両は、本規則およびそれぞれの競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
打刻番号の無い車両は車両検査時に刻印される。

- 音量測定法は、FIM方式により次の条件によるものとする。

- 1) 排気管から0.5mのところに、端部のセンターラインから測って45°の角度で、排気管の高さと同じ高さ、すなわち地上から少なくとも20cmの高さにマイクロフォンをすえ付けて測った場合、下記のリミット内でなければならない。

これが不可能である場合は、45°上方において測定することができる。音量測定の際は変速ギヤをニュートラルにして、車両のスタンドを立てておくものとする。検査に合格したマフラーには印をつけなければならない。認証の後にマフラーを変更することは許されない。ただし、同様に検査され、印をつけられたスベアのマフラーについてはこの限りではない。ライダーは、変速ギヤをニュートラルでエンジンを所定の回転数に達するまで回転させねばならない。所定の回転数に達したときに、測定を行なうものとする。

区分 種目	サイクル	許容範囲	レース後の 許容誤差	気温による 許容誤差
ロードレース	2サイクル	105db(A) 以内	3db/A	20℃を正として 10°で1db/A 0°で2db/A
	4サイクル	105db(A)+5db(A)以内		
モトクロス	2サイクル	104db/(A) 以内	1db/A	
	4サイクル	104db(A)+5db(A) 以内		
トライアル	2 サイクル	96db/(A) 以内		
	4サイクル			

- 2 回転数は、エンジンのストロークに相応するピストンの速度に基づくものとする。（次頁を参照）

$$A = \frac{30 \times B}{C}$$

A = 所定のエンジン回転数

B = ピストンスピード 2サイクル 13,000 rpm

4サイクル 11,000 rpm

C = ピストンストローク(mm)



音圧規制：エンジン回転数rpm(小数点以下は四捨五入)

ピストン ストローク (mm)	(2サイクル) ロードレース モトクロス	・トライアル エンデューロ ・(4サイクル) ロードレース モトクロス	ピストン ストローク (mm)	(2サイクル) ロードレース モトクロス	・トライアル エンデューロ ・(4サイクル) ロードレース モトクロス
30	13,000	11,000	66	5,909	5,000
31	12,580	10,645	67	5,820	4,925
32	12,187	10,313	68	5,735	4,853
33	11,818	10,000	69	5,652	4,783
34	11,470	9,706	70	5,571	4,714
35	11,142	9,429	71	5,492	4,648
36	10,833	9,167	72	5,416	4,583
37	10,540	8,919	73	5,342	4,521
38	10,263	8,684	74	5,270	4,459
39	10,000	8,462	75	5,200	4,400
40	9,750	8,250	76	5,132	4,342
41	9,512	8,049	77	5,065	4,286
42	9,285	7,857	78	5,000	4,231
43	9,069	7,674	79	4,937	4,177
44	8,863	7,500	80	4,875	4,125
45	8,666	7,333	81	4,815	4,074
46	8,478	7,174	82	4,756	4,024
47	8,297	7,021	83	4,699	3,976
48	8,125	6,875	84	4,643	3,929
49	7,959	6,735	85	4,588	3,882
50	7,800	6,600	86	4,535	3,837
51	7,647	6,471	87	4,483	3,793
52	7,500	6,346	88	4,432	3,750
53	7,358	6,226	89	4,382	3,708
54	7,222	6,111	90	4,333	3,667
55	7,090	6,000	91	4,286	3,626
56	6,964	5,893	92	4,239	3,587
57	6,842	5,789	93	4,194	3,548
58	6,724	5,690	94	4,149	3,510
59	6,610	5,593	95	4,105	3,474
60	6,500	5,500	96	4,063	3,438
61	6,393	5,410	97	4,021	3,402
62	6,290	5,323	98	3,980	3,367
63	6,190	5,238	99	3,939	3,333
64	6,093	5,156	100	3,900	3,300
65	6,000	5,077			

4. ライダーが、車両使用申告を行なう場合は、車両検査時に大会事務局より支給された車両使用書をもって申請することができる。

21 ライダーおよび車両の変更

- エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 登録された車両の変更は原則として認められない。
変更する必要がある場合は、所定の書式にしたがって車両の変更申請をおこない、競技監督がこれを認めた場合に限り車両の変更が認められる。
車両変更料は5,000円とする。

- 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
- 紛争に際して、製造メーカーについての立証の

責任は、参加者側にあるものとする。

22 優勝者等の決定

優勝者、入賞者及び完走者の定義については、それぞれの種目の細則の定めるところによる。

23 入賞者の車両検査

競技終了後、原則として1位から6位までの車両は暫定結果発表後30分間以上保管され、必要に応じて検査される。

24 競技結果および記録の公表

- 競技終了後、暫定結果の公表を行なう。
- 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 参加者は公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

25 競技会の延期および中止等

- 競技は特別な理由のない限り、打ち切りまたは中止することはできない。
- 大会審査委員会が、特別な理由によって競技のいずれかを中止しなければならないと判断したときに限り中止することができる。
- すべての関係者は、大会審査委員会の決定にしたがわなければならない。
- 特にやむを得ない理由によって、トップ走者が、そのレースにきめられた周回数(または時間)の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効とする。

※ロードレース全日本選手権は細則3「27・レースの停止と再スタート」の定めるところによる。

- トップ走者が決められた周回数(または時間)の3分の2以上を完走してレースを打ち切った場合は、大会審査委員会は、そのレースの判定結果に条件を付して発表するものとする。

※ロードレース全日本選手権は細則3「27・レースの停止と再スタート」の定めるところによる。

- 主催者は、競技または大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還しなければならない。参加者はその他のいっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。

公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。

7. 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。

26 暫定結果に対する抗議

1. 抗議は、暫定結果に対してのみ、発表後30分以内に参加者のみが行なうことができる。抗議しようとするときは、その手続並びにこれの措置は、次のとおりとする。
 - 1) 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに、抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
 - 2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
 - 3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
 - 4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
 - 5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。抗議保証金は10,000円とする。

27 損害に対する責任

1. 競技中車両およびその附属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。
車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に補償する。
2. 競技会開催期間中、またはその前後に起された傷害は、自ら責任を負うものとする。
3. ライダーおよびピットクルー等の参加者は、競技役員がいっさいの損害補償の責任を免ぜられているこ

とを知っていなければならない。すなわち、競技役員はその職務に最善をつくすが、仮りに競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任がないことをいう。

28 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則並びに「MFJ競技役員規則」に基づき、当該競技会において最高の権限を行使することができる。

29 違反行為に対する罰則

1. 大会中(競技中も含む)における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会並びに競技監督の権限で、下記の罰則を科すことができる。
 - 1) 注意処分(口頭による注意又は文書による注意)
 - 2) 嚴重戒告(戒告通知を受けたものは始末書提出)
 - 3) 罰金(10,000円以上50,000円以下)
 - 4) 競技結果に対する1分以内の加算
 - 5) 競技結果に対する1分以上の加算、または1周以上の減算
 - 6) 退場
 - 7) 失格
 違反の判定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑並びに適用は、大会審査委員会の決定を優先するものとする。
2. ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告にもとづき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止にまでおよびかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

附 則

1. 本規則は、1989年1月1日から施行する。





I feel Coke.®

さわやかテイステイコカ・コーラ



Zio



Zio-S



Zio-R3



Zio-R2



鉄カブトである。

「ヘルメットって、鉄で出来てるのかなあ?」なんて思わないでください。**精神**が鉄カブト。ほら、キリリと気持を引き締めて、「うん、ガンバルッ」というあの感覚。ストラップを締めて、シールドを降ろした瞬間の緊張感。鉄カブトって、そんな意味のサムシングなのですネ。もちろん、鉄なんかでなく、強いファイバーグラス積層構造。レースにも使えるMFJ公認です。事実、レーサーの間でも仲々評判良いのですヨ。口もとの2つのポートは、1方は排出、1方は吸入のポート。それぞれのポートが呼吸する、**独創**のベンチレーションです。デッキのジオ。風をやさしく**味方**に加えるカタチがこれなのです。空気を厳しく切り裂いて走るフォルムがここに 있습니다。そう、鉄カブトです。



デッキである。

私たちデッキは、**実は**ヘルメットの原材料を作っています。そう、世界でも有数の総合化学メーカーなのです。だから、原料から製品まで一貫して作れるのが**強み**。私たちのヘルメットが、真面目な意味で**評価**していただいているのもこの辺なのですネ。



ジオである。

かぶってみてください。外側のフォルムの良さととは別に、内側の**カタチ**にも自信があります。頭にヒタリときまるホールド感。肌ざわりまでも追求した内装。長くつきあって欲しいから、見えない所にお金をかけました。かぶってください。

JIS C種 MFJ公認
ファイバーグラス積層構造
サイズ S(55~58cm) M(57~59cm)
L(59~62cm) XL(61~62cm)

Z00 ¥29,800
●ブラック・レッド ●ホワイト・ブルー
●ホワイト・レッド ●ブラック・シルバー

Z00-S ¥32,800
●スーパー・ホワイト ●ファイティング・レッド
●ミッドナイト・ブルー ●マイティ・ブラック
●ガンメタリック

Z00-R3 ¥29,800
●ホワイト・レッド ●ホワイト・ブルー
●ブラック・ホワイト ●ブラック・ブルー

Z00-R2 ¥29,800
●ホワイト・レッド ●ブラック・レッド
●ブラック・ブルー

より快適な走り求めて—デッキ

DIC

詳しい資料を請求します。資料に住所、氏名、年齢、電話番号、ご希望の商品名を記入の上、下記にお申し込みください。
デッキ 文芸春秋化学工業株式会社・ヘルメット部 〒135東京都江戸川区日本橋1-1-1 電話03(561)9800(ダイヤル1)

ROAD RACE

細則 1

ロードレース競技細則

31 ロードレース

1 適用の範囲	31	5 公式予選(オフィシャルプラクティス)	32
2 ロードレース	31	6 レース	33
3 レース出場車両	31	7 優勝者、入賞者の順位、完走者および得点	34
4 合図旗および合図	31	8 ライダーの装備	35

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則にもとづき、すべての国内ロードレース競技会に適用される。(世界選手権を除く)

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットでおこなわれるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。

耐久レースは特別規則による。

3 レース出場車両

- 1 大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 1 大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

4 合図旗および合図

- 1 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の合図旗が使用される。
- 2 寸法
 - ・シグナル用フラッグ 60×80cm(最小限)
 - ・赤旗 60×100cm
- 3 コントロールラインでのみ使用される旗
 - ・シグナルまたは国旗 レース・スタート
 - ・白黒チェッカー旗 レース終了
 - ・赤旗 レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意をもってそれぞれのピットに復帰。
赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
 - ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用 示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダー

ーは次のラップでピット停止。

4) 各コーナーポストで使用される旗

- ・黄旗……………危険！
- { 静止……………追越禁止
- { 振る……………減速、停止準備、追越禁止
- ・赤色ストライプ付の黄旗……………

トラック表面滑りやすい。

- ・黄旗と赤色ストライプ付黄旗を交差して掲示…
レース停止。コントロールラ
イン上で赤旗が出されたらす
ぐにかかげる。

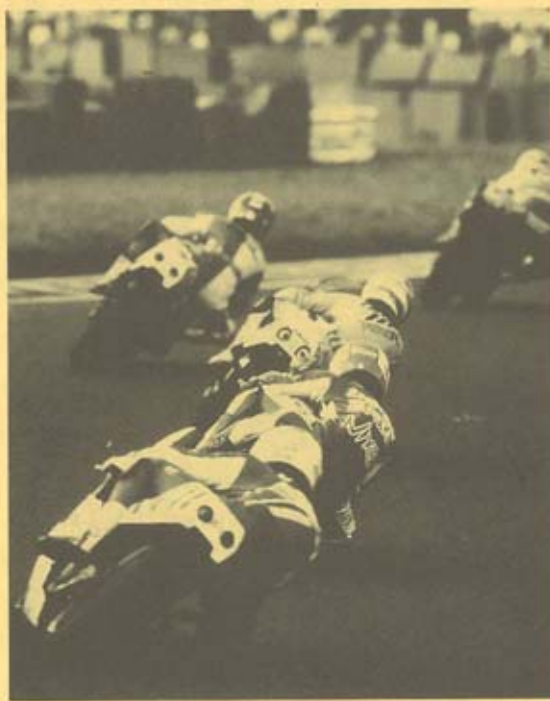
- ・緑旗……………コースクリアー。
- ・白旗……………トラック上に徐行している車
両またはレース車両あり。
静止：1つ先のポスト付近に
スロー走行車あり。
振る：直前にスロー走行車あ
り。

- ・青旗……………追越シグナル。1台またはそ
れ以上の高速マシンが貴方を
追越そうとしている。

- { 静止……………間もなく追越される。
- { 振る……………追越される寸前。

5) ライトによるシグナル

スタートの際の国旗の代りに、赤、黄、緑のライト
・シグナルを用いることができる。旗によるサイ
ンの代りに、ライトによるシグナルを使うことが
できる。



- ・黄色燈の点滅1、2個…黄旗と同意味。
- ・緑色燈……………緑旗と同意味。
- ・赤色燈……………赤旗と同意味、競技監督が使用。

ライトによるシグナルは、特に夜に行なわれるレースに使用しなければならない。

5 公式予選(オフィシャルプラクティス)

1. 公式予選

- 1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- 2) 公式予選の日程および時間は特別規則に示される。
- 3) 公式予選はタイムトライアル方式とレース方式がある。

2. 公式予選の内容

- 1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- 2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全上のチェックがなされた後にスタートし、与えられた時間内であれば走行を中断し、または再スタートすることができる。
- 3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、最高ラップタイムがはなはだしくおとるものは、たとえ定員内であっても出場資格を与えられない場合がある。
- 4) 公式予選において測定される各ライダーの最高ラップタイムにより、大会特別規則に示されるレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。最高ラップタイムが同じ場合は次のラップタイムの順位による。
- 5) 各クラスの公式予選義務周回数は特別規則に定められる。
なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- 6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- 7) 予選が複数の組に分れて行なわれる場合、天候の変化等により組ごとに路面状態に大幅な差異が生じることがあるが、その場合は総合タイム順ではなく、各組ごとのタイム順により決定する。
- 8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。

3. 予選通過者で出場不可能となった者はすみやかに届けを出さなければならない。

4. レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準としてくり上げる場合がある。(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)

※ウエイティング(繰り上げ出場)の方法

- ①事務局にスタート前チェック時までに出走嘆願書を提出する。
- ②出走嘆願書を提出した後、全装備にてスタート前チェックを済ませ、コースインゲートに待機する。ただし、原則として出走嘆願書提出者のうちタイム順3名までとする。

6 レース

1. スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類があり、公式通知に示される。
 - (1) 押がけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート (耐久)
- 3) スタート位置は、すべての正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいつさい考慮されない。
- 4) スタートの合図は原則としてシグナル・ランプによっておこなわれる。ただし特別の理由により旗によっておこなわれることがある。

2. ピット

ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業をおこなう目的のためにライダーに与えられた区域のことである。

3. ピットイン

- 1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行なったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。
ピットエリア(停車区域)を走行してピットインしたりピットアウトする事は禁止される。
- 2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停止させなければならない。
- 3) ピットインしてピットエリアに入った車両、お



よび当該車両のライダーやピットクルーは、ピットインして来る他の車両、あるいはピットアウトして行く他の車両の通過を妨げてはならない。

- 4) ピットインの際、自己のピット前を通り越して停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることが出来る。

4. ピットアウト

- 1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
- 2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。

5. ピット作業

- 1) レース中における車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によっておこなわなければならない。給油中は必ずエンジンを停止すること。
- 2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちにきれいに掃除しておかなければならない。

6. ピット作業人員

- 1) ライダーはその車両のメカニックを2名まで持つことができる。
- 2) レース中にピットインし、エンジンを停止した車両に対しての作業は、2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。
- 3) ライダーに対するピットクルー（メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー）の合図は、大会競技役員の使用する合図用旗にまぎらわしいものであってはならず、また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。



- 4) ピット作業をおこなう者はすべてピットクルーライセンス所持者で、大会に参加の申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加はいつい認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる。（変更料1,000円）
- 5) ピットクルーは開催期間中を通じてどの大会競技役員の指示にもしたがわなければならない。
- 6) ピットクルーが守らなければならないことに違反した時は、そのピットクルーの担当のライダーが責任を問われ、罰則が課せられる。

7. レースの終了

各レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時である。

注：原則的にコースの1周の距離を1kmにつき1分として定められる。

7 優勝者、入賞者順位、完走者および得点

1. スプリントレースの場合

- 1) 優勝者
優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。
- 2) 入賞者および順位の優先順序
入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。なお、周回数が同じ場合はゴールライン通過の順位による。
- 3) その他の優先順序
周回数の多い者を優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。

2. 耐久レースの場合

- 1) 優勝者
優勝者は、規定の時間に最大距離を走行したライダーである。
- 2) 入賞者および順位の優先順序

規定の時間が終わったら、フィニッシュ・ラインでチェッカーフラッグが振られる。前週の後の結果によって順位が確立され、各チームによって走行された総周回数とトータル・タイムによって最終的な順位が決定される。

3. 完走者

- (1) 優勝者の周回数の75%以上を完了したライダーが完走者である。
- (2) レース途中でリタイアしたライダーも完走周回数を完了している場合は完走者とみなされる。
- (3) ピットロードでのゴールは周回数には積算されるがチェッカーを受けたとは認められない。

4. 得点

- (1) 得点は国内競技規則・第3章〔競技会〕16（23頁参照）によって与えられる。
- (2) SPフォーミュラクラスについては自動昇格のポイントの対象外とする。

8 ライダーの装備

1. ヘルメット

- (1) ヘルメットはフルフェイス型のものでMFJが公認したものではないと認められない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには右記の認証マークが貼付される。
- (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査がおこなわれ、MFJの公認したヘルメットでも、

検査に合格しなかったヘルメットは、ライダー本人の安全上使用を禁止する。

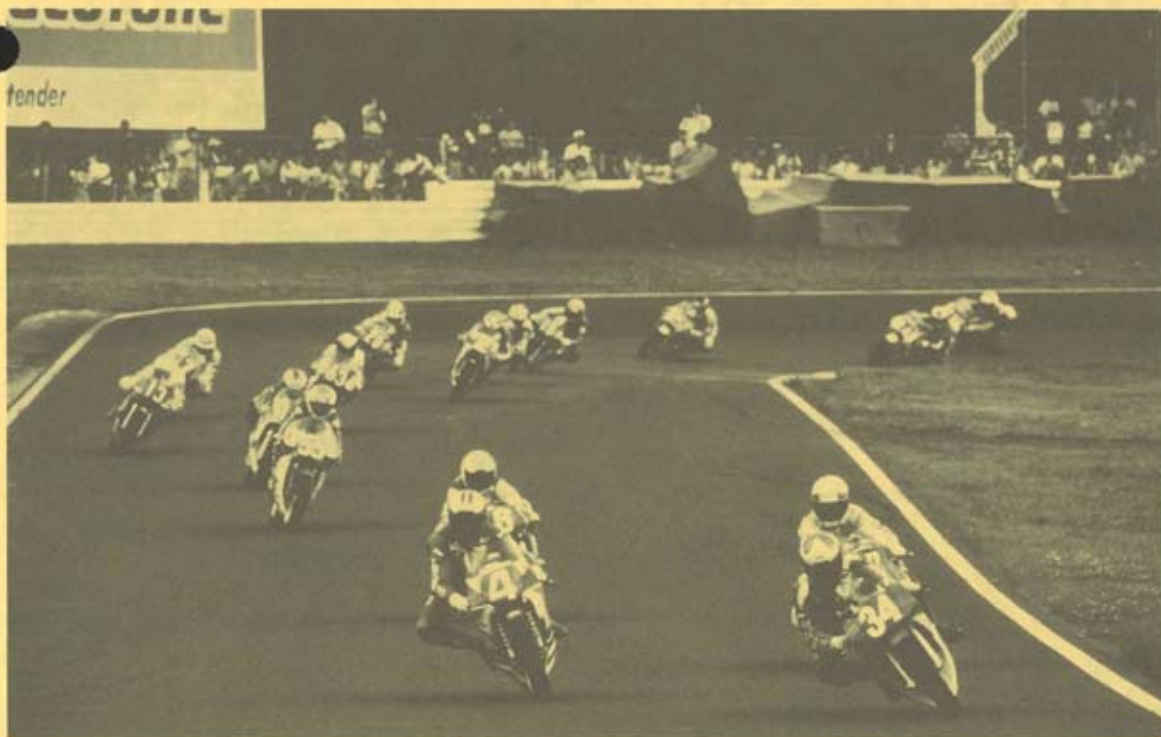
- (4) MFJ公認ヘルメットでMFJの公認認証マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、新規に検査を受けなければならない。

2. ライダーの服装

- (1) 皮製のレーシングスーツ、皮製の手袋およびブーツなどは、フックなどが外部に突出していないライダーの身体にピッタリしたものでなければならない。
- (2) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。皮製のレーシングスーツの裏地は、耐熱および耐火処理をほどこした難燃性の布製のものでなければならない。



ヘルメットには特別推薦を示すホワイト地、またはゴールド地の認証マークがついてなければならない。



ROAD RACE

細則 2

ロードレース車両細則



1 レース出場車両	36	4 GPフォーミュラ部門の改造限度	42
2 MFJ公認車両・公認部品	37	5 TTフォーミュラ部門の改造限度	43
3 総合仕様	37	6 SPフォーミュラ部門の改造限度	46

1 レース出場車両

出場車両（以下車両という）は、下記の仕様と改造の限度をみだし、安全上完全に整備されているものとななければならない。

1. 車両の排気量区分

車両の排気量区分は次のようにわけられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

●GPフォーミュラ部門

区分	通常吸気型	4サイクル過給型
クラス	排気量	排気量
80cc	50ccをこえ 80cc	25ccをこえ 40cc
125cc	80ccをこえ 125cc	40ccをこえ 62.5cc
250cc	125ccをこえ 250cc	62.5ccをこえ 125cc
500cc	250ccをこえ 500cc	125ccをこえ 250cc



●T.T.フォーミュラ部門

区分	4 サ イ ク ル			2サイクル
クラス	2気筒	3~4気筒	4気筒過給型	4気筒まで
TTF 3	550ccまで	250ccをこえ 400cc		125ccをこえ 250cc
TTF 1	550ccをこえ 1000cc	400ccをこえ 750cc	200ccをこえ 375cc	250ccをこえ 500cc

●SPフォーミュラ部門(スポーツ・プロダクション)

区分	排気量	2サイクル	4サイクル
クラス			
SP50	50ccまで	○	○
SP80	50ccをこえ 80cc	○	○
SP125	81ccをこえ 125cc	○	○
SP250	125ccをこえ 250cc	○	○
SP400	250ccをこえ 400cc	×	○
SP750	400ccをこえ 750cc	×	○

※但し各サーキットごとにそれぞれ2サイクル、4サイクルの排気量別に開催クラスの組み合わせが認められる。
SP750は89年度についてはスポーツランドSUGOのみテストコースとして開催を認める。(ライセンスはジュニア以上)

スーパーバイク部門

区分	4 サ イ ク ル		
クラス	2 気 筒	3-4気筒	4気筒過給型
スーパー ストリート	550ccまで	250ccをこえ 400cc	
スーパー バイク	550ccをこえ 1000cc	400ccをこえ 750cc	200ccをこえ 375cc

2 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および、公認部品は、巻末付録を参照、また、新たに公認される車両については毎月のライディング誌にて公示する。

3 総合仕様

車両は、安全のために次の各項のすべてをみたしていなければならない。

1) ブレーキ

車両は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

2) リムとタイヤ

50ccを除き最小限リム直径は16インチとする。

3) ハンドルバー

(1) 最低幅

80cc以下 440mm

その他 450mm以上

※グリップ装着時も最低幅をたもつこと

(2) 露出したハンドルバーの先端には、固形物質を詰めるか、ゴムで覆われるようにしなければならない。

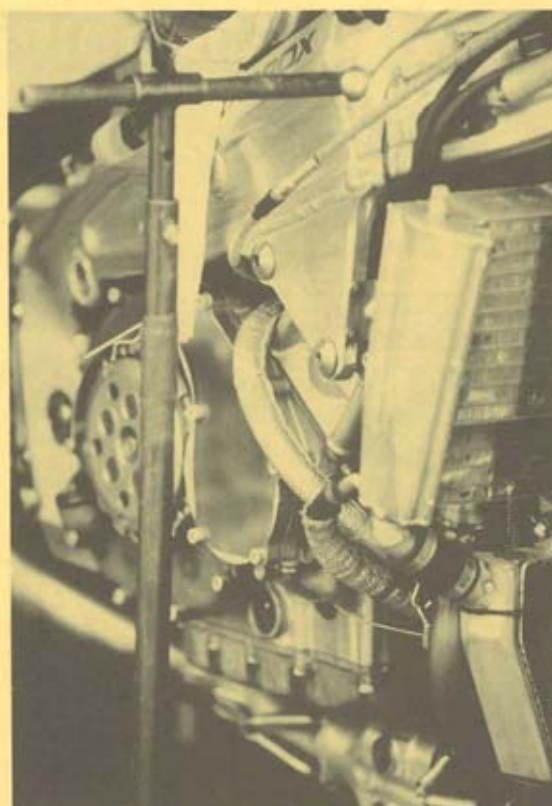
(3) 中心線または中央位置の両側に対する最低回転角度は20度以上でなければならない。

(4) 前輪はハンドルバーがどの位置にあらうともカウリングに接触しないようにしなければならない。

4) ハンドルバーのクリアランス

(1) グリップ部およびレバーとカウリングとのクリアランスは20mm以上でなければならない。

(2) ハンドルの回転角度を左右いっぱいに切った



とき、ライダーの指を挟まないようにハンドルバーと燃料タンクの間に最低30mm以上の間隔を確保するようストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取り付けなければならない。

5) スロットルコントロール

スロットルコントロールは手をはなすともどる方式でなければならない。

6) クラッチレバーおよびブレーキレバー

クラッチレバーおよびブレーキレバーの末端は、直径19mm以上の球状で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。このボールを平たくすることも認められるが、平たくした部分の厚みは少なくとも14mmとし、いかなる場合においてもその端部に丸味を持たせることが必要である。(このレバーピボット点からボールの端まで測った場合のレバーの長さは200mmまでとする。)

7) フートレストおよびペダル

(1) フートレストは、前後車軸の中心を通過する線の100mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取り付けられ、どのコントロール・ペダルも容易に操作できる位置になければならない。

(2) フートレストの先端は安全上半径8mm以上に丸められてなければならない。

(3) ペダル類の先端は安全上丸められていなければ

総合仕様(37~41頁より)参考図

30度以内

前面のナンバープレートは、垂直に対して30度以内の角度とする。

50mm以下

カウリング前端部の形状は、図の範囲とする。

100度以上

45度~60度の間

50mm前方

カウリングの前端は前車軸の垂線から50mm前方まで

19mm以上

クラッチレバー、ブレーキレバーの先端は、直径19mm以上の球状とする。

20mm以上

グリップ部、レバーとカウリング間には20mm以上のクリアランスをとる。

100mm以下

フートレストは、前後車輪の中心を結ぶ線の100mm上方より下側に、また後輪の中心を通過する垂線の前側に取りつけられなければならない。

450mm以上

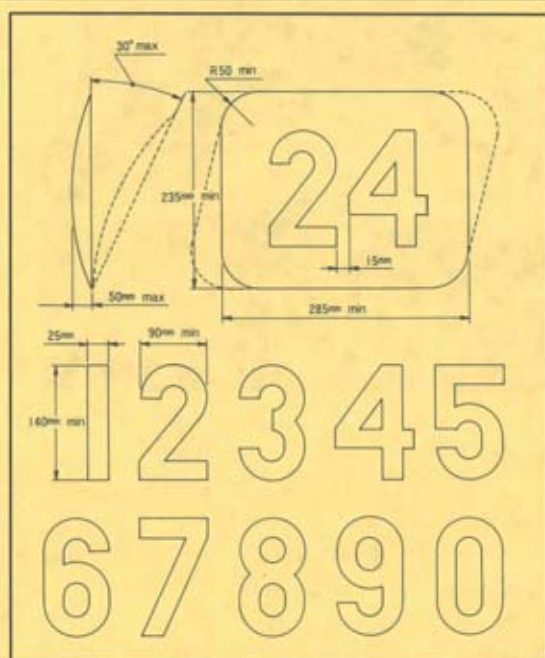
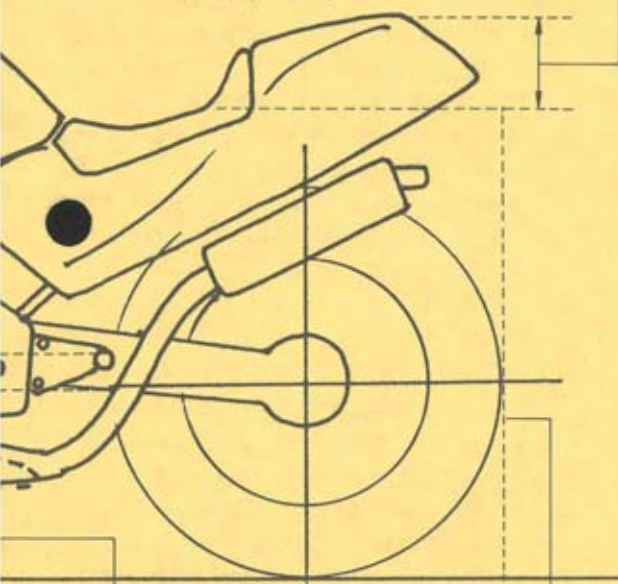
ハンドル幅は450mm以上とする

20度以上

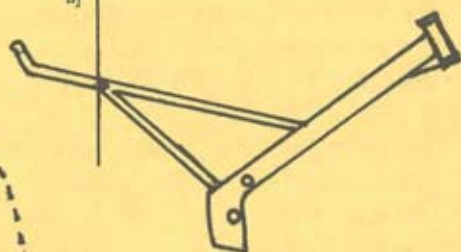
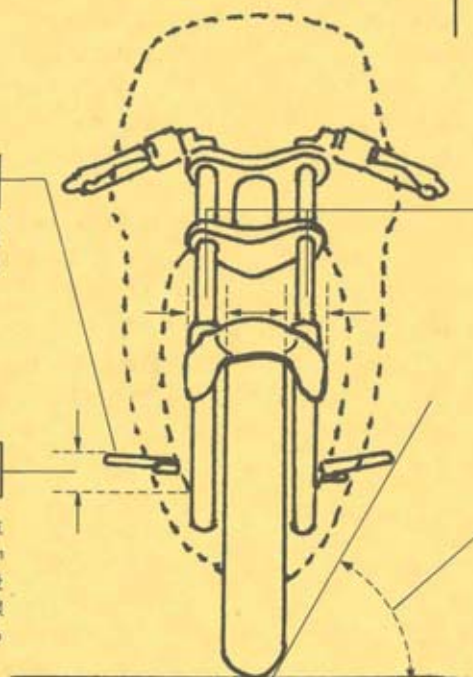
ハンドルの回転角度は20度以上とする。

30mm以上

ハンドルをいっばいに切ったとき、ハンドルバーと燃料タンクの間隔は30mm以上にする。

150mm以下シート後方部分の高さは
150mm以下にする。**フレームの基本骨格**

カット可

**100mm以上**カウリング下端と地面には
100mm以上の間隔をとる。**はみ出し禁止**いかなる部品もこの垂直線
より後方に出てはならない。**丸める (R8mm以上)**フートレスト、ペダル類
の先端は丸められたもの
とする。**100mm以下**フートレストは、前後車
輪の中心を結ぶ線の100mm
上方より下側に、また後
輪の中心を通過する垂線
の前側に取り付けられる
ことが必要。**10mm以上**フェンダーを取りつける
場合は、フェンダー幅を
タイヤ幅より左右それぞ
れ10mm以上とる。**50度以上**無負荷の状態、タ
イヤを除きどの部分
も接地することなく
50度の傾斜角をもつ
こと。



ばならない。

- 8) シートエンドの高さ
シートエンドの後方の部分が 150mm 以上の高さ
があつてはならない。(39 頁参照)

- 9) シートまたはその後方にあるいかなる部分の幅
も 450mm 以上あつてはならない。

- 10) 排気系
排気はすべて側方に開口のない管により、車両
の後方に排出されねばならず、排気管の端部は少
なくとも 30mm の長さで、マシンのセンター軸と水
平かつ平行でなければならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)

また排気管は後輪最端垂線より突出してはなら
ず、排気がほこりを立てるように排出されたり、
タイヤやブレーキを汚したり、後続のライダーに
迷惑を与えるようなオイルの飛散を防ぐあらゆる
可能な処置をしなければならない。

ただし、公認時の排気系を使用する場合はこの
限りではない。

- 11) 音量規定
(1) 排気管およびサイレンサーは音量規制につい
てのすべての要求事項を満たしていなければならない。

- (2) 音量は FIM 方式による測定方式で、105db(A)
以内。ただし 4 サイクル車は誤差値が $+5\text{db(A)}$ まで
認められる。FIM 方式による音量測定方法は、
国内競技規則・第 3 章〔競技会〕20(24 頁)を参照。

- 12) 車両の傾斜角

車両の傾斜角度は無負荷でタイヤを除きどの部
分も接地することなく垂線に対して 50° 傾斜させる
ことが可能でなければならない(38~39 頁図参照)。

- 13) カウリング

カウリングを使用する場合は次の条件をそなえ
たものでなければならない(38~39 頁図参照)。

- (1) タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなけれ
ばならない。
(2) 前輪の車軸を通る垂線の 50mm 前方から後車輪

の車軸の垂線の間になければならない。

- (3) カウリングの下端と地面との間隔は 100mm 以
上でなければならない。

- (4) ライダーが普通に乗車した状態でライダーの
両前腕部以外は上方、後方、両側面から見えな
ければならない。ライダーの顔面またそのヘル
メットとカウリング(ウインド・スクリーンを含
む)との間の最小限スペースは 100mm とする。

- (5) 後方に面しているカウリングのいかなる部分
も、その端部を少なくとも半径 3.5mm 以上の丸状
にしなければならない。後方に面しているウイ
ンド・スクリーンの端部にはガードを施して
より傷を負う恐れのないようにしなければならない。

- (6) エアフォイル(空力パーツ)またはスポイラー
は、それらがフェアリングまたはシートと一体構
造になっている場合に限り取り付けることが
できる。これらの装置の幅は、フェアリングの
幅をオーバーしてはならず、また、その高さは
ハンドルの高さをオーバーしてはならない。ふ
ちのちの部分が少なくとも 8mm 以上の丸
味をもたせなければならない。

- (7) 上記の適用を避けるために透明な物質を使用
することはできない。

- (8) カウリングの前端部の形状は 38~39 頁の図に
示す範囲でなければならない。

- (9) 後輪の可視範囲

後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周 180 度
にわたって明瞭に見えなければならない。

- 14) 部品の最後端

いかなる部品も後輪最後端垂線よりうしろに突
出してはならない。

- 15) フェンダー

- (1) フェンダーはタイヤの両側に張り出してい
なければならない。

- (2) フロントフェンダーはホイールの周囲を最低
100° に渡ってカバーしていなくてはならない。
ただし、カウリングがついている場合は 100° 以下
でもよい。フェンダーの前端とホイールの中心
を結ぶ線とホイールの中心を水平に通る線の作
る角度は 45° から 60° の間とする。

- (3) リヤ・フェンダーはホイールの周囲を最低 120°
に渡ってカバーしていなくてはならない。フェ
ンダーの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイ
ールの中心を水平に通る線の作る角度は 20° 以
上あつてはならない。

- (4) フロントフェンダーはカウリングがある場合
には必要ない。リヤフェンダーはシートカウル
がリヤタイヤ外側の垂直接線にまで達している
場合は必要ない。

16) 取りはずさなければならないもの。

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、およびキックアームは取りはずさなければならない。

17) レースナンバープレート

(1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、車両の前面に取りつけるものは左右285mm以上、上下235mm以上の大きさのもので、38～39頁図に示されているものでなければならない。車両の左右に取りつけているのは38頁図に示されているように左右300mm以上、上下250mmの長方形のものでなければならない。

(2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚は車両の前面に、前向きに、垂直から30°以下の角度をつけて取り付け(38～39頁図参照)、車両の両側面にも各1枚垂直方向に取りつけられなければならない。

(3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートの文字の色分けは次の通り。
ノービス部門＝白地に黒文字 (SPクラスは黒地に白文字)

ジュニア部門＝黄地に黒文字

国際A級部門＝赤地に白文字

※世界選手権競技会においてはFIM規定に準ずる。

※蛍光色は禁止する。

(4) ナンバーの字体および寸法

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。ナンバーの文字寸法は、高さ140mm、幅は25mmとする。誤読されないよう書体にはとくに注意する。(12頁図参照)。

18) オイル・ドレーン・プラグと供給パイプ

すべてのオイル・ドレーン・プラグは確実に締め、

ゆるみ止めに有効なロックワッシャーで固定するか、ドリルで穴をあけてワイヤーで所定の位置に固定する。オイル供給パイプは、確実に固定する。

オイルキャピテーに進入する外部のオイルフィルター、スクリューまたはボルトは安全のために確実に固定しなければならない。

19) 燃料、オイル・フィラー・キャップ

燃料、オイル・フィラー・キャップは、閉じた状態でもれる恐れがあってはならない。さらに、いかなる場合においても誤って開くことのないように、完全にロックされていなければならない。

20) 燃料タンク・ブリーザー・パイプ

燃料タンクブリーザーパイプを取り付ける場合は、ノン・リターン・パイプを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取り付けなければならない。これらは適切な材質の最小限容量250ccのキャッチタンクへの排出式とする。

21) オイル・キャッチ・タンク

全ての車両はその排気量より容量の多いオイルキャッチタンクを取り付けなければならない。ただし2サイクル車はギヤボックスブリーザーパイプの取り付けられている車両のみ有効な250cc以上の容量のオイルキャッチタンクを取り付けること。なお、転倒時に容易に脱落したり破損せず、高温にも耐えられる材質のもので、オイルがこぼれないように確実に取り付けなければならない。また、スタート時には必ず空にしておかなければならない。

22) ラジエーターリザーバータンク

すべての車両は100cc以上の容量のラジエーターリザーバータンクを取り付けなければならない。

23) 燃料タンク

燃料は、車両にしっかりと固定された唯一のタンク内に収めるものとする。

シート・タンクおよび補給タンクの使用は禁止されている。軽便着脱式のとりかえタンクは、すべての種類の競技について、燃料補給の手段としては使用を厳禁される。

さらに、タンクの容量を減少させる一時的充てん物の使用は禁止される。防火物質の全面的充てんは認められる。

24) ホース

すべての熱あるいは圧力のかかるホースに関しては耐熱・耐圧ホースを使用しなければならない。

25) 危険防止

危険および迷惑をおよぼすような改造をしてはならない。



4 GPフォーミュラ部門の改造限度

競技の公平および安全性に関連して次のような改造制限を定める。

1. 国際A級部門

- (1) 車両は自由とする。

●車両区分

区分 クラス	通常吸気型	4サイクル過給型	最大 限 気筒 数	ミ ツ シ ョ ン 大 限	(リ ツ ク 容 量 リ ツ ク 容 量)
	排気量	排気量			
80cc	50ccをこえ 80cc	25ccをこえ 40cc			
125cc	80ccをこえ 125cc	40ccをこえ 62.5cc	単気筒	6段	6~32
250cc	125ccをこえ 250cc	62.5ccをこえ 125cc	2気筒	6段	6~32
500cc	250ccをこえ 500cc	125ccをこえ 250cc	4気筒	6段	6~32

- (2) すべての車両は国内競技規則および総合仕様に表示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。
- (3) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車両重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

ク ラ ス	最 低 重 量
125cc	65kg
250cc	90kg
500cc	115kg

なお、上記の最低重量をみたすために、ダミーウェイトを装備してはならない。

- (4) 車両が発生する音量については、総合仕様10(40頁参照)。
- (5) すべてのモーターサイクルについて、フレーム、フロント・フォーク、スイング・アーム、ハンドルバーおよびホイール・スピンドル構造にチタニウムを使用することは禁止される。

ホイール・スピンドルに軽合金を使用することも、また禁止される。

2. ジュニア・ノービス部門

- 1) 車両は、市販レーサーまたは一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認した車両でなければならない。
- 2) すべての車両は、国内競技規則および総合仕様に表示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。
- 3) 車両区分

区分 クラス	排気量	最大限 気筒数	最大限 変速段数	最大限 タンク容量
80cc	50ccをこえ 80cc	単気筒	6段	6~32ℓ
125cc	80ccをこえ 125cc	単気筒	6段	6~32ℓ
250cc	125ccをこえ 250cc	2気筒	6段	6~32ℓ

- 4) 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車両重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。





クラス	最低重量
80cc	55kg
125cc	65kg
250cc	90kg

なお、上記の最低重量をみたすためにダミーウエイトを装備してはならない。

- 5) 車両が発生する音量については、総合仕様10) (40頁参照)。
- 6) 一般生産型モーターサイクルの改造限度
一般生産型モーターサイクルをベースに改造を行なう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。
- (1) フレームの基本骨格 (シートレールを含む) (38～39頁図参照)およびクランクケース本体は車両公認時のものでなければならない。
ただし、不要なステー類のカットおよびフレームの補強は認められる。
- (2) チタン合金を素材としこれを加工して製造された部品を使用してはならない。
- (3) 過給は認められない。
- (4) 上記項目以外の部品の改造変更は自由とする。
- 7) 市販レーサーの改造限度
市販レーサーをベースとして改造を行なう場合は下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) フレームの基本骨格およびクランクケース本体は車両公認時のものでなければならない。
- (2) 下記の部品の改造変更は出来ない。ただし、MFJ公認部品および同一メーカーのMFJ公認車両の部品のみ交換することが出来る。

- ① シリンダー
- ② シリンダーヘッド
- ③ ミッション
- ④ フロントフォーク
- ⑤ リヤサスペンションユニットおよびリンク
- ⑥ スイングアーム
- ⑦ キャブレター

シリンダー、シリンダーヘッドは調整・仕上げのみ認められる。

- (3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
- (4) 過給は認められない。
- (5) 上記項目以外の部品の改造変更は自由とする。

5 TTフォーミュラ部門の改造限度

国際A級部門 TTF-1

1. 車両の排気量区分

車両のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

区分 クラス	4 サ イ ク ル			2サイクル
	2気筒	3～4気筒	4気筒過給型	4気筒まで
TTF-1	550ccをこえ 1000cc	400ccをこえ 750cc	200ccをこえ 375cc	250ccをこえ 500cc

注：エンジンは、各クラスの上限を15%越える排気量の公認車両のものまで、ベース車両として選択できるが、ボアダウンによって当該クラスのリミット内に排気量を下げなければならない。(ストロークダウンはできない)

2. 国際A級TT-F-1部門の車両

TTフォーミュラに出場する車両は、現在生産されているモーターサイクルで、一般ユーザーが容易に入手し得るものであり、下記の条件をみたしていなければならない。

- (1) 車両は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJまたはFIMが公認したものでなければならない。

※世界選手権においてはFIM公認車両に限られる。

3. 国際A級TT-F-1部門の改造限度

- 1) すべての車両は、総合仕様10)に示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。

- 2) 下記のものについて、公認型式に変更を加えることは禁止される。

- (1) エンジンの型式
- (2) シリンダー、吸入・排気バルブの数
- (3) ピストンストローク
- (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、およびギヤボックスシェルの材質および鋳造
- (5) バルブ数を含む吸・排気装置および2サイクル型エンジンのポート数、キャブレターの数。

- 3) 下記の制限内で改造をおこなうことができる。

- (1) ギヤミッションは6速の範囲内でギヤボックスシェルに変更を加えない限りギヤ段数および変速比を変更できる。
- (2) 燃料タンク最大容量は次のように制限される。

フォーミュラ1=24リッター

- (3) シリンダーのキャスティング（鋳造）を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大は当該車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。

ただし、再ボーリングの場合は当該クラスのリミットの1%オーバーまで認められる。

- (4) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことが認められている。
- (5) 安全と音量コントロールのために、排気管とマフラーの改造が認められる。音量規定については3 総合仕様10) (38~39頁参照)。
- (6) すべての車両は、フレーム、フロント・フォーク、スイング・アーム、ハンドルバーおよびホイール・スピンドル構造にチタニウムを使用することが禁止される。

ホイール・スピンドルに軽合金に使用することも、また禁止される。

- 4) 上記以外の部品の改造、変更は自由とする。

国際A級TTF-3クラスの改造限度

今年度より、国際A級TTF-3クラスに出場する車両の改造限度はFIMルールから国内ルールに変更する。これは、ローコストとイコールコンディションで参加できることが目的である。

1. 車両の排気量区分

車両のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

区分 クラス	4 サ イ ク ル			2サイクル
	2気筒	3~4気筒	4気筒過給型	4気筒まで
TTF-3	550ccまで	250ccをこえ 400cc		125ccをこえ 250cc

注：エンジンは、各クラスの上限を15%越える排気量の公認車両のものまで、ベース車両として選択できるが、ボアダウンによって当該クラスのリミット内に排気量を下げなければならない。（ストロークダウンはできない）

2. 国際A級TTF-3の車両

車両は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

3. 国際A級TTF-3の改造限度

- 1) すべての車両は、総合仕様10)に示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。

- 2) 下記のものについては、公認型式に変更を加えることが禁止される。

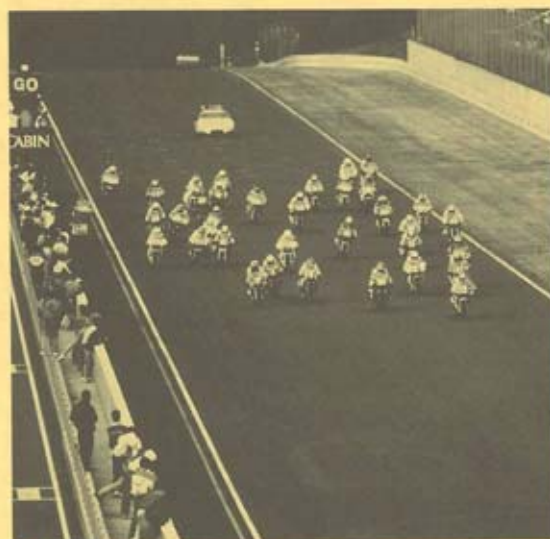
- (1) エンジンの型式
- (2) シリンダー、吸入・排気バルブの数
- (3) ピストンストローク
- (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスシユルの材質および鋳造。
- (5) バルブ数を含む吸・排気装置および2サイクル型エンジンのポート数
- (6) キャブレターの数と型式
- (7) フレームの基本骨格（シートレール含む）
- (8) 燃料タンク

- 3) 下記の制限内で改造をおこなうことができる。

- (1) ギヤミッションは6速の範囲内でギヤボックスシユルに変更を加えない限りギヤ段数および変速比を変更できる（MFJ公認部品）。
- (2) シリンダーのキャスティング（鋳造）を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。

ただし、再ボーリングの場合は当該クラスのリミットの1%オーバーまで認められる。

- (3) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことが認められる。
- (4) フレームの補強および必要でないステー類のカット。
- (5) 燃料タンクの給油口及びコック。
- (6) 安全と音量コントロールのために、排気管とマフラーの改造が認められる。音量規定については3 総合仕様10) (40頁参照)。
- (7) キャブレター



- ① 4サイクル車：MFJ公認部品（マグネシウム製を除く）または一般生産型モーターサイクルとして公認されている車両のキャブレターを使用し、改造・変更が認められる。
- ② 2サイクル車：車両公認時のものとし、ジェット類、ニードル類の変更およびエアークラップの取り付けは認められる。
- (8) フロントおよびリヤサスペンションはMFJ公認部品および同一銘柄の車両の部品のみ交換が認められる。（ただし同サイズ以上）。

※予告事項

90年1月1日より再ボーリングの場合の排気量リミット1%のオーバーは禁止される。

4) 構成部品

- ① 変速機はMFJが公認したものでなければならない(MFJ公認部品)。
- ② チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
- ③ フレームの製造ナンバーは、出場申込書に記入しなければならない。

フレーム交換の場合は車検で刻印を打刻する。

- 5) 上記項目以外の部品の改造変更は自由とする。

ジュニア・ノービス部門

1. 車両の排気量区分

車両のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

4 サ イ ク ル		2サイクル	
最大吸気筒数	2気筒	3~4気筒	4気筒まで
排気量	550ccまで	250ccを越えて 400ccまで	125ccを越えて 250ccまで

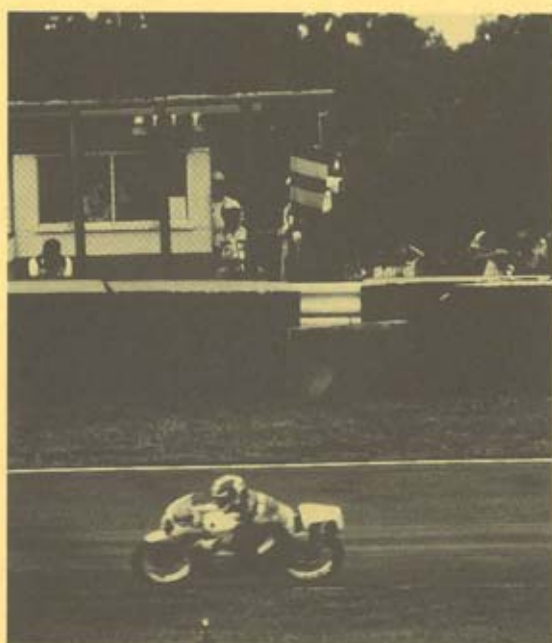
注：エンジンは、各クラスの上限を15%越える排気量の公認車両のものまで、ベース車両として選択できるが、ボアダウンによって当該クラスのリミット内に排気量を下げなければならない。ただし、ストロークダウンはできない。

2. ジュニア・ノービス部門の車両

車両は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

3. ジュニア・ノービス部門の改造限度

- 1) すべての車両は、総合仕様に表示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。
- 2) 下記のものについては、公認型式に変更を加えることが禁止される。
 - (1) エンジンの型式
 - (2) シリンダー、吸入・排気バルブの数
 - (3) ピストンストローク
 - (4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケ



ース、ギヤボックスシエルの材質および鍛造。

- (5) バルブ数を含む吸・排気装置、及び2サイクル型エンジンのポート数。
 - (6) キャブレターの数と型式
 - (7) フレームの基本骨格(シートレール含む)
 - (8) 燃料タンク
 - 3) 下記の制限内で改造をおこなうことができる。
 - (1) ギヤミッションは6速の範囲内でギヤボックスシエルに変更を加えない限りギヤ段数および変速比を変更できる(MFJ公認部品)。
 - (2) シリンダーのキャストイング(鍛造)を変更することなくボアを拡大することができる。ただし、この拡大が当該車両本来の出場を認められるクラスの排気量の限度を超えないことを条件とする。
- ただし、再ボーリングの場合には当該クラスのリミットの1%オーバーまで認められる。
- (3) 安全上の理由により、ヘッドライト、電装品、ホーン、ナンバープレート、スピードメーターおよび競技規則にうたわれているその他の部品を取り外すことが認められる。
 - (4) フレームの補強および必要でないステー類のカット。
 - (5) 燃料タンクの給油口およびコック。
 - (6) 安全と音量コントロールのために、排気管とマフラーの改造が認められる。音量規定については3総合仕様10) (40頁参照)。
 - (7) キャブレターは車両公認時のものとし、ジェット類、ニードル類の変更およびエアークラップの取り付けは認められる。

- (8)フロント及びリヤサスペンションはMFJ公認部品及び同一銘柄の車両の部品のみ交換可とする。(但し同サイズ以上)

4) 構成部品

- ① 変速機はMFJが公認したものでなければならない。(MFJ公認部品)
- ② チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。
- ③ フレームの製造ナンバーは、出場申込書に記入しなければならない。フレーム交換の場合は車検で刻印を打刻する。

5) 上記以外の部品の改造、変更は自由とする。

※予告事項

90年1月1日より再ボーリングの場合の排気量リミット1%のオーバーは禁止される。

6 SPフォーミュラ部門の改造限度

1. 出場車両

車両は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

2. 車両の排気量区分

区分 クラス	排気量	2サイクル	4サイクル
SP50	50ccまで	○	○
SP80	50ccをこえ 80cc	○	○
SP125	81ccをこえ 125cc	○	○
SP250	125ccをこえ 250cc	○	○
SP400	250ccをこえ 400cc	×	○
SP750	400ccをこえ 750cc	×	○

※但し各サーキットごとにそれぞれ2サイクル、4サイクルの排気量別に開催クラスの組み合わせが認められる。

※SP750は89年度についてはスポーツランド SUGOのみテストケースとして開催を認める。(ライセンスはジュニア以上)

3. 改造の限度

- 1) すべての車両は総合仕様に表示されているロードレースについてのすべての条件に全面的に適合していなければならない。ただし公認時の型式に変更を加えない車両については、3 総合仕様40頁の8)シートエンドの高さ、15)フェンダー、13)カ

ウリング、14)部品の最後端の項はこれにあたらない。

2) 改造規定

車両はMFJが公認した時と同じもので、以下に記してある項目以外は改造、変更をしてはならない。

(1) エンジンおよび補機

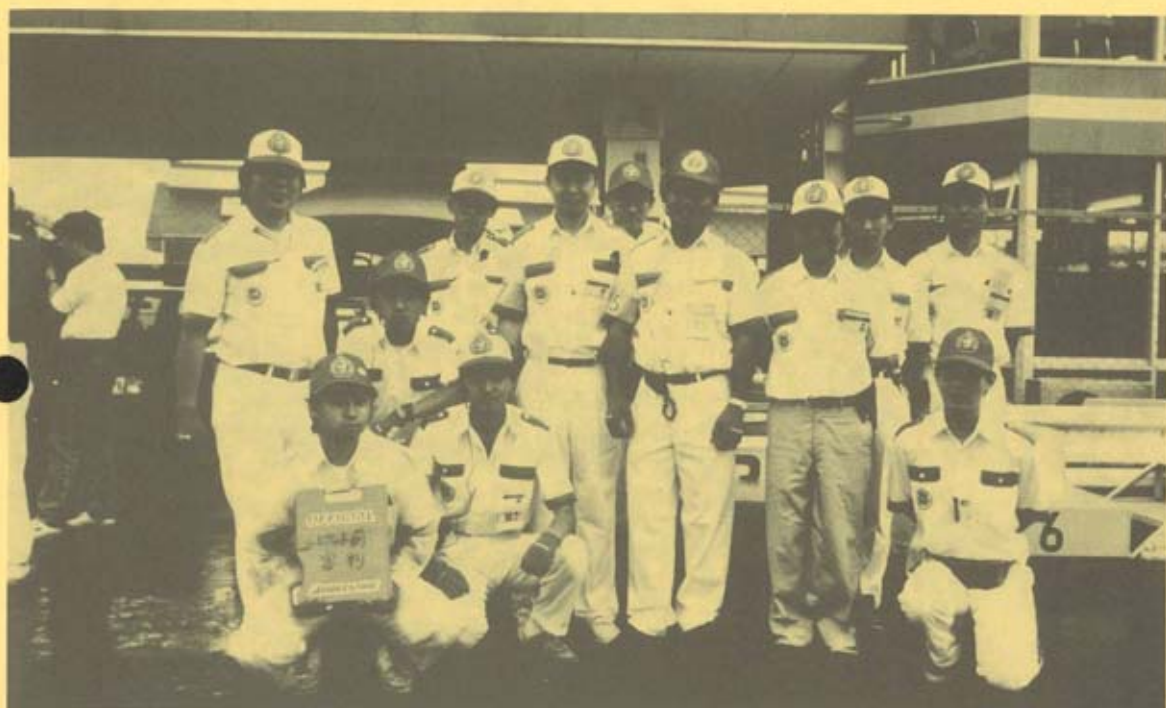
- ① キャブレターは車両公認時のものとし、ジェット類、ニードル類の変更およびエアークラップの取り付けは認められる。
- ② エアークリーナーのボックス、エレメントの改造・変更および取りはずしは可。
- ③ スパークプラグ、プラグキャップの変更は可。
- ④ イグニッションコイルの取付け位置の変更は可。
- ⑤ 始動機構と発電機およびそれらの関連部品の取りはずしは可。

セルモーターを取りはずさない場合は、それが作動しないようにしなければならない。(セルスタータースイッチを取りはずすこと)

- ⑥ 点火時期の調整は可。
- ⑦ 2サイクル車の分離給油のオイルポンプ(オイルタンク等の関連部品を含む)の改造・変更および取りはずしは可。
- ⑧ アクセルワイヤー、アクセルグリップ部(ラバーRL含む)オイルポンプ作動用ワイヤーの改造、変更は可。
- ⑨ クランクケースカバー(RL)の改造、変更は可。
- ⑩ 4サイクル車のオイルクーラーの取り付けは可。
- ⑪ ラジエーター、ラジエーターカバー、クーリングファン、サーモスタットの改造・変更は可。

- (2) マフラー：改造、変更は自由。ただし、総合仕様10(40頁参照)に従って処置されていなければならない。
- (3) フレーム：改造変更は不可。ただし、ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加および必要でないステー類(シートレールの一部含む)のカットは可。
- (4) フロント、リヤサスペンション：変更は不可。ただしエアークラップ、スプリングの変更は可。
- (5) フロントおよびリヤフォーク：ステアリングステム・トップブリッジを含み変更は不可。ただし必要でないステー類のカットおよびダストシールの変更、取りはずしは可。スタビライザーでの補強はフロントのみ可。
- (6) ステアリングダンパー：取り付けは可。ただしステアリングストッパーとの兼用は不可。





- (7) ホイールアッセンブリ：変更は不可。ただしスピードメーターギヤボックス改造は可。
- (8) タイヤ：一般市販されていて通常ルートで購入できるもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ（レーシングレイン、インターミディエイト含む）、摩耗限度を越えたものおよびグーピング（溝切り、カッティング）は不可。
- (9) スプロケット・チェーン：ファイナルレシオの変更は可（チェーンサイズを含む）
- (10) チェーンカバー：取りはずしは自由とするが、ライダーの足がチェーンにまき込まれないようにカバーを取り付けることが望ましい。
- (11) ハンドルバー：改造変更は可。ただし総合仕様ハンドルバー（37頁参照）に従って処置されていなければならない。
- (12) クラッチおよびブレーキのレバー変更は可。
- (13) カウリング：車両公認時に取り付けられているもの（メーカーオプション含む）のみとし、カットおよびスクリーンの変更のみ可。カウリングステーの改造・変更、またカウリングの取りはずしは可。
- (14) メーター類：改造・変更・取りはずしは可。
- (15) シート・シートカウル：改造・変更は可。（後輪の最後端の垂線より出てはならない）。
- (16) 燃料タンク：車両公認時のもので、形状の改造、変更は認められないが、フューエルコック、給油口の改造は可。
- (17) サイドカバー：取りはずしは自由とするが、

取りはずさない場合は脱落しないような処置を施すこと。

- (18) フェンダー：フロントおよびリヤとも改造・変更は可。総合仕様（37頁参照）に合致していなければならない。
- (19) ステップ・ペダル：改造・変更は良いが、3総合仕様7）（39頁参照）に従って処置していなければならない。
- (20) ブレーキ：前後ブレーキは当該車両公認時のものとし変更は認めない。ただしパッドまたはシューの材質およびブレーキホースのみの変更は認められる。
- (21) オイルキャッチタンク：4サイクル車は、その排気量より容量の多いオイルキャッチタンクを取り付けなければならない。
2サイクル車は容量250cc以上とし、ギヤボックスよりホースの出ているもののみ取り付けなければならない。
なお転倒時に容易に脱落したり、破損せず、高温にも耐えられるものでオイルがこぼれたりしないような処置をし、確実に取り付けなければならない。
- (22) ワイヤーハーネス：改造、変更は可。
- (23) バッテリー：変更、取りはずしは可。
- (24) キルスイッチ：キルスイッチの改造、変更は自由であるが、完全に作動しグリップを握って届く位置になくしてはならない。
- (25) リミッター装置の変更は可。
- (26) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

ROAD RACE

細則 3

'89全日本選手権大会 特別規則

ロードレース

1 開催競技会.....49	12 レース出場車両.....52	25 レース中の合図.....58
2 運営実行組織.....49	13 ゼッケンナンバー.....52	26 停車指示.....58
3 公式通知.....49	14 ライダーの装備.....53	27 レースの停止と再スタート.....58
タイムスケジュール	15 ガソリン.....53	28 リタイヤ(棄権)と停止.....59
4 開催種目.....49	16 ビット.....53	29 レース終了.....60
5 競技内容.....49	17 出場受付.....53	30 レース終了後の.....60
6 参加定員.....49	18 車両および装備の検査.....53	車両の保管と再検査
7 参加資格.....49	19 出場車両の変更.....54	31 レースおよび大会の.....60
8 出場申込み.....49	20 公式予選.....54	延期・中止等
9 出場料および	21 決勝レース出場台数.....54	32 抗議.....60
MFJ共済会掛金.....49	22 スタートの手順.....54	33 違反に対する罰則.....60
10 参加受理.....49	23 スタートにおける反則.....55	34 本規則の解釈.....60
11 賞および得点.....52	24 レース.....55	35 本規則の施行.....60

1 開催競技会(50~51頁に掲示)

2 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

3 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

4 開催種目

1. 競技部門およびクラス区分

全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は次

のとおりである。

- 1) 全日本選手権シリーズ・ロードレース大会にノービス地方選手権が併催となる場合がある。



部門 クラス	ジュニア	国際A級
125cc	○	○
250cc	○	○
500cc	—	○
F-3	○	○
F-1	—	○

全日本選手権ロードレース大会および主要ロードレース大会、世界選手権の開催種目および地方選手権併催レース種目は50～51頁掲載の表の通りである。

5 競技内容

レース区分は50頁および51頁の通りである。ただし、参加台数、天候などの都合により変更される場合がある。

6 参加定員

参加定員は定めない。

7 参加資格

エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1988年度版MFJ国内競技競技規則・第3章〔競技会〕9(28頁)に合致していなければならない。

8 出場申込み

- 1) 出場申込み場所は各主催者の住所とする。
- 2) 出場申込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申込み場合は別々に申込み書を作成しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。
 - (4) 電話による申込みおよび締切り日以後の申込みはいっさい受付けない。

9 出場料およびMFJ共済会掛金

1. 出場料およびMFJ共済会掛金

- 1) 第1戦～第16戦



49 ロードレース

出場料 1クラス 11,500円

MFJ共済会掛金 1人1口3,500円

- 2) ピットクルーはライダー1名につき4名まで認められ、(メカニック 2名、ピットサインマン、ヘルパー各1名) ピットクルーライセンスを所持しなければならない。

10 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込み書、必要金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が送られる。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取りやめになった場合、参加者が拒否された場合(申込み者が必要な手続きを怠った場合はこれにあてはまらない)にのみ出場料、保険料が返還される。

'89全日本選手権シリーズ大会(主要ビックイベント)開催競技会の日程

開催日	大会名	ノービス(併催)				ジュニア			国際A級							
		SP	125	250	F3	125	250	F3	125	250	500	F3	F1	SB		
2月25日(土) 26日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 ロードレースジュニアグランプリ大会(筑波)	SP250 ●				○	○	○								(財) 千10
3月4日(土) 5日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 鈴鹿 BIG 2 & 4 大会 (鈴鹿)						○	○					△			鈴鹿 千5
4月8日(土) 9日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波大会					●	○	○	○	○	○					筑波 千10
4月22日(土) 23日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿大会	SP400 ●				○	○			△	△		△	●		鈴鹿 千5
4月29日(土) 30日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 西日本大会					○	○	○	○	○		○				MF 山口 千5
5月12日(金) 14日(日)	TTフォーミュラ世界選手権シリーズ第6戦 全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 SUGO大会						○		△	△		△	◎			SUGO 千9
5月27日(土) 28日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 筑波大会					○	●	○	○	○			○			MF 千10
6月10日(土) 11日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 鈴鹿200km大会				●		○	○		△		△	△			鈴鹿 千5
6月24日(土) 25日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 筑波大会					○	○		○	○	○	○				筑波 千10
7月8日(土) 9日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 SUGO大会					○		○	○		○		○			SUGO 千9 スオ
7月22日(土) 23日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 ジュニア6時間耐久ロードレース大会(鈴鹿)							○ 6H								鈴鹿 千5
8月25日(金) 27日(日)	スーパーバイク世界選手権シリーズ第9戦 全日本ロードレース選手権シリーズ第12戦 SUGO大会						○			△	△		◎	●		SUGO 千9
9月9日(土) 10日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第13戦 鈴鹿インターナショナルロードレース大会		●	●		○				△	△		△			鈴鹿 千5
9月23日(土) 24日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第14戦 西仙台大大会					○	○	○	○	○		○				西仙大 千9
10月13日(金) 15日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第15戦 TBCビッグロードレース大会(SUGO)					○				△	△	△	△			SUGO 千9
10月28日(土) 29日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第16戦 MFJグランプリロードレース大会(筑波)								△	△	△	△	△			日本 千10
3月23日(水) 26日(日)	世界選手権シリーズ第1戦 日本グランプリロードレース大会(鈴鹿)								◎	◎	◎	○				鈴鹿 千5
7月21日(金) 7月29日(土) 7月30日(日)	FIM耐久カップ第2戦 8耐久ウィーク ノービス4時間耐久ロードレース大会 鈴鹿8時間耐久ロードレース大会	SP400 ● 4H			● 4H								○	◎		鈴鹿 千5
11月3日(金) 5日(日)	富士インターナショナルロードレース大会 スーパースプリント'89									◆	◆		◆			

○……全日本選手権対象種目

●……地方選手権対象種目

◆……特別イベント及ヴィンター格式種目

名称、開催種目、主催、開催場所、出場申込み期間

出 場 申 込 先	開 催 場 所	出場申込み期間 (満印有効)	大 会 名 称
日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	1月17日(火) ↓ 1月27日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 ロードレースジュニアグランプリ大会(筑波)
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	1月24日(火) ↓ 2月3日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 鈴鹿 BIG 2 & 4 大会 (鈴鹿)
日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	2月28日(火) ↓ 3月10日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波大会
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	3月14日(火) ↓ 3月24日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿大会
山口県モーターサイクルスポーツ協会 県美祿市西原保町長尾 西日本サーキット事務所内 ☎08375(8)0321	西日本サーキット ☎08375(8)0321	3月21日(火) ↓ 3月31日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 西日本大会
スポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	4月4日(火) ↓ 4月14日(金)	TTフォーミュラ世界選手権シリーズ第1戦 全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 SUGO
関東ブロック協議会 東京都港区港南3-3-10 ☎03(472)6241	筑波サーキット ☎0296(44)3146	4月18日(火) ↓ 4月28日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 筑波大会
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	5月2日(火) ↓ 5月12日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 鈴鹿200km
日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03(591)6056	筑波サーキット ☎0296(44)3146	5月16日(火) ↓ 5月26日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 筑波大会
スポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	5月30日(火) ↓ 6月9日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 SUGO大会
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	6月13日(火) ↓ 6月23日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 ジュニア6時間耐久ロードレース大会(鈴鹿)
スポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	7月18日(火) ↓ 7月28日(金)	スーパーバイク世界選手権シリーズ第10戦 全日本ロードレース選手権シリーズ第12戦
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	8月1日(火) ↓ 8月11日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第13戦 鈴鹿インターナショナルロードレース大会
台ハイランドレースウェイ 宮城県仙台市荒川早坂山12 ☎022(395)2120	西仙台ハイランド レースウェイ ☎022(395)2120	8月15日(火) ↓ 8月25日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第14戦 西仙台大会
スポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	スポーツランド SUGO ☎0224(83)3111	9月5日(火) ↓ 9月15日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第15戦 TBCビッグロードレース大会 SUGO
モーターサイクル協会(MFJ) 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル ☎03(865)8441	筑波サーキット ☎0296(44)3146	9月19日(火) ↓ 9月29日(金)	全日本ロードレース選手権シリーズ第16戦 MFJグランプリロードレース大会(筑波)
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	特別 規則に よる	世界選手権シリーズ第1戦 日本グランプリロードレース大会(鈴鹿)
鈴鹿サーキットランド・鈴鹿サーキット 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111		世界耐久FIMカップ第2戦 耐久ウィーク ノービス4時間耐久ロードレース大会 鈴鹿8時間耐久ロードレース大会
	富士スピードウェイ (FISCO) ☎0550-78-1234		富士インターナショナルロードレース大会 スーパースプリント'89

△……全日本選手権対象種目かつインター格式種目

◎……世界選手権対象種目

SB……スーパーバイク

11 賞および得点

1. 賞

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 国際A級の最低賞金額は下記の通りとする。

●'89全日本選手権ロードレース最低賞金額(国際A級部門)

単位: 万円

クラス 順位	500cc	TTF-1	250cc	TTF-3	125cc
1位	40	40	25		20
2位	30	30	17		14
3位	25	25	12		10
4位	20	20	10		8
5位	16	16	8		6
6位	12	12	6		5
7位	9	9	5		4
8位	8	8	4		4
9位	6	6	4		4
10位	5	5	4		4
11位	4	4	3		2
12位	4	4	3		2
13位	4	4	3		2
14位	4	4	3		2
15位	4	4	3		2
16位	2	2	2		1
17位	2	2	2		1
18位	2	2	2		1
19位	2	2	2		1
20位	2	2	2		1
合計	201	201	120		94

※国際A級予選通過者全員に対しグリッド賞1万円以上支給する。
この賞金は正味金額で、これからいかなる差し引きも行なわれてはならない。

2. 全日本選手権ランキングの得点

- 得点は国内競技規則・第3章〔競技会〕16(23頁参照)によって与えられる。
- MFJグランプリロードレース大会とロードレース・ジュニアグランプリ大会については、上記の得点に、さらに3点が加算される。
- 全日本選手権ランキングの順位は上記によって与えられた得点の総合計によって決定される。その詳細は全日本選手権ランキング順位決定法(107頁参照)に示される。

3. 賞および得点制限

- 賞および得点の制限は、国内競技規則・第3章〔競技会〕16(23頁参照)による。

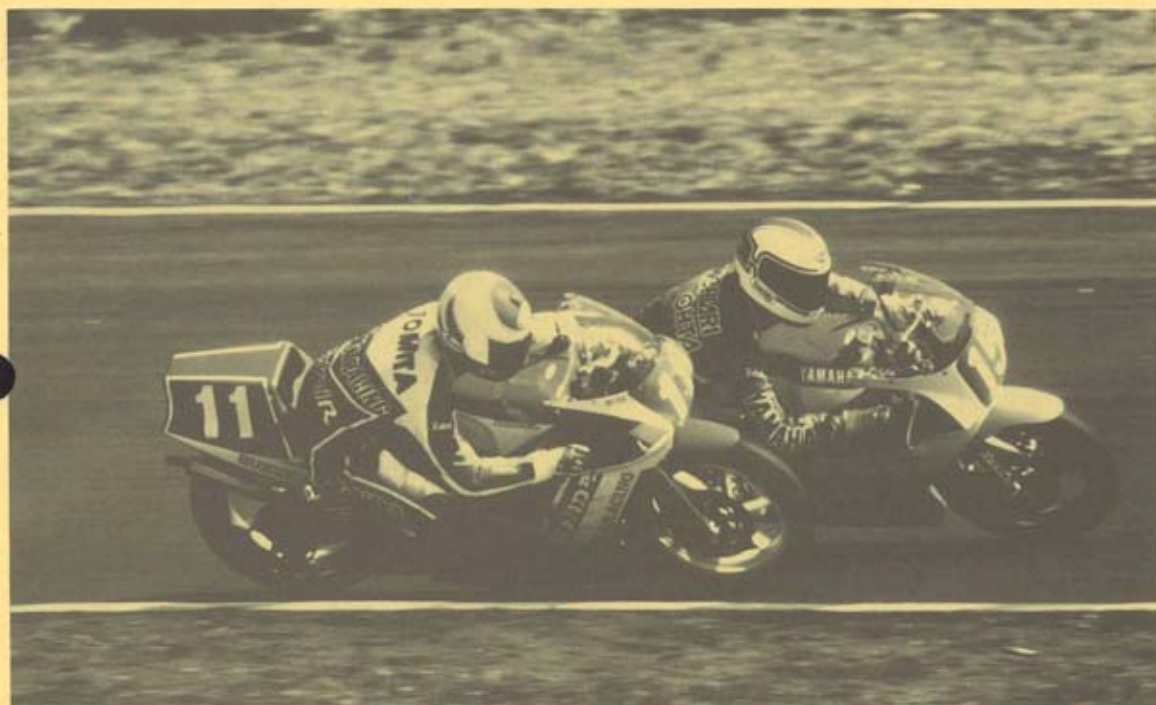
12 レース出場車両

車両は、国内競技規則・第3章〔競技会〕18(24頁参照)を厳守しなければならない。

13 ゼッケン・ナンバー

- 国際A級部門のライダー(前年度有得点者)には、ライディング3月号No.231に示すとおり年間指定ナンバーが割当てられる。
- 他部門のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定





の書体および色分けて記入しておかなければならない。

- 4) ゼッケン・ナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

ライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。

3. MFJライセンスを提示できない者は出場が認められない。

14 ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメット等は、国内競技規則・第3章(競技会)11(29頁参照)による。

15 ガソリン

1. ガソリンの銘柄およびその詳細は公式通知に示される。
2. 車両検査および公式予選中は、パドック内の所定の給油区域内においてガソリンの給油を受けなければならない。

16 ピット

各ピットの使用は、公式通知による。

17 出場受付

1. 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
2. 定められた時間内に必ず本人または参加者がMFJ

18 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車両検査区域においておこなわれる。
- 2) 車両検査のための車両はライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済まなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) ライダーは車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査持込み台数はジュニア部門は出場1レースにつき1台に限定、国際A級部門は2台までとする。(Tカーは同一メーカーに限る)
- 5) 車両検査において、規則または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 6) 予選を通過した車両全車に対し、音量測定を行なう。
- 7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

19 出場車両の変更

1. 車両の変更は国内競技規則・第3章〔競技会〕21(25頁参照)による。
2. 車両変更の申請は同部門、同クラスの車両に限定され、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

20 公式予選

1. 公式予選の内容は細則1〔5〕(32頁参照)による。
2. 公式予選の日程および時間は公式通知または公式プログラムに示される。

21 決勝レース出場台数

1. 決勝レース出場台数は、開催場所により原則として次の台数以下とする。
 - (1) 鈴鹿サーキット=44台
 - (2) 筑波サーキット=32台
 - (3) スポーツランドSUGO=40台
 - (4) 西日本サーキット=30台
 - (5) 西仙台ハイランドレースウェイ=40台

22 スタートの手順

1. スタート約30分前
ライダーは、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。
2. スタート約15分前(サイティングラップ)
 - 1) ライダーはコースに出て1周のサイティングラップを行ない、スターティング・グリッドにつきエンジンを停止する。サイティングラップは義務付けられてはいない。
 - 2) サイティングラップを行なわなかったライダーは……、
 - ①ウォーミングアップラップ開始3分前までに定められたグリッドに着ける。
 - ②ウォーミングアップラップ3分前以降は最後尾グリッドにつかなければならない。
 - ③ウォーミングアップラップ1分前以降はピットレーン出口からスタートする。
いずれかの場合もウォーミングアップラップを回って正規のグリッドに付けることができる。
3. 注意事項
 - ①コースに入ったら車両の交換、追加の給油は厳禁される。
 - ②車両の修理はピットレーンのみで許可される。
 - ③タイヤの交換はピットレーン、スターティング



グリッド両方で許可される。

3. ウォーミングアップラップ5分前
下記のボードが警告とともに提示される。
 - 1) 5分前のボード：カウントダウン(秒読み)開始
 - 2) 3分前のボードとレッドライト：当該ライダー、ライダー1名につき2名のメカニックと1名の傘をもつ人間以外の全員がグリッドから離れる。
 - 3) 1分前のボードとイエローライト：当該ライダー以外の全員がグリッドから離れる。ライダー全員にヘルメットの顎ひもがしっかりと締められているかチェックすることを指示するボードが提示される。
4. ウォーミングアップラップスタート
 - 1) グリーンフラッグとグリーンライトにて押し掛けスタートする(外部からの援助なし)。メカニックがライダーの補助のためコースにとどまることは厳禁される。違反した場合は1分間のペナルティが課せられる。
 - 2) ウォーミングアップラップの時はライダーは自分のスターティングポジションをキープしなくてはならない。
 - 3) ライダーが自分でマシンを押し掛け出来ない場合……、
 - ①ウォーミングアップラップ5分前の合図の時に担当競技役員にその事を告げる。
 - ②このライダーは、ひとりだけメカニックを連れて、自分のスターティング・ロー(列)と平行した位置のグリッドの右端か左端に移動する。
 - 4) ウォーミングアップラップを走れなかった場合の処置……、
 - ①メカニックが補助してもなお始動出来なかった場合には、ライダーはマシンをピットに入れ、ピットからディレイドスタートする。
 - ②ウォーミングアップラップを走れなかったライダーはピットからスタートしなければならない。
5. スタート
 - 1) グリッドに戻ってきたら、ライダーはエンジンを掛けたまの状態で、自分のグリッドポジションで静止する。

- 2) もし問題があった場合には、このライダーはすみやかにピットに戻らなくてはならない。
- 3) スタートを遅らせることを意図して、ライダーがグリッドにつくことは厳禁される。もしライダーが遅れてグリッドに戻ってきて、既にレッドライトが表示されている事に気が付いたら、このライダーはゆっくりしたスピードでピットに向かわなければならない。そしてこのライダーは、ピットからディレイド・スタート（遅れてスタートする事）する。
- 4) スタートライン上、コースの中間地点では、レッドフラッグを持った競技役員が、ライダー全員がグリッドにつくのを待つ。さらにこの競技役員はマーシャルカーが姿を見えるまでそこに残っている。スターターの指示がでたらこの競技役員はコースを離れる。
- 5) レッドフラッグを持った二人目の競技役員がグリッドの最後尾に待機する。もしライダーがマーシャルカーの後ろからやってきたら、グリッド最後尾からスタートするか、あるいはピットに戻るよう指示する。
- 6) 列の番号表示ボードを持つスタートマーシャルは、グリッド各列の向かい側に立ち、自分の列のマシンが静止したらただちにボードを下げる。すべてのボードが下げられたら、スターターはグリッドが静止していることを確認して「レッドライト」を点灯する。レッドライトが点灯されてから2秒以上5秒以内にレッドライトに変わってグリーンライトが点灯されレースがスタートする。
- 7) スターティンググリッドに戻ってきた時点でエンジンが止まったり、スタート出来ないライダーがいた場合……、

①ライダーは手を挙げ、さらにこの列を担当するスタートマーシャルがボードを掲げて（あるいは掲げつづけて）、ボードの反対側の黄色面をスターターに向けることによって、この状況を伝える。

②スターティンググリッドに戻ってきたマシンに問題があった場合、スターターはスタートを取り止めるよう判断し下記の手順をとる。

A. レッドライトがまだ点灯されていない場合には、スタートディレイド（スタート延期）のボードがスタートラインで掲示され、レッドフラッグが掲げられる。

B. レッドライトがすでに点灯されていたら、スターターは「点滅するイエローライト」を点灯し（レッドライトはそのまま）、さらにスタートディレイドのボードがスタートラインで掲げられる。

A.B.両方の場合：

エンジンは停止されスタートの手順は5分前の所から再開される。この場合、レース距離は1周減算される。このような状況で、スタートの手順が1回以上繰り返された場合には、1回ごとに1周ずつ減らされていく。この事はラップカウンターに表示される。

③スタートの合図が出された後に、スタート出来なかった場合のみ競技役員がただちに介入し、エンジンを掛けるためにマシンをコースに沿って押す。もし、数回の試みによってもエンジンが掛からない場合には、競技役員がピットへ運ぶ。

8) スタートした集団がピットの出口を通過した後に、ピットレーンで待っているライダーがスタートする。（競技役員により合図が出される）

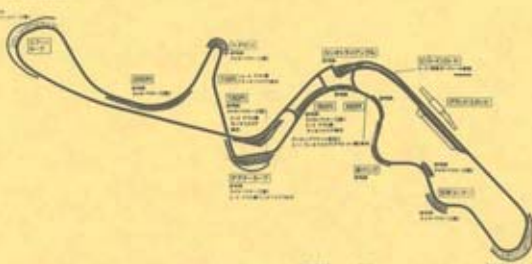


'89全日本選手権シリーズ戦および地方選手権、主要イベント開催サーキット



●鈴鹿サーキット
(1周=5859.43mのクロードサーキット)
第2戦、第4戦、第8戦、第11戦、第13戦を開催

三重県鈴鹿市福生町7992



●筑波サーキット
(1周=2045mのクロードサーキット)
第1戦、第3戦、第7戦、第9戦、第16戦
(MFJ-GP)を開催



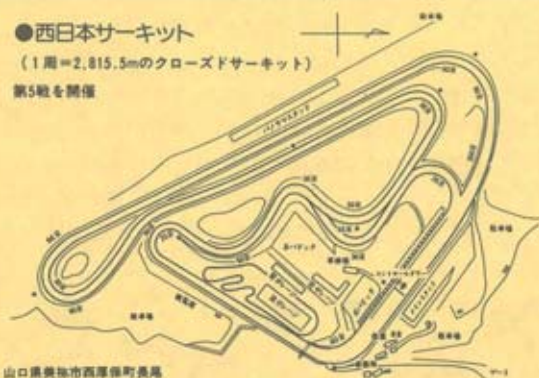
茨城県結城郡千代田村同宇西原

●スポーツランドSUGO
(1周=3,737.50mのクロードサーキット)
第6戦、第10戦、第12戦、第15戦を開催



宮城県栗原市田村町町香生

●西日本サーキット
(1周=2,815.5mのクロードサーキット)
第5戦を開催

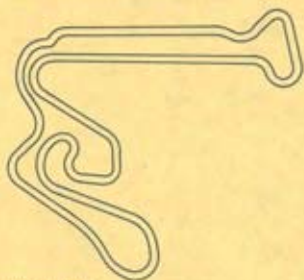


山口県美祿市西原保町長尾

●富士スピードウェイ
(1周=4,047mのクロードサーキット)
静岡県駿河郡小山町大御神



●西仙台ハイランドレースウェイ
(1周=3,757.44mのクロードサーキット)
第14戦を開催



宮城県宮城郡宮城町新川字平坂山12

●HSP北海道スピードパーク
(1周=1,389.44mのクロードサーキット)
北海道根室市根室安町字峠下155



'89全日本選手権シリーズ戦および地方選手権、主要イベント開催サーキット

●サホロスポーツランド

(1周=1,551.44mのクロードサーキット)

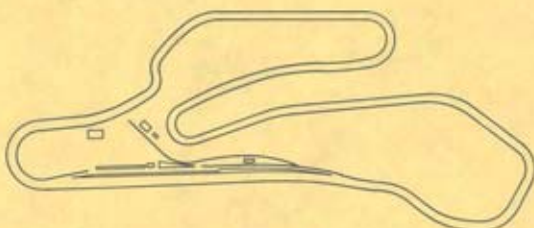
北海道上川郡新穂町宇新内西2線



●エビスサーキット

(1周=2,061mのクロードサーキット)

福島県二本松市沢松倉1番地



●日本海間瀬サーキット

(1周=2,004mのクロードサーキット)

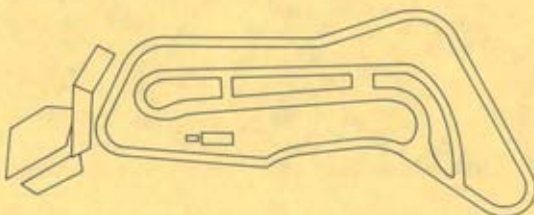
新潟県西蒲原郡追分村大字間瀬下山



●中山サーキット

(1周=1,550mのクロードサーキット)

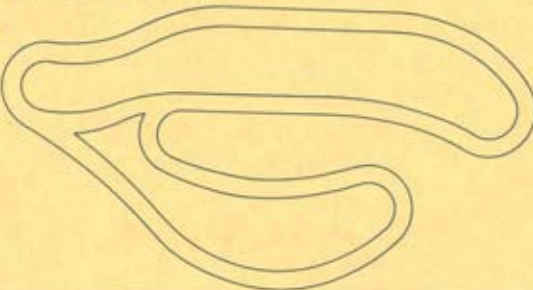
岡山県和気郡和気町中山751



●阿旗サーキット

(1周=905mのクロードサーキット)

徳島県三好郡三好町大字東山宇尾久保319





23 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについた車両およびライダーはスタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまで出発合図の統制下にある。
- 2) スタート合図がおこなわれる前に自分のスターティングポジションから前進した場合は1分間のペナルティが科せられる。
- 3) ビットクルーがスタートの規則にしたがわなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間、もしくは失格のペナルティが科せられる。
- 4) ペナルティは、当該ライダーのビット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は受けつけられない。

24 レース

- 1) 走行中の遵守事項は国内競技規則・第3章〔競技会〕10(22頁参照)のほか次による。
- 2) 如何なる場合でも逆方向への走行あるいは、規定外のコースを走行してはならない。ショートカットなど、これに違反した場合は失格とする。
- 3) レースまたは予選中、直線部分では、前車を追越すために、あるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは許されない。

25 レース中の合図

- 1) レース中の合図は、国内競技規則・第3章〔競技会〕14(23頁参照)による。
- 2) 赤旗の使用は、コントロールライン上において、競技監督、または競技監督の命を受けた代理役員にのみ限られる。

26 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てビットインを命じ、あるいはレースから除外することができる。この決定に対する抗議は受け付けられない。
- 2) 天災、大事故等不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

27 レースの停止と再スタート

事故または、天候その他の事情で継続が危険になって、レース停止が必要になった場合、競技監督はスタート／ゴールラインに赤旗をかかげ、同時にすべてのコースポストで、黄旗と赤色ストライプのついた黄旗を交差させてかかげ、レースが停止されたことを告げるものとする。

レース停止の決定は、競技監督もしくは、やむを得ない状況の下においては、次席の役員だけがとり得るものとする。

これらの合図が出されたら、ライダーは直ちにレースを停止、徐行してそれぞれのビットに戻るが、その際、そのレースの順位は前ラップの順位によってきまる。

1. レースが再スタートされる条件は次のとおりである。

- 1) 走行が2周以下の場合：
 - (1) もとのスタートは無効とされ、もとのスタートに参加したすべてのライダーはもとの車両、もしくは同一型の車両を使用して再スタートすることができるが、車両変更の場合は、それがTカーとして登録され車検に合格し、レースに参入することを車検長が認めた場合に限られる。
 - 再スタートのレースは全距離にわたって行なわれ、もとのグリッド・ポジションが適用される。再スタートに出場できない車両のグリッドはそのまま空席とされる。
 - (2) レースの再スタートが不可能である場合、選手権ポイントは与えられない。
 - (3) 再スタートが行なわれる場合は常に、もとの

レース停止から原則として30分後に行なわなければならない。

- 2) 2周以上走行したが、カバーされた距離が総走行距離の75%未満である場合：

- (1) そのレースはふたつの部分に分かれるとみなされる。レース前段の順位は、停止に先だつラップ終了時の順位とする。
- (2) 再スタートされたレースの距離は、もとのレースの全距離に達するまでの距離とする。
- (3) 再スタートのグリッドにおける車両のポジションは、計時長が前段終了時の順位に基づいて決定する。

- (4) レース前段において順位を得たライダーだけが再スタートを認められる。

車両の修理、あるいは交換（Tカーとして登録された車両）が認められる。国内競技規則・第3章〔競技会〕21（25頁参照）。

- (5) レース再スタートが不可能である場合は、正規の選手権ポイントの1/2が与えられる。

- (6) レースがふたつの部分から成る場合、各部分のラップ数が集計され、最大数のラップを走行したライダーが優勝者になる。

ラップ数で同位になった場合は、それらに要

したタイムが優勝者決定のきめ手になる。

- 3) 全距離の75%以上がカバーされた場合：

- (1) レース成立が宣言される。レース停止に先立つラップ終了時の順位がレースの順位になる。
- (2) 正規の選手権ポイントが与えられる。

28 リタイア(棄権)と停止

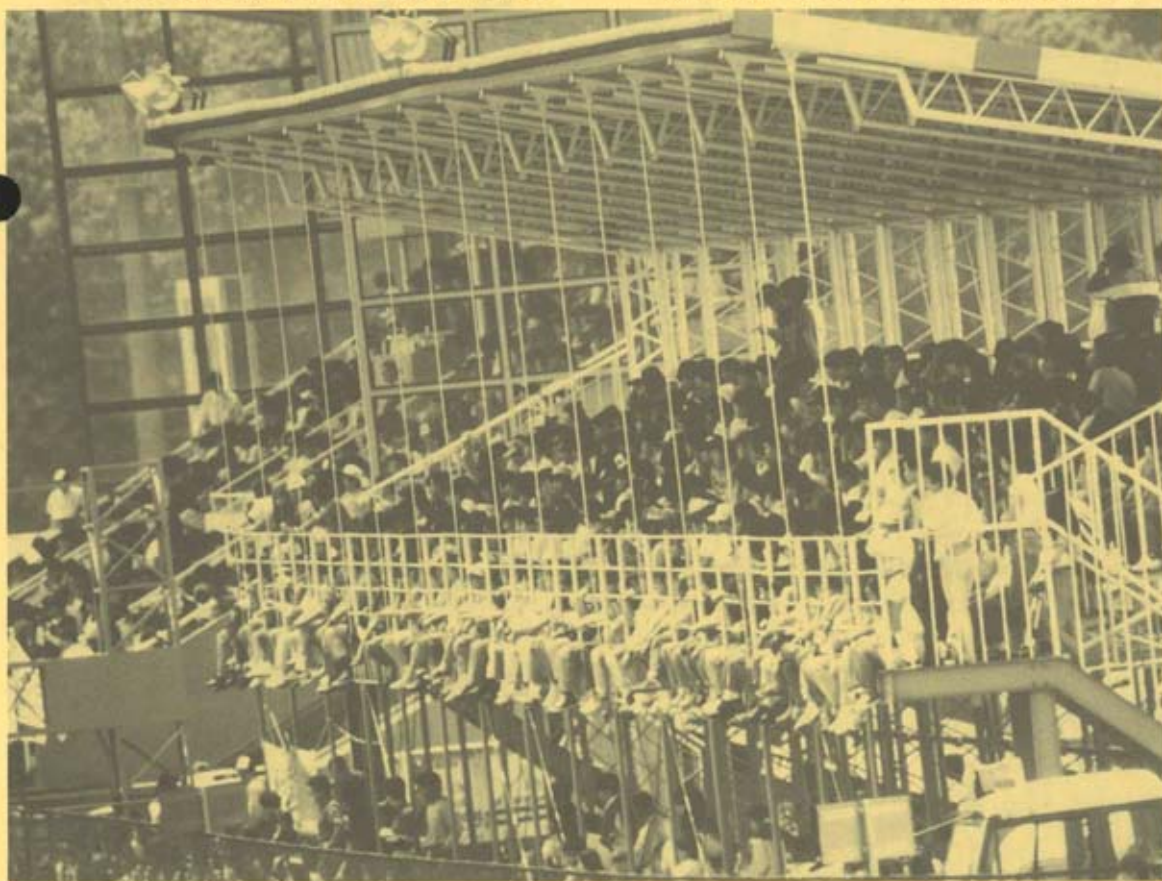
- 1) リタイアと停止は、国内競技規則・第3章〔競技会〕14（23頁参照）による。

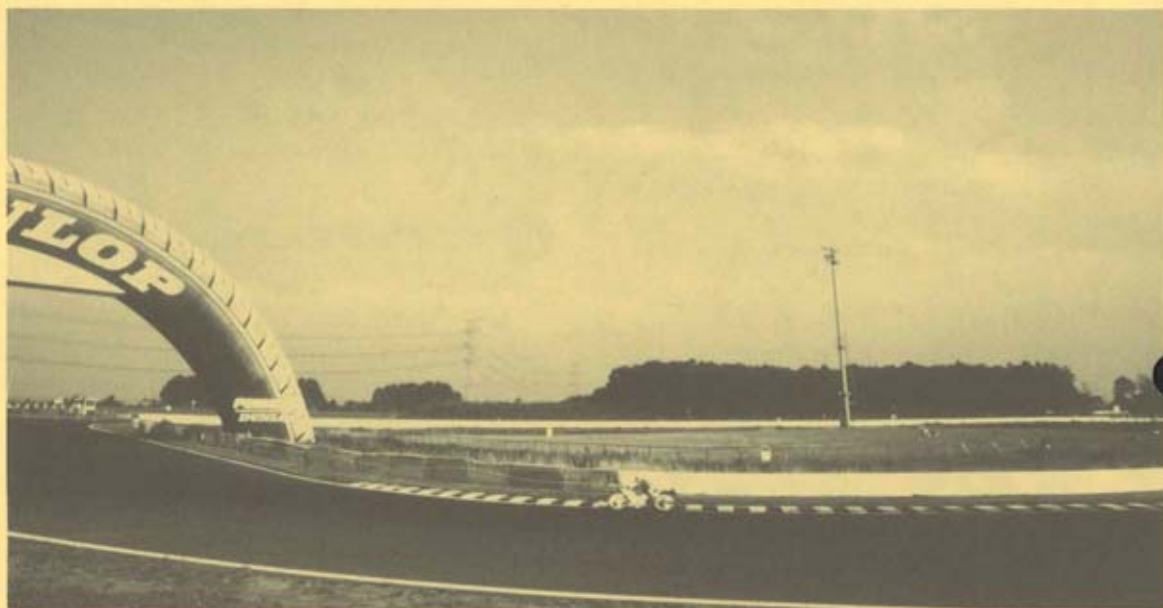
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイア届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイアと認めることができる。

- 3) ビット以外の地域でリタイアする場合、ライダーは車両をレース（または予選）終了まで競技役員の管理下におかなければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

- 4) 車両を押してビットに帰る場合は必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンを歩くこと。その際は必ずヘルメットを着用すること。

- 5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。





29 レース終了

各レースの終了は、チェッカー・フラッグによりトップのライダーがゴールインしたのち次の時間を経過したときである。

鈴鹿サーキット	4 分間
筑波サーキット	2 分間
スポーツランドSUGO	3 分間
西日本サーキット	3 分間
西仙台ハイランドレースウェイ	3 分間

30 レース終了後の車両の保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導にしたがって車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車両は音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査をおこなうことがある。
- 3) 上位入賞車両は暫定結果発表後30分以上保管される。
- 4) 出場者は車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

31 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、

他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については決勝進出者のみ出場料が返却される。

32 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔競技会〕26（26頁参照）による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

33 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔競技会〕29（26頁参照）による。

34 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑をすることができる。なお、この回答は大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

35 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1989年1月1日

全日本選手権大会事務局長

ROAD RACE

付 録

'89地方選手権大会

▶ 公示 ◀

本選手権はFIM国際スポーツ憲章並びにMFJ国内競技規則に準拠して、MFJ公認のもとに行なわれるものである。
また、本選手権の基本的精神は、中級・初級ライダー

の育成を主眼とし我が国のモーターサイクルスポーツの振興に貢献することを目的とするものである。
競技会の細部については各選手権の特別規則に示される。

- | | |
|-------------------------|----|
| 1 開催選手権..... | 61 |
| 2 開催日及び開催種目、出場申込み先..... | 61 |

1 開催選手権

次の11シリーズ戦が組まれている。

- HSPロードレース選手権シリーズ
- サホロードレース選手権シリーズ
- SUGOロードレース選手権シリーズ
- 西仙台ロードレース選手権シリーズ
- エビスロードレース選手権シリーズ
- 筑波ロードレース選手権シリーズ
- 間瀬ロードレース選手権シリーズ
- 鈴鹿ロードレース選手権シリーズ
- 西日本ロードレース選手権シリーズ
- 中山ロードレース選手権シリーズ
- 四国ロードレース選手権シリーズ

2 開催日及び開催種目、出場申し込み先

○＝ノーポイント、●＝ポイント対象、☆★＝混走、

SP＝スポーツプロダクション、N＝ノービス、J＝ジュニア、S＝スポーツ、JSP＝ジュニア・スポーツプロダクション、IA-SB＝国際A級スーパーバイク



■HSPロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦	5月20、21日	○	○	○	○	★
第2戦	6月17、18日	○	○	○	○	★
第3戦	7月15、16日	○	○	○	○	★
第4戦	8月19、20日	○	○	○	○	★
第5戦	9月16、17日	○	○	○	○	★
2h耐久	10月14、15日			☆	☆	
合 計		5	5	6	6	5

■サホロロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦	6月4日	○	○	○	○	
第2戦	7月2日	○	○	○	○	
第3戦	8月6日	○	○	○	○	
第4戦	9月3日	○	○	○	○	
第5戦	10月1日	○	○	○	○	
合 計		5	5	5	5	

サホロス

■SUGOロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125	N250
第1戦	4月2日	○	○	○	○	◎	◎
第2戦	6月11日	○	○	○	○	◎	◎
第3戦	8月6日	○	○	○	○	◎	◎
第4戦	9月17日	○	○	○	○	◎	
第5戦	11月5日	○	○	○	○		◎
第6戦	11月19日 耐久	90分	90分	3H	3H		
合 計		6	6	6	6	4	4

■西仙台ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦	4月15、16日	○	○	○	○	◎
第2戦	5月6、7日	○	○	○	○	◎
第3戦	6月4、5日	○	○	○	○	◎
第4戦	7月22、23日	○	○	○	○	◎
第5戦	8月12、13日	○	○	○	○	◎
第6戦	10月21、22日	○	○	○	○	◎
2H4H耐久	10月7、8日	2H	2H	4H	4H	
SP大会	11月25、26日	○	○	○	○	
合 計		8	8	8	8	6

※○=ノーポイント、◎=ポイント対象、☆★=混走、SP=スポーツプロダクション、N=ノービス、J=ジュニア、S=スポーツ、JSP=ジュニア・スポーツプロダクション、IA-SB=国際A級スノーボードバイク

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80	その他
	◎	★		○			
	◎	★		○			
	◎	★		○			
	◎	★		○			
	◎	★		○			
	★			★			
	6	5		6			

HSP 北海道スピードパーク：〒044 北海道虻田郡倶知安町字峠下155 TEL：0136-23-3880

	N250	NF-3	J125	J250	S50	S80
		◎				
		◎				
		◎				
		◎				
		◎				
		5				

ボーツランドクラブ：〒081 北海道上川郡新得町字新内西2線・サハロスボーツランド内ロードレース係 TEL：01566-4-5100

NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80	JSP750	IA-SB
◎						○	○
	◎	◎					
◎						○	○
◎						○	○
◎						○	○
4	1	1				4	4

SUGO スポーツクラブ：〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生・スポーツランドSUGO内 TEL：0224-83-3111

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80	その他
◎	◎	◎			○		
◎	◎		◎			○	
◎	◎			◎	○		
◎	◎	◎				○	
◎	◎		◎		○		
◎	◎	◎		◎		○	
	4H			4H			
					○	○	レディース
6	7	3	2	3	4	4	

ハイランドレースウェイクラブ(Hi-Rac)：〒989-34 宮城県仙台市新川早坂山12 TEL：022-395-2120/2123

■エビスロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦 4月9日		○	○	○	○	◎
第2戦 5月14日			○	○	○	◎
第3戦 6月25日		○		○	○	◎
第4戦 7月30日		○	○	○	○	
第5戦 9月3日		○	○		○	
第6戦 10月1日		○	○	○		
合 計		5	5	5	5	3

■筑波ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦 2月25、26日				○		
第2戦 3月18、19日				○	○	◎
第3戦 4月8、9日						
第4戦 4月29、30日	○			○		◎
第5戦 5月27、28日						
第6戦 7月15、16日	○				○	
第7戦 9月2、3日				○		◎
第8戦 9/30、10/1日	○				○	◎
第9戦 11月11、12日	○				○	◎
3h耐久 9月9、10日				3H	3H	
合 計		4		5	5	5

■間瀬ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦 3月25、26日		○		○	○	◎
第2戦 5月20、21日		○		○	○	◎
第3戦 6月17、18日		○		○	○	◎
第4戦 8月19、20日		○		○	○	◎
第5戦 10月7、8日		○		○	○	◎
合 計		5		5	5	5



※○=ノーポイント、◎=ポイント対象、☆★=混走、SP=スポーツプロダクション、N=ノービス、J=ジュニア、S=スポーツ、JSP=ジュニア・スポーツプロダクション、IA-SB=国際A級スーパーバイク

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80	その他
	◎						
◎	◎						
◎	◎						
◎	◎						
		◎		◎			
◎	◎	◎					
4	5	2		1			

エビスサーキット：〒964 福島県二本松市沢松倉1番地 TEL: 0243-24-2972

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80	
◎	◎				○		
◎		◎					
◎			◎	◎		○	
◎	◎	◎	◎		○		レディース
◎	◎		◎		○	○	
◎	◎				○	○	
5	5	2	2	2	3	3	レディース

(財)日本オートスポーツセンター(第1戦、第2戦、第3戦、第4戦、第8戦、第9戦)：〒105 東京都港区虎の門1-5-8 TEL: 03-591-6056
MFJ関東ブロック協議会(第5戦、第7戦)：〒108 東京都港区港南3-3-10 TEL: 03-472-6241
スタッフハウス(第6戦、3H耐久)：〒114 東京都北区王子4-23-8 TEL: 03-914-2949

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S 50	S 80
◎	◎	◎	◎			
◎	◎	◎	◎			
◎	◎	◎	◎			
◎	◎	◎	◎			
◎	◎	◎	◎			
5	5	5	5			

日本海間瀬サーキット事務局：〒953-01 新潟県西蒲原郡岩室村大字間瀬下山610 TEL: 0256-85-2201



■鈴鹿ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	S P 250F	S P 250	S P 400	N 125	N 250
第1戦 12月18日		○SC			◎SC	◎SC
第2戦 2月26日		○SC			◎SC	◎SC
第3戦 4月23、24日				○FC		
第4戦 6月10、11日						
第5戦 6月25日		○SC			◎SC	◎SC
第6戦 7月21/22日(予選)30日(決勝)				○4H耐久		
第7戦 9月10日					◎FC	◎FC
第8戦 10月1日				○SC		
第9戦 11月25、26日			○	○	○	○
合 計		3	1	4	5	5

■西日本ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦 2月19日		○	○	○	○	
第2戦 4月2日						◎
第3戦 6月4日		○	○	○	○	
第4戦 7月16日						◎
第5戦 8月27日				○	○	◎
第6戦 9月23、24日		○	○	☆3H	☆3H	
第7戦 10月29日						◎
第8戦 11月19日		○	○	○	○	
合 計		4	4	5	5	4

■中山ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦 2月19日						◎
第2戦 3月19日			○	○	○	
第3戦 4月9日						◎
第4戦 5月28日						◎
第5戦 7月9日			○	○	○	
第6戦 8月13日						◎
第7戦 9月3日			○	○	○	
第8戦 10月1日						◎
合 計			3	3	3	5

■四国ロードレース選手権シリーズ

日 程	クラス	SP125	SP250F	SP250	SP400	N125
第1戦 4月16日		○	○	○	○	◎
第2戦 5月21日		○		○	○	◎
第3戦 7月2日		○	○	○		◎
第4戦 9月17日			○	○	○	◎
第5戦 10月8日				○	○	◎
合 計		3	3	5	4	5

※○=ノーポイント、◎=ポイント対象、☆★=混走、SP=スポーツプロダクション、N=ノービス、J=ジュニア、S=スポーツ、JSP=ジュニア・スポーツプロダクション、IA-SB=国際A級スーパーバイク

NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80	そ の 他
						SC=ショート コース
						FC=フルコース
○FC						
◎SC						
◎4H耐久						
○						
4						

テクニカルスポーツ：〒513 三重県鈴鹿市住吉町6786 ホンダワールド株式会社内 TEL：0593-78-1455
 鈴鹿サーキットランド：〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL：0593-78-1111

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80
	○				○	○
◎		◎	◎	◎		
	◎					
◎	◎			◎	○	○
	◎	◎	◎	◎		
◎					○	○
◎	◎	◎	◎	◎		
					○	○
4	5	3	3	4	4	4

MFJ山口県モーターサイクルスポーツ協会：〒751 山口県下関市秋根南町2-4-25 ヤマトレーシング内 TEL：0832-56-1406

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80
◎	◎	◎	◎			
	◎					
◎	◎	◎	◎			
◎	◎		◎			
	◎					
◎	◎	◎				
	◎					
◎		◎	◎			
5	8	4	4			

山陽レーシングクラブ：〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751 TEL：08699-3-2333

N250	NF-3	J125	J250	JF-3	S50	S80
		◎				
		◎				
		◎				
		◎				
		6				

徳島モーターランド阿讃内・四国選手権事務局：〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319 TEL：0883-79-3705



"RADIAL"

R·E·S·P·O·N·S·E

ソフトにするか。ハードがいいか。選べるMCラジアル003に新登場。/ from YOKOHAMA

SOFT & HARD CONSTRUCTION

003 DRY

SUPER SPORTS RADIAL for PRODUCTION RACE

ソフトか。ハードか。コンパウンドの話ではない。コンストラクションである。プロダクションレース用スーパースポーツラジアル、GETTAR 003(110/70R17)に、いま、コンストラクション上の新しいスペックが与えられた。ST構造と、HT構造である。マシンの持つ特性と、タイヤの持つ特性のマッチング。ここに、そのコンセプトがある。ラジアル装着マシンは、そのエンジン、サス、フレームといった各機構、そして車重やライダーの乗り方で、操縦安定性が微妙に変化するからだ。この微妙な変化の解消が開発の目的。タイヤ剛性のコントロールをメイン手段に実現した。ST構造は、ソフトタイプのタイヤ剛性を意味し、HT構造は、ハードタイプのタイヤ剛性を意味する。同一サイズ、同一パターンでありながら、2種類の新MCラジアル。基本的な使用区分が与えられていることも新しいし、ライダーの好みでチョイスできるのも、これまた新しい。

ウェットのニュートレンド、004。レーシング・レインから生を受けた。/ from YOKOHAMA

004 WET

NEW

SUPER SPORTS RADIAL
for PRODUCTION RACE

マシン性能の向上は、タイヤへの要求性能にも当然シビアさを増している。間もなく、プロダクションレースでも、コースコンディション別にタイヤを使い分ける時代が来るだろう。ハーフレインからフルレインコンディションまでカバーする本格的ウェット指向MCラジアル、GETTAR 004。そうしたポジショニングを目標に開発された。変型ブロックとネット状グルーブを組合わせたパターンデザイン。ビッグに設定したブロックは、サーキットのハード走行時にかかる駆動方向、横方向のフォースにも耐える剛性を持つ。そのパターンを支えているのは、ウェットの全域で安定した威力を発揮するコンパウンド。さらに、レーシングMCラジアルとほぼ同等のローアングル・ケブラー2プライベルト構造、ナイロン90度1プライカーカス構造が、高性能への核を構成している。ネット状グルーブ。レーシング・レインを継承した、ウェットMCラジアルのニュートレンドだ。

PERFORMANCE MC RADIALS

GETTAR

レーシングスリックロープロファイル好評発売中!!

GRVシリーズ

カーボン採用の3素材複合積層構造が生んだレース仕様。



GRV ¥32,000

●カラー：ホワイト、ファイヤーレッド、ブラック、スターメタリック



GRV-NEXUS ¥37,000

●カラー：ホワイトベース×ブルー&ディープブルー、ホワイトベース×ブラック&レッド、ブラックベース×ブラウンメタリック&シルバー、ブラックベース×ホワイト&レッド

〔GRVシリーズ共通スペック〕 ●規格：スネル規格M85、JIS規格C種（MFJ公認）
●サイズ：XS（53～54cm）※GRVブレンのみ、S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm） ●構造：カーボン&ケブラー&ファイバーグラス複合積層構造 ※シールド（C-10A）は、標準装備のクリアーと、別売のメロースモックとスモークの3種類、各¥3,500です。



GRV-ZEPHYR ¥37,000

●カラー：スターメタリックベース×フロセントレッド&ホワイト、ホワイトベース×ブルー&ディープブルー、ブラックベース×レッド&ホワイト



GRV-ROBERTS ロバート ¥38,000

●カラー：レッドベース

RSVシリーズ

「科学と感覚」の相乗エアロダイナミクスの象徴ヘルメット。



RSV ¥29,800

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、コスミックブルー

〔RSVシリーズ共通スペック〕

●規格：スネル規格M85、JIS規格C種（MFJ公認）
●サイズ：XS（53～54cm）※RSVブレンのみ、S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ケブラー&ファイバーグラス複合積層構造 ※シールド（C-10A）は、標準装備のメロースモックと、別売のクリアーとスモークの3種類、各¥3,500です。



RSV-SEGNO セグノ ¥35,000

●カラー：ブラックベース×レッド、ホワイトベース×レッド、ホワイトベース×ディープブルー、ディープシルバーベース×ブラック

HXシリーズ TOURING MODEL



HX ¥30,000

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド

〔HXシリーズ共通スペック〕

●規格：スネル規格M85、JIS規格C種（MFJ公認）
●サイズ：XS（53～54cm）※HXブレンのみ、S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ケブラー&ファイバーグラス複合積層構造 ※シールド（C-10）は、標準装備のメロースモックと、別売のクリアーとスモークの3種類、各¥3,500です。



HX-II ¥35,000

●カラー：ホワイト&ディープグレーメタリック、レッド&ブラック

RFVシリーズ



RFV ¥29,500

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、スターメタリック



RFV-VESTA ¥35,500

●カラー：ホワイトベース×レッド、ブラックベース×シルバー、ディープシルバーベース×ブラック



RFV-VOGUE ¥35,500

●カラー：ホワイトベース×レッド、ホワイトベース×ブルー、ブラックベース×レッド

〔RFVシリーズ共通スペック〕

●規格：スネル規格M85、JIS規格C種（MFJ公認） ●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm） ●構造：ケブラー&ファイバーグラス複合積層構造 ※シールド（C-10）は、標準装備のクリアーと、別売のメロースモックとスモークの3種類、各¥3,500です。



RFV-TASK-FIVE ¥34,500

●カラー：ホワイトベース×ブルー、ファイヤーレッドベース×ブラック



RFV-TRITONE ¥36,000

●カラー：ホワイトベース×レッド&ブラック、ホワイトベース×ブルー&ディープブルー



RFV-DEGREE ¥35,500

●カラー：ホワイト×レッド、ファイヤーレッド×ブラック、ディープシルバー×ブラック

SHOEIのMFJ公認ヘルメット

実戦からフィードバックされた走りのテクノロジーが生きている。

TOURING MODEL



GX-2・FAVOR
¥36,000

●カラー：ホワイトベース、ファイヤーレッド
●構造：ディープシルバースペース



GX-1
¥35,000

●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド



Z-100V
¥39,500

●カラー：パールホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、シルバースペース

【GX-2・FAVOR、GX-1、Z-100Vの共通スペック】●規格：スネル規格M85、JIS規格C種（MFJ公認）●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）

●構造：ケブラー&ファイバーグラス複合構造

MOTOCROSS



※取り外して洗えるディタッチャブル内装
（交換用内装パーツセット/イヤークラップ、コンフォートライナー）¥4,500

VX-4 ¥32,000

●規格：JIS規格C種（MFJ公認）
●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、イエロー、ブルー
●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ファイバーグラス複合構造



VJ-201
¥24,000

●規格：JIS規格C種（MFJ公認）
●カラー：ホワイト、ファイヤーレッド、ブルー
●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ファイバーグラス複合構造

※取り外して洗えるディタッチャブル内装（交換用内装パーツセット/イヤークラップ、コンフォートライナー）¥5,000



VJ-1
¥18,000

●規格：JIS規格C種（MFJ公認）
●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、シルバースペース
●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ファイバーグラス複合構造

TRIAL



TR-2P ¥19,500

●規格：JIS規格B種（MFJ公認）
●カラー：ホワイト、ファイヤーレッド
●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ファイバーグラス複合構造
※バイザーは標準装備のV-150と別売のV-140の2種類、各¥1,500です。

ON/OFF ROAD



TJ-202 ¥25,000

●規格：JIS規格C種（MFJ公認）
●カラー：ホワイト、ブラック、ディープシルバースペース、イエローベース、グリーンベース
●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ケブラー&ファイバーグラス複合構造
※シールド（C-15A）は、標準装備のメロースモックと別売のクリアの2種類、各¥3,800です。



VT-IR ¥22,500

●規格：JIS規格C種（MFJ公認）
●カラー：ホワイトベース、ファイヤーレッドベース、イエローベース、グリーンベース
●サイズ：S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm）
●構造：ファイバーグラス複合構造
※別売オフロード用バイザー（V-80）¥1,500



SR-X7 ¥12,500

●規格：JIS規格C種（MFJ公認）
●カラー：ホワイト、ブラック、ファイヤーレッド、シルバースペース
●サイズ：4種4サイズ（S（55～56cm）、M（57～58cm）、L（59～60cm）、XL（61～62cm））
●構造：ファイバーグラス複合構造

※ケブラーはデュポン社の登録商標です。

●ヘルメットのあこひもはしっかり締めましょう。

●安全確保のため、改造はしないでください。

●カタログご希望の方は、郵便切手170円を添えて、本社までお送りください。

●部品、修理、その他ご要望、ご質問等は最寄りの営業所サービス課までお問合せください。

●商品名は改良のため、予告なく仕様変更することがあります。

For better
concentration.

SHOEI

TOKYO
LOS ANGELES
ANTWERP

昭和化工株式会社
本社/東京支店 東京都港区新橋2-9-2 錦ビル105番 03-5522-0301
大阪支店 06-451-6060 九州営業所 092-411-7048
仙台営業所 022-246-0155 名古屋営業所 052-703-3171

賞金総額 3,500万円

'89年 ショウエイ賞 募集要項

'89年

ショウエイ賞

時代のヒーローは、ここから生れる。

幾多のライダー達から信頼され、愛され続けてきたSHOEI。
 〈日本のモータースポーツ発展のために少しでもお役に立ちたい〉と設けたこの賞も今年で10年目。モータースポーツの成長とともにますます充実してきました。国際A級ライダーならどなたでも参加可能な「ショウエイ賞」が、栄光ある未来への登竜門になる。



昭栄化工株式会社

本社/東京支店

〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル ☎03(502)0301

大阪支店 ☎06(451)6060 九州営業所 ☎092(411)7048

仙台営業所 ☎022(246)0155 名古屋営業所 ☎052(703)3171

②東京工場No.364106 ③茨城工場No.371101

ショウエイがホンダオリジナルヘルメット(ショウエイ製)を着用し、MFJ公認全日本選手権シリーズの下記イベントに出走し、入賞されたライダーに規定の賞金を贈り、その栄誉をたたえます。

○対象レース区分(全日本選手権シリーズ)

ロードレース	500cc/250cc/125cc/F-1/F-III	国際A級決勝
モトクロス	250cc/125cc	
トライアル	オープン	

○適用期日

- '89年度ロードレース全日本第一戦より最終戦まで。およびWGP日本大会、T.B.C.杯ビッグロードレース、鈴鹿8時間耐久レース、T.T.F-1世界選手権SUGO大会。
- '89年度モトクロス全日本第一戦より最終戦まで。
- '89年度トライアル全日本第一戦より最終戦まで。

○参加資格および条件

ショウエイ賞の趣旨に賛同し、賞金制度の適用を望まれる国際A級ライダーで、原則として全日本選手権を全戦出場予定している方。ショウエイステッカーおよびワッペン等を、ヘルメット・マシン・レーシングスーツに貼付けることが条件となります。特典として、ショウエイヘルメットを提供します。

○賞金額(単位:万円)

ロードレース		1位	2位	3位	4位	5位	6位
500ccクラス決勝レース	全日本第1戦～全日本最終戦	20	10	8	6	4	2
	WGP日本大会	20	10	8	6	4	2
	TBC杯ビッグロードレース	20	10	8	6	4	2
250ccクラス決勝レース	全日本第1戦～全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
	WGP日本大会	12	6	4	3	2	1
125ccクラス決勝レース	全日本第1戦～全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
世界耐久鈴鹿8時間レース		20	10	8	6	4	2
T.T.F-1クラス決勝レース	全日本第1戦～全日本最終戦	12	6	4	3	2	1
	世界選手権SUGO大会	12	6	4	3	2	1
F-IIIクラス決勝レース全日本第1戦～全日本最終戦		12	6	4	3	2	1
モトクロスレース		1位	2位	3位	4位	5位	6位
250ccクラス決勝レース 全日本第1戦～全日本最終戦		12	6	4	3	2	1
125ccクラス決勝レース 全日本第1戦～全日本最終戦		12	6	4	3	2	1
トライアルレース		1位	2位	3位	4位	5位	6位
オープンクラス決勝レース 全日本第1戦～全日本最終戦		6	5	4	3	2	1

○グランドチャンピオン賞

ショウエイ賞申し込み者で、賞金対象レース部門の全日本MFJランキングチャンピオンを獲得された方に対し、別項の通り賞金を贈呈します。

グランドチャンピオン賞対象		MFJ全日本ランキングチャンピオン獲得者
ロードレース	500ccクラス	100万円
	250ccクラス	100万円
	125ccクラス	50万円
	F-1クラス	100万円
	F-3クラス	50万円
モトクロス	250ccクラス	100万円
	125ccクラス	100万円
トライアル	オープンクラス	100万円

●ショウエイ賞に参加ご希望の方は

①氏名②住所(〒番号)③年齢④電話番号⑤所属クラブ⑥MFJ会員番号⑦参加クラス⑧ゼッケンナンバー⑨希望ヘルメットのサイズ⑩賞金振込先(銀行・支店・口座番号)を明記の上、下記まで、ハガキでお申し込みください。

参加申し込み期間:1989年1月1日より1989年3月末日まで。

申し込み先:

〒105 東京都港区新橋2-9-2 鎌田ビル

昭栄化工株式会社

モータースポーツ・ショウエイ賞係

MOTOCROSS

細則 5

モトクロス競技細則



1 適用の範囲	75	7 改造の限度	75
2 モトクロス	75	8 ライダーの装備	77
3 コースの仕様	75	9 公式予選	77
4 出場車両	75	10 レース	78
5 MFJ公認車両・公認部品	75	11 優勝者、入賞者順位、完走者及び得点	78
6 総合仕様	75		

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内モトクロス競技会に適用される。

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行なわれるクロスカントリー・レースである。国内競技規則およびこの細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1km以上2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりをもたせなければならない。またコース等はモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなければならない。

4 出場車両

車両は細則5の6.総合仕様と7.改造の限度をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場することはできない。

5 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および公認部品は国内競技規則・第3章〔競技会〕18(24頁)を参照。

6 総合仕様

車両は安全のために次の各項のすべてをみだしていなければならない。

1) クラス区分

(1) 車両のクラス区分は原則として次のように分けられ、開催種目および運用は特別規則に示さ

れる。

- (2) 最多変速段数・車両最低重量は下表のとおりとする。最低重量は半乾燥重量とする。半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた車両重量をいい、分離給油式の場合の潤滑オイルも燃料とみなす。なお、最低重量をみやすためのダミーウェイトは装着してはならない。

クラス	最小排気量	最大排気量	最多変速段数	最低重量
80cc	51cc	80cc	6	61kg
125cc	100cc	125cc	6	88kg
250cc	175cc	250cc	6	98kg

2) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキをそなえていなければならない。

3) タイヤ

タイヤチェーン、スパイク等を加工、装備してはならない。

4) ハンドルバー

ハンドルの端から端までの幅は最小600mm、最大850mmでなければならない。

5) クラッチとブレーキのレバー

- (1) 原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、平たくした部分の厚みは最低14mmとし、いかなる場合においてもその端部は丸くなっていてはならない。これらのレバー端部は固定されており、レバーと一体構造でなくてはならない。

6) フェンダー

- (1) フェンダーはタイヤの両側方に張り出していなければならない。
- (2) フロントフェンダーはタイヤの周囲を少なくとも100°にわたってカバーしていなければならない。また、フェンダーの前端とタイヤの中心を結ぶ線とタイヤの中心を通る水平線の角度は最小45°、最大60°でなければならない。
- (3) リヤフェンダーはリヤ・ホイール・スピンドルを通る垂直線と、その垂直線に対し25°角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方におよんでいなければならない。

マッドガード端部は丸くして、その半径は最低8mm、最高60mmとする(図76頁を参照)。

もし必要である場合には、審査委員会はフロント・マッドガードの取り外しを許可することができる。

- (4) フロントフェンダーのみ主催者が認めた場合に限り、取り外すことができる。

7) フットレストおよびペダル

- (1) フットレストは前後車軸の中心を通る線の上

方50mm以内に、またリヤタイヤの中心を通る垂線の前側になるよう取り付けられ、どのコントロールペダルも容易に操作できる位置になくてはならない。

- (2) フットレストが折りたたみ式の場合、自動的に元の位置に戻る装置が設けられていなければならない。また、その先端は半径最低8mm(図76頁)の一体構造となったプロテクションが設けられていなければならない。

- (3) フットレストが折りたたみ式、または、ゴムのカバーを装着していない場合には、その先端は半径最低8mmの球状で丸くなっていてはならない。

8) 過給

過給器を取つたり過給をしたりしてはならない。

9) 音量

- (1) 音量はFIM方式による測定方法・国内競技規則・第3章(競技会)20(24頁参照)で、102db/A以下でなければならない。
- (2) 4サイクル型エンジンについては、5db/Aの誤差値が認められる。

10) マフラーおよびサイレンサー

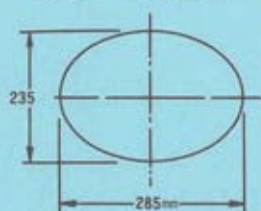
- (1) マフラーおよびサイレンサーは規定の音量値を満足できるものでなければならない。
- (2) サイレンサーの端部は、リヤタイヤ後端を通る垂直線より突出してはならない(図76頁を参照)。

11) レースナンバープレート

- (1) ナンバープレートの大きさ
ナンバープレートは、第1図(75頁)に示す大きさ以上のものでなければならない。
- (2) 取り付け方法
ナンバープレートは、車両の前面に1枚を前向きに、車両の両側面に各1枚を地面に対し垂直に取り付けなければならない。
- (3) ナンバープレートの色分け (12頁参照)
ナンバープレートおよび文字の色分けは次のとおりである。



〔第1図〕レースナンバー
プレートの大きさ



KIDS部門＝黒地に白文字
ノービス部門＝白地に黒文字
ジュニア部門＝黄地に黒文字
国際B級部門＝緑地に白文字
国際A級部門125ccクラス
＝赤地に白文字
国際A級部門1250ccクラス
＝赤地に黄文字

(4) ナンバーの字体 (76頁参照)

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。
なお、螢光色の文字の使用は禁止する。

- 12) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造であってはならない。
- 13) 一般生産型のモーターサイクルについては下記部品を取り外さなければならない。
- ① スタンド類 ② キャリア類
 - ③ タンデム・フットレスト
 - ④ 車両番号標板（ブラケットごと）
 - ⑤ バックミラー
 - ⑥ ライト類およびガラス類（ただし、レンズおよびライト類の飛散防止策を施せばよい）

7 改造の限度

競技の公平および安全性に関連して次のような改造制限を定める。

1) 国際A級部門の車両改造の限度

車両は自由とする。ただし、総合仕様をみたしていること。

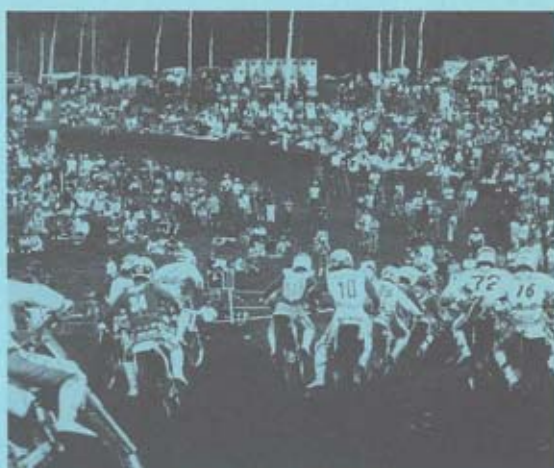
2) 国際B級、ジュニア、ノービス部門の車両改造限度

車両は市販レーサーおよび一般生産型モーターサイクルでMFJが公認したものでなければならない。車両改造限度は下記に示すとおりとする。

〔1〕市販レーサーの車両改造限度

市販レーザーをベースとし改造を行なう場合は下記
各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- 1) フレームの基本骨格およびクランクケース本体は車両公認時のものでなければならない。
- 2) 下記の部品はMFJが公認したもののみ変更することができる。
 - (1) シリンダー
 - (2) シリンダーヘッド
 - (3) ミッション
 - (4) フロントフォーク

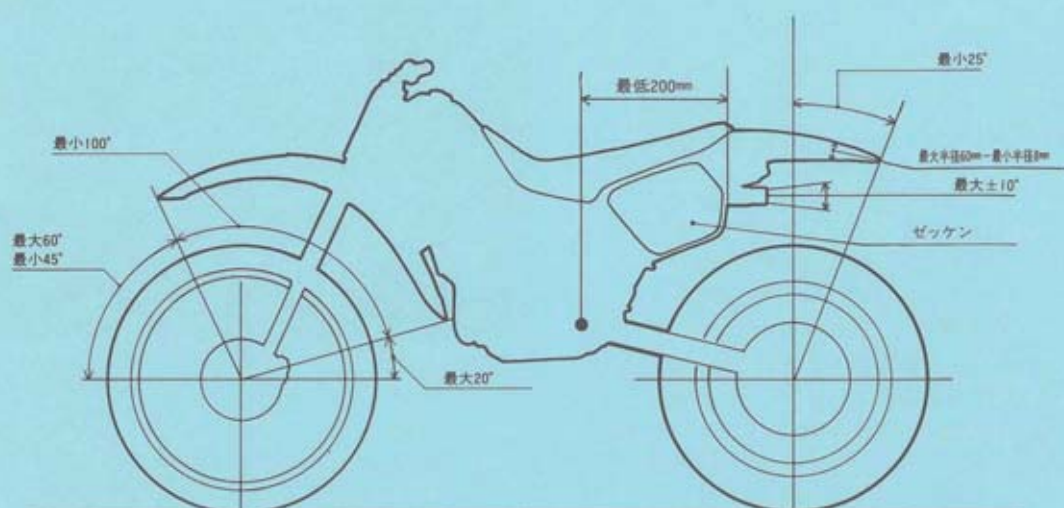


- (5) リヤサスペンションユニット
(6) スイングアーム
(7) キャブレター
- 3) 上記項目以外の部品の改造変更は自由とする。
ただし、総合仕様をみなしていること。

〔2〕一般生産型モーターサイクルの車両改造限度 (KI
DS部門を除く)

- 1) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならぬが、補強等は行なってもよい。
- 2) 変速機のギヤ段数は6段を限度とする。
- 3) 異なった機種種のエンジン、フレームの組合わせは公認車両同士に限り行なうことができる。ただし、小排気量車のフレームと大排気量車のエンジンを組合わせることはできない。
- 4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならぬ。
- 5) クランクケースおよびミッションケース外に変速装置をつけ加えてはならない。
- 6) 冷却方式を変更してはならない。
- 7) 弁形式を変更してはならない。
- 8) 燃料吸入方式を変更（フューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。
- 9) 下記部品はMFJが公認したMFJ公認部品、または同一銘柄の公認車両の部品のみ交換することができる。
 - (1) シリンダー
 - (2) シリンダーヘッド
 - (3) ミッション
 - (4) フロントフォーク
 - (5) リヤサスペンションユニット
 - (6) スイングアーム
 - (7) キャブレター
- 10) 上記以外の部品の改造変更は自由とする。ただし、総合仕様をみなしていること。

総合仕様参考図



90

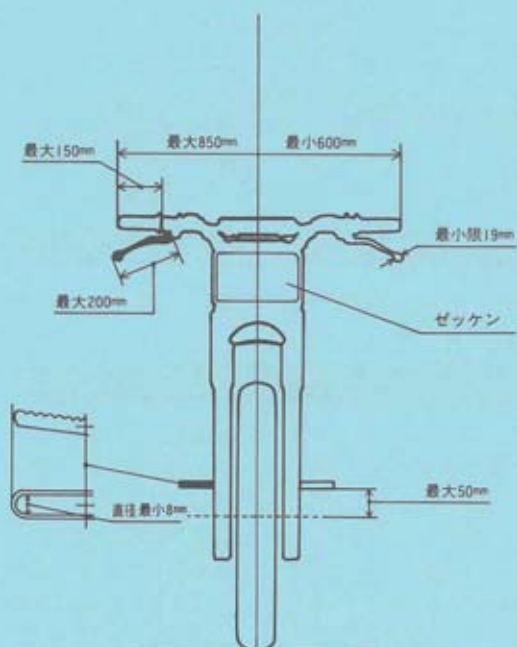
12

34

56

78

90



ゼッケンナンバーの見本

3) KIDS・Lライセンス部門の車両改造限度

車両は市販レーサーおよび一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

〔1〕市販レーサーの改造限度

車両はMFJ公認車両とし、改造は一切認めない。

ただしライディングポジションを合わせるための調整変更は認める。

〔2〕一般生産型モーターサイクルの改造限度

1) 変更してもよい部品

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① ハンドルおよびその附属品 | |
| ② コントロール・ケーブルワイヤー類 | |
| ③ タイヤ | ④ フットレスト |
| ⑤ フェンダー | ⑥ シート |
| ⑦ 消音器の内部 | ⑧ エアクリナー |
| ⑨ 点火プラグ | ⑩ メインスイッチ |
| ⑪ ペダル類 | ⑫ スプロケット |
| ⑬ チェーンケース | |

2) 前記1)変更してもよい部品以外は一切変更、改造を認めない。

8 ライダーの装備

1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982-C種およびJIS-T8133-2種(JIS-T8133の1982年8月までの規格)、USA S.I.STANDARD-Z90-1-1970、米国スネル規格1980によって示された検査に合格したか、またはそれ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。



- 2) MFJの公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
- 3) 競技会の車両検査受付時にヘルメットの検査が行なわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
- 4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料金(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。



ヘルメットにはゴールド地の認証マークが貼付されていなければならない。

2. ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用はいっさい禁止される。枠は柔軟なもの、または転倒等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなければならない。

3. ライダーの服装

- 1) 服装はレース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- 2) 下半身は皮製または革と同等以上の耐摩耗性、耐熱性を有する材質のズボンを着用しなければならない。
- 3) 上衣は特に規制しないが、安全で自由な動作を妨げず、丈夫なものを着用しなければならない。
- 4) 突出部品のない革、または革と同等以上の性能をもつ手袋および靴を着用しなければならない。
- 5) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

9 公式予選

1. 公式予選の日程

- 1) 公式予選は原則として各クラス別に行なわれる。
- 2) 公式予選の日程は特別規則に示される。

2. 公式予選の内容

- 1) そのクラスの出場申し込み台数が、規定の同時出走最多台数(30台)を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選が行なわれる。
- 2) 公式予選は、原則として大会公示に示される周回数のレースによって行なわれる。
- 3) 決勝進出台数は特別規則に示される。



10 レース

1. スタートまでの行動

レースにおけるスタート位置の決定方法は特別規則に示される。

2. スタートの位置

- 1) ライダーは、特別規則に決められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
- 2) ライダーは、レース直前のチェックの後、車両とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 3) エンジンのウォーミングアップは特別規則に決められた時間内にのみ行なうことができる。

3. スタート

- 1) スタートの方法については、原則として各部門ともエンジンランニングスタートとし、その際、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
ただし、スターティングマシンを使用する場合は上記の待機姿勢をとらなくてもよい。
- 2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- 3) スターティングマシンが使用される場合は、車

両の位置は原則としてスターティングマシンの後方の区域内とする。

- 4) スタートの合図は、スタート係が国旗を振ることによって行なわれる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りではない。
- 5) スタート合図以前にスタート・ラインを出たものがあつた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタートをやりなおす。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合は失格とする。

4. コースアウト

ライダーは、走行中やむを得ず定められたコースを外れた場合、再びコースにもどるには外れ出た地点より走行し直さなければならない。

5. レース終了

レースの終了は優勝者の完走後、チェッカーフラッグが振られ、マーシャルが定位置を離れること、またはマーシャルカーがコースを一巡することによって示される。

11 優勝者、入賞順位、完走者および得点

1. 優勝者

優勝者は定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーである。

2. 入賞者および順位の優先順序

入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールライン通過の順位による。

3. その他の順位の優先順序

周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。

4. 完走者

- 1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者である。
- 2) レース途中でリタイアしたライダーも完走周回数を完了している場合は完走者とみなされる。

得点

- 1) 得点は国内競技規則・第3章〔競技会〕16(23頁参照)によって得点が与えられる。
- 2) オープンクラスに関しては自動昇格得点対象外とする。

MOTOCROSS

細則6

'89全日本選手権大会 特別規則

1	開催競技会	79	13	ゼッケンナンバー	82	25	スタート	85
2	運営・実行組織	79	14	ライダーの装備	83	26	レース	85
3	公式通知・タイムスケジュール	79	15	ガソリン及びオイル	83	27	レース中の合図	85
4	開催部門・クラス	79	16	ピットエリア	83	28	レースの終了	85
5	競技内容	80	17	出場受付	83	29	優勝者、入賞者及び得点	86
6	参加定員	80	18	車両検査	83	30	入賞車両の検査	86
7	参加資格	81	19	ライダーの変更	83	31	レース及び大会の延期、中止等	86
8	出場申込み	81	20	車両の変更	83	32	抗議	86
9	出場料及びMFJ共済会掛金	81	21	部品の変更	84	33	レース中の違反行為に対する罰則	86
10	参加受理	81	22	自由練習及び公式練習	84	34	本規則の解釈	86
11	賞及び得点	82	23	国際A級部門の競技方法	84	35	本規則の施行	86
12	出場車両	82	24	公式予選	85			

1 開催競技会(次頁に提示)

2 運営・実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

3 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりである。

部 門	ジュニア	国際B級	国際A級
ク ラ ス	125cc 250cc	125cc 250cc	125cc 250cc

- 2) 国際A級部門は、全日本選手権シリーズを前期、後期の2期制とし、125ccと250ccを半期ずつのシリーズ戦とする。1大会1クラス(125ccまたは250cc)で2ヒートを開催する。なお、日本グランプリ大会も1クラスのみとする。

- (1) 前期は125ccシリーズとし、第1戦関東大会から第6戦北海道大会までの全6戦とする。
(2) 後期は、250ccシリーズとし、第7戦東北大会から第12戦関東大会までの全6戦とする。

※予告事項

'90年度シリーズ戦は前期を250ccシリーズ、後期を125ccシリーズとする。

5 競技内容

1) 決勝レース

ノービス 10分+2周または左記時間に相当する周回数

ジュニア 15分+2周または左記時間に相当する周回数

国際B級 25分+2周または左記時間に相当する周回数

国際A級 30分+2周または左記時間に相当する周回数

(2ヒート) 国際A級

2) 予選

(1) ノービス・ジュニア・国際B級の公式予選競

技内容は公式通知に示される。

(2) セミファイナル 15分+2周 (7周~10周)

ラストチャンス 10分+2周 (5周~7周)

ラストチャンス 10分+2周 (5周~7周)

注:上記競技内容は天候等の都合により、大会審査委員会の決定によって変更される場合がある。

6 参加定員

定員は定めない。

開催競技会の日程、名称、主催場所、出場申込み期間

'89年全日本選手権シリーズは日本グランプリを含め下表の12戦が開催される。

日程	大会名称	主催(出場申込み先)	開催場所	エントリー期間 (消印有効)
3月18日(土) 19日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 関東モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ関東ブロック協議会 〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 ☎03-472-6241	埼玉県川島町セブ ティパーク埼玉	2月7日(火) ↓ 2月16日(水)
4月1日(土) 2日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 中国モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ岡山県モーターサイクルスポーツ協会 〒700 岡山県岡山市柳町2-10-1 ライダーショップコスモス内 ☎0862-22-8625	岡山県笠岡市笠岡 湾干拓地特設会場	2月21日(火) ↓ 3月2日(水)
4月15日(土) 16日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 九州モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ九州ブロック協議会 〒816 福岡県福岡市博多区半道橋2-7-70 西京ホンダ販売㈱内 ☎092-474-6196	大分県大分 アフリカンサファリ	3月7日(火) ↓ 3月16日(水)
4月29日(土) 30日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 中部モトクロス大会	主催:鈴鹿サーキットランド 申込先:鈴鹿サーキットランド 鈴鹿サーキット 〒510-02 三重県鈴鹿市福生町7992 ☎0593-78-1111	三重県 鈴鹿サーキットモ トクロスコース	3月21日(火) ↓ 3月30日(水)
6月3日(土) 4日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 第26回モトクロス日本グランプリ大会 (国際格付)	日本モーターサイクル協会(MFJ) 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03-865-8441	宮城県スポーツラ ンド SUGO モトク ロスコース	4月25日(火) ↓ 5月4日(水)
7月8日(土) 9日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 北海道モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ北海道ブロック協議会 〒065 北海道札幌市東区東雁巣3条1-4-3 ☎011-782-1492	北海道留寿都村ル スツ高原カントリー ーランド	5月30日(火) ↓ 6月8日(水)
8月5日(土) 6日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 東北モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ東北ブロック協議会 申込先:〒983 宮城県仙台市青葉区3-4-9 ☎022-284-9484	福島県 エビスサーキット モトクロスコース	6月27日(火) ↓ 7月6日(水)
8月19日(土) 20日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 四国モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ徳島県モーターサイクルスポーツ協会 〒770 徳島県徳島市西新町4-7 柳富浪商店内	徳島県美馬郡 美馬モーターランド	7月11日(火) ↓ 7月20日(水)
9月2日(土) 3日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 近畿モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ近畿ブロック協議会 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 大阪府二輪車安全普及協会 ☎06-541-5254	奈良県 名阪スポーツランド	7月25日(火) ↓ 8月3日(水)
9月16日(土) 17日(日)	全日本選手権シリーズ第10戦 中部モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ愛知県モーターサイクルスポーツ協会 〒466 愛知県名古屋市中区天白町八事富士見ヶ丘110-6 愛知県軽自動車協会内 ☎052-833-9676	愛知県 中部スポーツランド	8月8日(火) ↓ 8月17日(水)
9月30日(土) 10月1日(日)	全日本選手権シリーズ第11戦 東北モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ東北ブロック協議会 申込先:〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO ☎0224-83-3111	宮城県スポーツラ ンド SUGO モトク ロスコース	8月22日(火) ↓ 8月31日(水)
10月14日(土) 15日(日)	全日本選手権シリーズ第12戦 関東モトクロス大会 (N・地方選手権併催)	MFJ千葉県モーターサイクルスポーツ協会 〒260 千葉県千葉市新港223 ☎0472-42-1564	千葉県茂原 モータースポーツ ランド	9月5日(火) ↓ 9月14日(水)

◆国際A級部門125ccシリーズ/♥国際A級部門250ccシリーズ

ブロックモーターサイクルスポーツ協会連絡協議会はMFJブロック協議会に明記しております。

7 参加資格

1. 参加者およびライダー

参加者およびライダーは、国内競技規則・第3章〔競技会〕9（21頁参照）に合致してなければならない。

2. 日本GP大会の参加資格

国際A級・国際B級・ジュニア部門の各クラスともフリーエントリーとする。

8 出場申込み

- 申込み場所は各主催者（申し込み先）住所とする。
- 出場申込み
 - 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて提出しなければならない。
 - 2クラス以上に出場を申込み場合でも、申込み書は1枚でよい。ただし2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。
 - 郵送の場合は現金書留とし、締切り当日の消印のあるものまで有効となる。
 - 締切り日以降の申込みおよび電話による申込み

はいっさい受けつけない。

国際A・B級 ジュニア	出場料(MFJ共済会掛金含む) (2クラス目より)	8,000円 6,000円
併催ノービス 地方大会	出場料(MFJ共済会掛金含む) (2クラス目より)	8,000円 6,000円
日本グランプリ大会	出場料(MFJ共済会掛金含む) (2クラス目より)	9,000円 7,000円

MFJ共済会掛金1,000円を含む

9 出場料およびMFJ共済会掛金

- 必要事項のすべてが明記された出場申込み書、必要金額が大会事務局に受理されたのちに、参加受理書が発送される。
- いったん受理された出場料、共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 大会が中止された場合、参加が拒否された場合（申込み者が必要な手続を怠った場合はこれにあてはまらない）にのみ出場料、共済会掛金が返還される。



11 賞および得点

- 1) 高松宮杯は日本グランプリ大会の特別規則による。
- 2) そのほかの賞の詳細は公式通知に示される。
- 3) 全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章〔競技会〕16(23頁参照)によって得られる。
 - (2) 日本グランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
 - (3) 国際A級部門の得点はファイナルレース(決勝レース)のみ対象とし、規定の得点が与えられる。または、予選通過者には1ポイント与えられる。
 - (4) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計点によって決定される。
 - (5) その詳細は全日本選手権ランキング順位決定基準(107頁参照)に示される。
- 4) 賞および得点の制限
賞および得点の制限は、国内競技規則・第3章〔競技会〕16(23頁参照)による。

12 出場車両

車両は細則5の4.出場車両(73頁参照)を遵守しなければならない。

13 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級および国際B級の一部(30番まで)のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割当てられる。
 - (1) 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準。
 - ① ゼッケンナンバー1および2は、各クラスのチャンピオンとする。その場合、各クラスでの優勝回数の多い者を上位とする。
 - ② 125cc、250ccの総合ポイント順上位により決定する。
 - ③ 同点の場合、250ccクラスのポイントを優先する。
 - ④ 250ccクラスのポイントが同点の場合、上位賞回数の多い者を優先する。
 - ⑤ 前記③と④に該当しない者を前年度指定ゼッケンナンバー順に追加する。ただし、前年度全日本選手権に一度も参加していない者は⑦に該当させる。
 - ⑥ 国際B級より昇格した者を前年度全日本選手権ランキング順位により追加する。
- 2) 他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色で記入しなければならない。(12頁および76頁参照)
- 4) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 5) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 6) レース中、ナンバープレート、配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合はその周回は記録されない。
- 7) 雨天の場合、すべてのライダーはヘルメットの両側面にゼッケンナンバーを記さなければならない。



⑦ 前記①～⑥に該当しない者で全日本選手権に出場の申し込みのあった者を追加する。

(2) 国際B級(Na1～Na30まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準。

① 各クラスのランキング順位により各ライダーの代表クラスを決める。

② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位の者を優先する。

③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。

④ ③で決定出来ない場合は代表クラスの排気量の大きい方を優先する。

⑤ ④で決定出来ない場合はスポーツ委員会にて最終決定する。

14 ライダーの装備

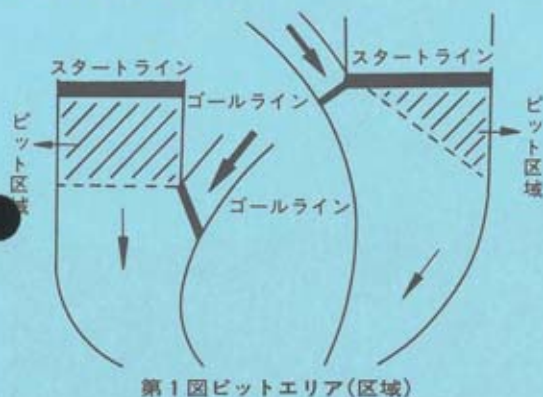
- 1) ライダーの装備等は、細則5の8.ライダーの装備(77頁参照)による。
- 2) MFJ認証マークが貼付されていない公認ヘルメットを使用しているものについては、特別検査料金(1,000円)を支払い検査を受けなければならない。

15 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは、国内競技規則・第3章・19(24頁参照)による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定されたときは、当該ガソリンを使用しなければならない。

16 ピットエリア

ピットエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアはスタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえないコース上である(第1図参照)。



第1図ピットエリア(区域)



17 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 4) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

18 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行なわれる。
- 2) 車両検査のための車両はライダー本人または当該ライダーのメカニックが持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済まなければならない。規定時間以後の車両検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車両検査持込み台数は1クラスにつきノービス(地方大会)、ジュニアおよび国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。
- 4) 車両検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査をおこなうことができる。

19 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

20 車両の変更

出場登録した車両の変更は許されないが、破損などやむを得ず出場登録済の車両を変更する必要がある場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行ない、競技監督がこれを認めた場合に限り車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 2) そのほか、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- 4) 車両の変更は、公式予選終了後はいかなる理由があっても認められない。

21 部品の変更

エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。

22 自由練習および公式練習

- 1) 競技前目の走行練習は禁止される。
- 2) ライダーは安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。
- 3) 国際A級部門の自由練習日は土曜日とし、公式練習は日曜日とする。

23 国際A級部門の競技方法

1. セミファイナルレース(選抜レース)

国際A級部門は、ファイナルレース(決勝レース)に出場するためのセミファイナルレース(選抜レース)を行なう。

- 1) エントリー台数によりセミファイナルレースの組数を変更する。

① 66台以内	2組
② 67台以上	3組

2. ラストチャンスレース

ラストチャンスレースを行ない、ファイナルレース出場者を選抜する。

ラストチャンスレース出場資格

- (1) セミファイナルレースが2組の場合——各組13位より27位のライダー
- (2) セミファイナルレースが3組の場合——各組9位より18位のライダー
- (3) セミファイナルレースに出場し、1周以上走行したもの

3. ファイナルレース選抜方法

- 1) セミファイナルレースが2組(エントリー台数66台以下)の場合——各組上位12名ずつ選抜し、ラストチャンスレースより上位6名を選抜する。
- 2) セミファイナルレースが3組(エントリー台数67台以上)の場合、各組上位8名ずつ選抜し、ラストチャンスレースより上位6名を選抜する。

4. ファイナルレース(2ヒート)

ファイナルレースはセミファイナルレースおよびラストチャンスレースにて選抜されたライダーによって行なわれる。

5. レース時間または周回数

- 1) セミファイナル——15分+2周(7周~10周)
- 2) ラストチャンス——10分+2周(5周~7周)
- 3) ファイナル——30分+2周またはその時間に相当する周回数

6. スタート台数は原則として30台とする。



7. セミファイナルレース組分け方法

主催者の定める時間場所にて決定する。

8. セミファイナルレースのスタート位置の決定方法

スタート順位は抽選結果の順位によりスタート位置が自由選択できる。

9. ラストチャンスレースのスタート位置の決定方法

スタート順位はセミファイナルレースの成績結果により組分けA組、B組、C組の順にて、スタート位置を自由選択できる。

10. ファイナルレースのスタート位置の決定方法

下記順位にて、スタート位置を自由選択することができる。

- 1) セミファイナルレースの成績上位の者から組分けされたA組、B組、C組の順。
- 2) ラストチャンスレースの成績上位の者から組分けされたA組、B組、C組の順。

24 公式予選

- 1) 公式予選の内容は細則5の9.公式予選(77頁参照)による。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは公式練習終了以前に発表される。

25 スタート

1. スタートの方法

- 1) 原則として各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
- 2) ただしスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

2. スタートの手順

スタート2分前(ボードまたは旗にて明示)
スタート30秒前(ボードまたは旗にて明示)
スタート10秒前(ボードまたは旗にて明示)

3. スタート台数

原則として30台とする。ただし、日本グランプリはこの限りではない。

4. 予選レースのスタート位置の決定方法

スタート順位は抽選結果の順位により、スタート位置が自由選択できる。

5. 決勝レースのスタート位置の決定方法(国際A級を除く)

スタート位置の順位は、予選順位に基づき主催者が定める。

6. ウォーミングアップ

エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する時間に限られる。

7. エンジンの始動の合図がなされた後

ウォーミングアップ以後、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は(キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後)ライダーからタイムのサインがあっても、スタート係はこれを考慮しない。

26 レース

- 1) レース中の遵守事項は国内競技規則・第3章[競技会]10(22頁参照)による。
- 2) ビットエリア内で車両整備などを行なえるメカニックは2名に限られる。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗およびゼッケンを記したボードが示され、ビットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得た後、再出走が認められる。

27 レース中の合図

- 1) 公式シグナルは約750×600mmの寸法の旗を使って次のように与えるものとする。

シグナル	意味
・赤旗	・全員停止
・黒旗とライダーのナンバーを示したボード	・当該ライダー停止
・黄旗(静止)	・危険予告
・黄旗(振る)	・コース上に重大な危険あり、除行、安全確認、追い越し禁止
・青旗(振る)	・警告、ラップされようとしている
・緑旗	・コース上障害物なし
・白黒チェッカー旗	・レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残りの周回数を示す合図が出される。

28 レースの終了

レースの終了は細則5の10.レース(78頁参照)による。



29 優勝者・入賞者および得点

各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、細則5の11(78頁参照)による。

30 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞となった車両は、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分以上保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は車両重量および音量が測定され、規定をみたしていない車両は失格となる。

31 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 本大会は、本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断したときに限りレースを中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた回数(または時間)の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者が決められた周回数(または時間)の3分の2以上を完走した場合でレースを打ち切ったときは、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返還されるが、他のいっさいの損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については決勝進出者のみ出場料が返却される。

- 7) 大会審査委員会が下した裁定に対してはいっさい抗議することはできない。

32 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章[競技会]26(26頁参照)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に用いた費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 車両の分解検査に立合う者は、車検長および抗議を受けた当事者のみとする。

33 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督ならびに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 故意に走路を妨害した場合、失格とする。
- 2) レース中に他の援助を受けた場合、失格とする。
- 3) コース上で逆走した場合、失格とする。
- 4) コース審判により示された信号旗に従がなかった場合、失格とする。
- 5) 1度コース外に出て他の所より再びレースに復帰した場合、1周減算または失格とする。
- 6) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合、1周減算とする。
- 7) フライングスタートが確認された場合、黒旗をもってその旨ライダー本人に通告される。黒旗およびゲッケンを記したボードを示されたライダーは、その場で1分間停止し、競技役員の指示によって再スタートする。
- 8) フライングを2度繰り返したライダーは失格とする。

34 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申立てができる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

35 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効とする。
なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則による。

1989年1月1日

全日本選手権大会事務局長

PROTO ONE

1989. SPRING
COLLECTION



PROTO
B
ONE

A, 白×赤×黒
B, 白×青×黒
C, 黒×赤×黒
価格各¥24,500

フットワーク に差がでる



Aパターン

地面への強い付きを向上。パイプスに配置したプロックパターンは、つま先の力を前後方に入らるよう考慮されています。パイプを特す時効的効果です。

Bパターン

通常使用で最も磨耗の早いこの部分は、跳ね返り力の強いプロックパターンを配置。耐久性、耐摩耗性に優れています。

Cパターン

振動吸収特殊ゴムセット部。支那でFMS 128を使用。走行時ステップバーから出るエンジンの連続振動を吸収。同時に路面振動作用の発生も防止して走り足など身体にかかる負担を大に軽減します。

VIBRANT ABSORB

Cパターン

かかとには重心を支えるため、必要以上の力が加わります。やや跳ね返り力のあるパターンで振動を吸収させこれをやわらげます。

特許意匠出願中

足にかかるマシンの振動。この軽減に成功したのが新開発の振動吸収特殊ゴムです。'89モデルKISSのブーツは、靴底のステップバー受け部分にこの特殊ゴムを採用しています。



PROTO
PG
ONE

A, 白×赤×黒
B, 白×青×黒
C, 黒×赤×黒
サイズ: レディース
S, M, L
メンズ: M, L, XL
価格 ¥9,800

前後姿勢をとった時上下エアダクトが直立して、吸排気効率が上がるように斜めにレイアウトされた、ハーフティアドロップ型エアダクト。



腕の動きに合わせて作動するエルボーシャワーリング。

肘裏の革だまり部の圧迫感をなくし腕筋肉の膨張、縮小に対応する。肘裏から脇下まで通なる伸縮自在のスパンテックス。



PROTO
ONE
タイプ B



広告中の各製品は、全国の有各ショップにて好評発売中。●掲載商品の色は、現物と若干異なることがあります。尚、価格、仕様等は改良の爲予告なく変更することがあります。予めご了承ください。●品切れの際は切に容察願います。●通販ご希望の方、お問い合わせください。



PROTO ONE LEATHER SUIT
サイズ: メンズ M, L, XL
レディース M, L
カラー: A, 白×赤×黒
B, 白×青×黒
C, 黒×赤×黒
※国産半革1.5mm使用
※パシフィックセンターレース付
※パシフィックセンター別売 ¥5,000
価格 各 ¥145,000



KISS
RACING TEAM
KISS Division

PROTO ONE
タイプ C



●広告中の各製品は、全国の有各ショップにて好評発売中。●掲載商品の色は、現物と若干異なることがあります。尚、価格、仕様等は改良の爲予告なく変更することがあります。予めご了承ください。●品切れの際は切に容察願います。●通販ご希望の方、お問い合わせください。

〒123東京都足立区西新井4-16-3 TEL(03)(897)2228

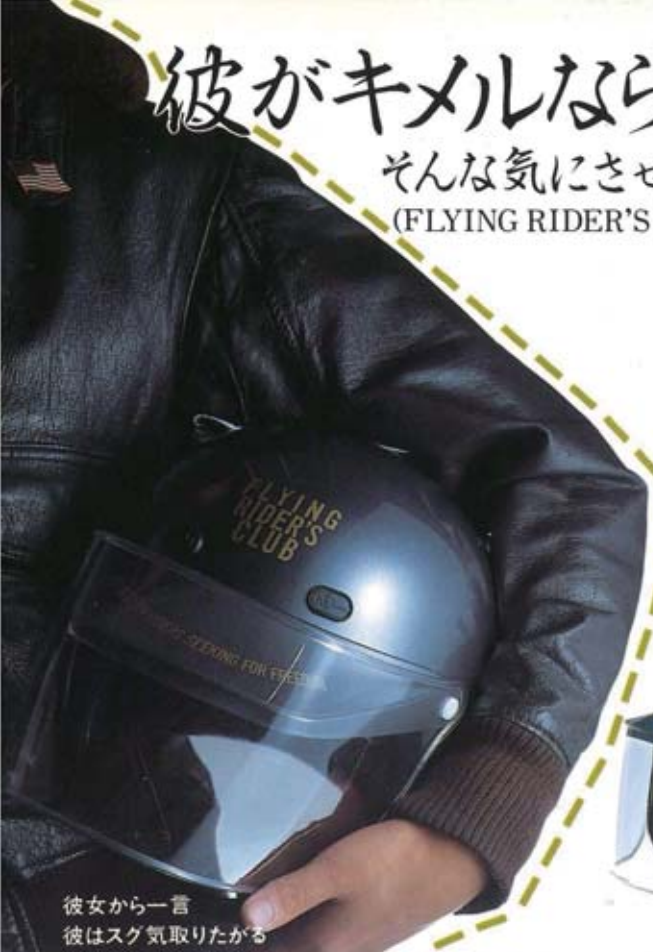
彼がキメルなら私もキメてしまう!

そんな気にさせるホットなヘルメット

(FLYING RIDER'S CLUB&SWING)

FLYING RIDER'S CLUB

▶材質/ファイバーグラス製▶サイズ/M・L・XL▶機能/ベンチレーションシステム/回転シールド/ワンタッチホルダー▶カラー/ホワイト・ブラック・ネイビー・レッド・クロームメタリック(NeW)の5色 GP-1 ¥13,000



彼女から一言
彼はスグ気取りたがる



彼氏から一言
軽快だから彼女に似合う



▶材質/ABS樹脂▶機能/ベンチレーションシステム/回転シールド/ワンタッチホルダー/イヤーフラップ着脱式▶サイズ/S・M・L▶カラー/ホワイト・レッド・ブラック・ネイビーの4色 AS-1 ¥7,500

メット工業株式会社

本社工場 〒136 東京都江東区北砂6-12-14 ☎03(645)2545代 FAX03(644)9695 千葉工場 〒289-27 千葉県海上郡飯岡町 ☎0479(57)2565

自然と友達。



スポーツランドSUGOは

210万㎡の総合スポーツランドです。

● ドレース、モトクロス、トライアルなど

各モータースポーツゾーンから、

テニスやアーチェリーなど

充実のスポーツゾーンまで、

どれも自然に囲まれた爽快感が自慢。

いつも自然と友達でいたい——

それがSUGOの願いです。



スポーツランド



スポーツランドSUGO 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111 〒989-14

●SUGO仙台営業所 宮城県仙台市一番町1-4-1福田ビル1F ☎022-266-8401 〒980

●SUGO東京営業所 東京都中央区銀座8-8-5陽栄銀座ビル4F ☎03-575-4771 〒104

■モータースポーツに関するお問い合わせはSUGOスポーツクラブ(☎0224-83-3127)へどうぞ。

MM

モーターマガジン社定期刊行誌各編集長から
のメッセージです。よろしく!!

質、量ともに一輪誌のNO.1を疾走中

オートバイ

●5月号 毎月1日発売 800ページ 定価3,000円
楽しく、見やすく、わかりやすく、これが本誌の編集方針です。免許を取る「オートバイ」に乗る基本テーマとして、そこらから派生するライダートリートバイとの関わりを追求します。ニューモデル解説、比較テスト、その他のあらゆる情報を二

よりも早く、正確に編集します。圧倒的ボリュームを誇る読者参加のページも大きな特徴であり、編集者と読者が一体となつて誌面を創る。そんな親しみやすさが二輪誌のナンバーを支える大きな原動力であると確信します。
(横田孝)

バイク界のジャーナリズムはこの本から

ミスターバイク

●5月号 毎月6日発売 350ページ 定価2,500円
理想をこねるのが無用の世界。そのひとつがバイクに乗っている人間ではない。かバイクに乗っている人間と乗っていない人間、大胆に言い切ってしまうはミスターバイクは、その違いを生き様の部分にまで広げてとらえ、次に乗っている人間

を明確に、強く主張していく。この素晴らしい世界をより多くの人に体験してもらう。「スピード」の中で、人間は自分自身を自らの肉体の中に投げ放つ。T・モレンス。これまでも、これからもミスターバイクは、そう信じ、疾走する。
(近藤健二)

バイクバイヤーズガイドのバイオニア

ミスターバイクBG

●5月号 毎月14日発売 300ページ 定価2,500円
今や二輪誌は30誌を超え、各々が個性を競い、ライターのハートをつかむべく努力をしています。BGはその中であつて、中古車にスポットをあてた初の二輪誌として86年11月に創刊し、ビキナーからベテランまですべてのライダーの支持を得て、現在

では確固たる地位を得ました。BGはこれからも新車から中古車、オンとオフとあくまでもバイクそのものを対象とした最もベシクバイク誌として、読者のニーズにダイレクトに応える姿勢を貫き通した誌面刷新をしてゆきます。
(小宮山幸雄)

本物のよさがわかる大人のためのビジネス誌

ゴードル

●4月号 毎月24日発売 200ページ 定価3,800円
「バイクは命です」などとは決して言いません。大人ですから……。だけど、もう自分の生活の一部になってしまっています。生活のリズムの中で、自分のスタイルでオートバイとうまくつき合っているのです。その時、大人の男たちは、ときめき、浮か

れ。ニコニコして、あるいは目をつり上げ、たぶん少年になっているでしょう。ゴードルはバイクと余裕をもつてつきあえる精神的アダルトを対象とし、何よりもイメージを大切にしたいビジネスな誌面構成を心がけております。
(中尾祥司)

90年代を見つめた4輪誌スタンダードマガジン

モーターマガジン

●4月号 毎月1日発売 300ページ 定価4,000円
かつて私達が経験したことのないモノと情報の洪水の中で、自動車雑誌も大きなターニングポイントを迎えています。あふれる情報をいかに的確に交通整理し、いかに見やすく楽しく再構築するかが、その過程でいかに個性的な味付けができるかが、これ

まで以上に問われるでしょう。そうした状況をふまえ、私達はあらゆる視点と切り、その時点でもっとも注目される車種や車を扱ってゆきます。90年代を見つめた自動車誌として、モーターマガジンは89年1月号から誌面を一新します。
(神谷龍彦)

クルマ界のトレンドが誌面いっぱいにあふれる

ホリデーオート

●5月号 毎月10日25日発売 220ページ 定価3,000円
「ホリデーオート」は、季節の強力な大特集が特徴です。カラーをモノクログラビア30ページを使って、毎号毎号新しいトレンドを紹介しています。
クルマ、メカの最新情報はもちろん、ド

ラテク解説などクルマ全体に関する情報を常に読者の立場からレポートしています。またオーディオ、ギヤなどの耳より情報や、読者とのコミュニケーションも楽しい記事となつていきます。
毎月2回「ホリデーオート」と楽しくつきあってください。
(小川孝)

250円で2万円の得! 車選びの必須アイテム

ホリデーオートBG

●4月号 毎月3日発売 200ページ 定価2,500円
中古車を買おうと思っている人がバイヤーズガイドブックとして利用できる十分な情報量を持つだけでなく、自動車ファンが専門誌として見ても楽しく読める本道りを目指しています。そのために厳選されたスタッフによる情報収集と、コンピュタを活用

用した情報処理を武器に、大量の情報を正確・迅速に送り出すことを編集の基本方針としています。時代の最先端をいく「中古車選びの高感度情報誌」として、買つてよかったと納得していただける内容を持つと確信しています。
(遠藤一彦)

わかりやすく楽しくがモットー

カメラマン

●5月号 毎月1日発売 200ページ 定価3,000円
中・高校生を中心にビキナーからハイアマチュアまで、幅広いカメラファンの絶大な支持を受けて10年、マニアックなウラ話の多い中で、利便性、楽しさをウラに、作例写真を多用したHOW

T.O.企画、に一つの目標を掲げたソフトな誌面づくりは、独得のニューモデル解説やインプレッション記事とともに、フログカメラマン、写真業界からも一目おかれ、読者参加の企画もバワフルに展開、加えて読者との関わりを深め、今や元気の月カメラを標榜しています。
(一杉悠紀)



1 適用の範囲	91	10 競技の進行	94
2 トライアル	91	11 ペナルティ	94
3 出場車両	91	12 ペナルティの定義	95
4 MFJ公認車両・公認部品	92	13 競技結果	97
5 総合仕様	92	14 同点者の判定	97
6 ライダーの装備	93	15 賞	97
7 コース	93	16 抗議	97
8 セクション	93	17 ライダーの遵守事項	97
9 タイムキーピング	94	18 審判員権限	97

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則と共にすべての国内トライアル競技会に適用される。

2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間として定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたっておこなわれ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表わされる。

3 出場車両

出場車両（以下車両という）は次の総合仕様をみたし、安全上完全に装備されているものでなければなら

ない。なお、改造されて型式が判明できないような車両は出場することができない。

1) 国際A級部門、国際B級部門

車両は自由とする。ただし、総合仕様をみたしていること。



2) ジュニア部門、ノービス部門、KIDS部門

車両は一般生産型モーターサイクル、または市販レーサーで、いずれもMFJ公認車両でなければならない。また、すべての車両は総合仕様をみたしていなければならない。

4 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両および公認部品は、国内競技規則・第3章〔競技会〕18(24頁)を参照。

5 総合仕様

車両は安全のため、次の各項のすべてをみたしていなければならない。

1) 排気管およびサイレンサー

排気管およびサイレンサーは規定の音量規制値を満足していなければならない。

2) タイヤ

- (1) タイヤはMFJ公認タイヤでなければならない。
- (2) タイヤに改造を加えてはならない。
- (3) タイヤにチェーン、スパイク等を加工、装備してはならない。

3) クラッチおよびブレーキレバー

- (1) クラッチレバーおよびブレーキレバーの末端はボール状(このボール状の直径は最低19mm)でなければならない。このボールを平たくするこ

とは認められるが、平たくした部分の厚みは最低14mmとし、いかなる場合においてもその端部は丸くなっていてはならない。これらのレバー端部は固定されておりレバーと一体構造でなくてはならない。

- (2) ブレーキペダルおよびギヤシフトレバーの位置は自由である。ただし、その先端は安全上丸められていなければならない。

4) ブレーキ

車両前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

5) フェンダー

前後輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

6) チタン素材の禁止

チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

7) 車両最低重量

車両の最低重量は排気量200cc以上が80kg、また200cc未満が75kgとする。

8) 音量

音量はFIM方式による測定方法で、94db(A)以下でなくてはならない。FIM方式による音量測定方法は国内競技規則・第3章〔競技会〕20(24頁)を参照。

9) 競技用ナンバープレート

競技が一般公道を使用しない場合、競技用ナンバープレートを装着しなければならない。

トライアルタイヤ公認規格

トライアル競技に使用する出場車両のタイヤは下記各項をみたし、MFJに公認申請を行ない、公認されたものでなければならない。

A: トレッドの深さ

トレッド面に直角に測って13mm以内であること。同一円周のすべてのスタッドの深さは同一であること。

B: トレッドの幅

タイヤの幅方向では9.5mm以内であること。

C: トレッドの幅

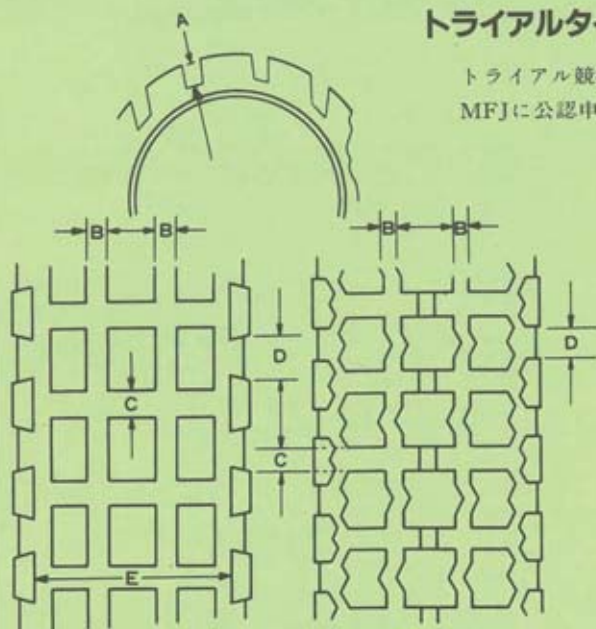
タイヤの円筒方向では13mm以内であること。

D: 肩部スタッドのスペース

22mm以内であること。

E: トレッドのさしわたす寸法

タイヤウォールに直角に測った場合、タイヤの全幅に及んでいてはならないが、スタッドによって中断されている場合はこの限りではない。



- (1) ナンバープレートの寸法
ナンバープレートは第1図に示す大きさのものでなければならない。
- (2) 取り付け方法
ナンバープレートは1枚を車両の前面に見えやすいように前向きに取り付けなければならない。
- (3) ナンバープレートの色分け
ナンバープレートおよび文字の色分けは次のとおりである。
KIDS 部門＝黒地に白文字
ノービス部門＝白地に黒文字
ジュニア部門＝黄地に黒文字
国際B級部門＝緑地に白文字
国際A級部門＝赤地に白文字
- (4) ナンバープレートの字体
ナンバープレートの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。

第1図
ナンバープレート



なお、国際A級および国際B級部門については第1図に示すようにプレート下部に記名しなければならない。

10) 取外し部品

車両が一般生産型モーターサイクルの場合は、下記部品を安全上の理由により取り外さなければならない。

- ① スタンド類
- ② キャリア類
- ③ タンデムフットレスト
- ④ 車両番号標板(ブラケットごと)
- ⑤ バックミラー
- ⑥ ライト類及びガラスレンズ類(ただしレンズおよびライト類はテーピングするなどレンズ類の飛散防止策を施せばよい)

6 ライダーの装備

1. ヘルメット

- 1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982のA種、および同JIS T8133の1種(JIS T8133の1982年8月までの規格)以上のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- 2) MFJ公認ヘルメットには認証マークが貼付されている。
- 3) MFJ公認ヘルメットで、MFJ公認の認証マーク

の貼付されていない公認ヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

- 4) ヘルメットの検査は競技会の車両検査受付時におこなわれ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上、使用を禁止される。

2. ライダーの服装

- 1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- 2) 手袋および足首以上を保護する突出部のないブーツなど皮靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

7 コース

コースはコーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

8 セクション

2. セクションの表示

セクションは次のセクションカードおよびテープで表示される。

- 1) 入口 右側 赤地にセクションナンバー
左側 青地に"IN"などの表示
- 2) 途中 右側 赤いカード又はテープ
左側 青いカード又はテープ
- 3) 出口 右側 赤字にセクションナンバー
左側 青地に"OUT"などの表示
- 4) テープを使用する場合は、入口及び出口に赤と青のカードを置く。

2. セクションの幅

- 1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カード及びテープによって制限する場合は1.2m以上とする。
- 2) 同じ側のカードとカードの間を迂回することはできない。
- 3) 採点区間
セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側(スピンドル)がセクション入口のカ

ードを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

9 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ抽選で決められた順序により、1分間隔でスタートする。ただし同時スタートの場合はこの限りではない。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/h以下とする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための時間が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーはゴール地点でタイムチェックを受けなければならない。

10 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これにしたがわなければならない。
- 3) セクション間の移動は、コースマークまたはテープにしたがっておこなわなければならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは、審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を

受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。

- 7) ライダーはコース上およびセクション内で一切の援助を受けてはならない。ただし、セクション内でフルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。
- 8) ① 車両の部品交換はマーキングされていないもののみ認められる。ただし、ライダーはその部品を主催者の定める区域以外の場所で受け取ることはできない。
② ライダーは主催者の定める区域内であれば他の援助を受けることができる。
③ ライダーは、コース上のどこにおいても工具を受け取ることができる。ただし、ライダーが車両の整備を行なう場合、主催者の定める区域外では、他の援助を受けることはできない。これに違反した場合、失格とされる。
競技中、事故を起した場合や車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに競技役員に申し出なければならない。
- 9) 必要以上にスタンディングをしたり不適當な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

11 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
(1) クリーン……………0
(2) 足つき……………1点-3点減点
(3) 失敗……………5点減点
(4) 放棄……………10点減点
- 2) タイムキーピングによるペナルティは次のとおり課せられる。
(1) 予定されたスタート時間に遅れた場合…1分

●トライアルの減点は0-1-2-3-5-10

時間厳守とフェアプレーの精神で

減点ゼロ
おみこと/
クリーンです

減点1
残念、
足つき1回

減点2
無念なり
足つき2回

減点3
足バタバタ
3回以上

減点5
ミスりました。
失敗です



トライを放棄すれば減点10/ それ、ゴー



につき1点減点、20分以上の遅れは失格

- (2) ゴールタイムチェックの遅れ……………失格
- 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは次のとおり課せられる。
 - (1) 競技役員および審判員に対する不適当な態度および言動……………失格退場
 - (2) セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……………10点減点
 - (3) 定められたコースを不適当にカットした場合……………50点減点

注：上記(3)に関してはさらにセクション放棄の減点を加算される。

12 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は次のとおりとする。

1. 足つきの定義

ライダーの身体のどこかの部分、またはマシンのどこかの部分（フットレスト、エンジンガード、タイヤホイールを除く）が地面に触れた場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーの身体のどこかの部分が障害物（立木、壁など）にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足の場合、そのつけ根から先を同一とみなす。したがって足つきと同時に膝を接地しても、1回の足つきとみなす。

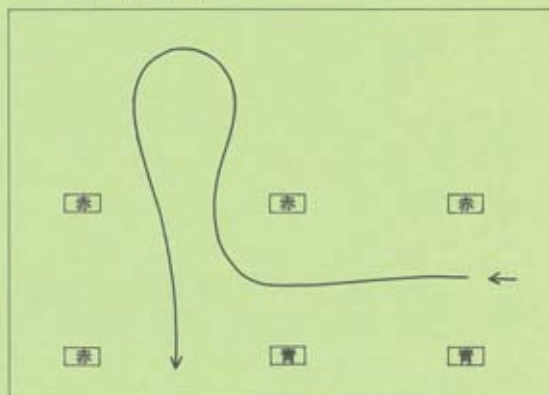
なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

- 1) 1点減点
 - (1) 足つき1回
 - (2) 足つき状態でつま先とかかとが交互についている場合
 - (3) 片足を軸にして車両を回転させた場合
 - (4) 手を立木・壁等についた場合
 - (5) 体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修整した場合
 - (6) テープの内側または外側の足つき1回

- 2) 2点減点
 - (1) 足つき2回
 - (2) 前記1)の1点減点となる行為が2回行なわれた場合
 - (3) 両足同時の足つき
- 3) 3点減点
 - (1) 足つき3回以上
 - (2) 前記1)の1点減点となる行為を3回以上行なわれた場合

2. 失敗(減点5点)

- 1) バック中の足つき
- 2) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてリヤタイヤがバックした時
- 3) マーカーの迂回(下図のようなふくらみ、またはターン)
- 4) 車両・ライダーによるテープ切断およびたるませ、またはテープを止めているクイなどを移動・破損させた場合。



- 5) 車体の右側または左側に両足が同時に足つきをした場合。
- 6) 両足つきの状態で車両がフロントホイールを上を90°以上かたむいた場合。
- 7) フロントタイヤまたはリヤタイヤがテープの上からテープ外に出て、立木、壁、石等に接触した場合。
- 8) 走ってきて足をついた状態でフロントタイヤが完全に停止した場合（ただし、フロントタイヤが前進を止めた状態から約1秒以内に少しでもフロントタイヤが前進を開始すれば減点5の対象にはならない）。
- 9) スタンディングによるフロントタイヤが完全に停止している状態から足を地面についても約1秒以内に足をあげれば減点5の対象にはならないが、この状態でフロントタイヤが進まずに再び足をつけば減点5となる。
- 10) セクション内でライダー自身の車両がつけたわ

だちに再び触れたり、踏みつけたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない。

- 11) 車両によるマーカー移動、マーカー破損。
- 12) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたものについてのみ失敗とされる。

3. 減点の対象とならない行為

1) 接触

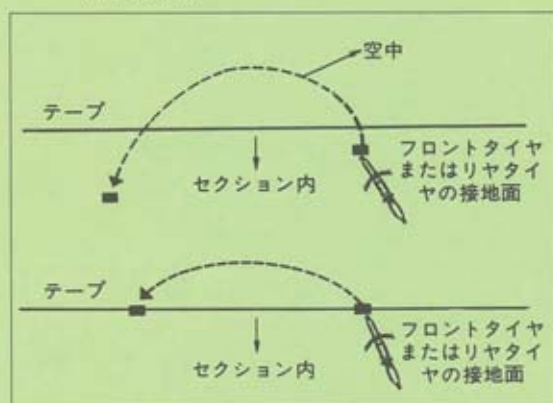
接触とは、ライダーの身体の一部または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることを言い、これによって明らかにバランスの修正が行なわれない限り減点の対象とならない。

なお、マーカー、テープには車両、身体どちらで接触しても、接触のみであればペナルティは課せられない。

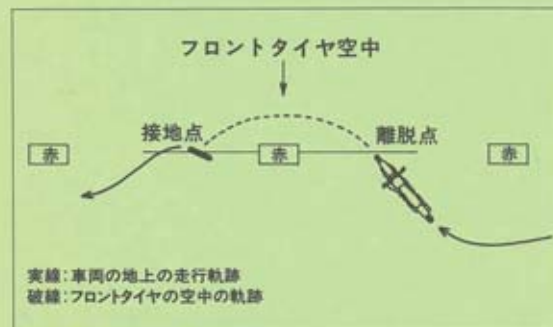
2) 下記の場合は減点5の対象とはならない。

- (1) テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリアタイヤがテープ外に出た場合、テープ外の立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合。

(下図参照)



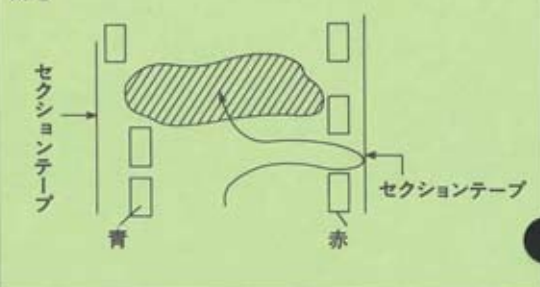
- (2) マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、フロントタイヤの接地面と接地面がマーカーの内側を通れば減点5の対象とはならない。(下図参照)



実線: 車両の地上の走行軌跡
破線: フロントタイヤの空中の軌跡

- (3) セクションテープがある場合、カードとカードを結ぶ直線をはみだしてもテープより出ない限り減点とはならない。(No 2を参照)

No. 2



- (4) V字型の地形等でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とならない。
- (5) アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。尚、この状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- (6) エンジンが停止して足つきを行なった場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- (7) 足つきの状態で前輪を真横に移動、または振ることは前進とみなし、減点5の対象とはならない。

3) 減点の対象にならない車両の部分

車両が停止状態で立木、壁、石等、または地面で重心を支えても減点の対象とはならない車両の部分は次のとおりである。



- (1) タイヤ
- (2) ステップ
- (3) アンダーガード底部

4. 放棄

放棄とはセクションを走行しなかった場合を言う。

13 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- 2) 競技が1日で行なわれる場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- 3) 2日以上にわたって競技が行なわれる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。

14 同点者の判定

同点者の判定は、次の判定順序に従っておこなう。

- (1) クリーン数の多い者を上位とする。
- (2) 1点減点の多い者を上位とする。
- (3) 2点減点の多い者を上位とする。
- (4) 3点減点の多い者を上位とする。
- (5) 以上によって決定できない場合は主催者の判断により決定する。

15 賞

国内競技規則・第3章〔競技会〕15(23頁参照)に定め出走台数により次のとおり賞を定める。但し、地方選手権大会以下の場合は、この限りではない。賞の詳細は大会の公式通知によって示される。

出走台数	賞の範囲	出走台数	賞の範囲
25台以上	15位迄	12台～13台	6位迄
22台～24台	12位迄	10台～11台	5位迄
20台～21台	10位迄	8台～9台	4位迄
18台～19台	9位迄	6台～7台	3位迄
16台～17台	8位迄	5台	2位迄
14台～15台	7位迄		

16 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則による。
- 2) 抗議により車両の分解検査が行なわれた場合、分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、抗議が成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 審判員の下したジャッジに対して抗議することは一切できない。



17 ライダーの遵守事項

ライダーは次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、国内競技規則にのっとっておこなわれる。ライダーはすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) リタイヤするライダーは必ずリタイヤ届を提出しなければならない。なお、本人がやむを得ず提出できない場合は代理人による提出も認められる。これに違反した場合は、総則に記載される罰則が課せられる。
- 3) ライダーはすべて本競技規則にのっとり行動すること。違反行為には場合によっては、失格、さらには退場に至る罰則が課せられる。
- 4) 参加者は国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定を守り、競技役員の指示にしたがわなければならない。また公道上では交通法規を守らなければならない。
- 5) 参加者は常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 6) 参加者は競技期間中、飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 7) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJ競技ライセンスを必ず携帯しなければならない。

18 審判員権限

審判員は、競技規則等にのっとり担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほか、セクション内における選手の実行を減点の対象とするか否か、審判する最終的権限をもつものである。

TRIAL

細則 8

'89全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 開催競技会	98	11 ゼッケンナンバー	100	21 競技の終了	101
2 公式通知・タイムスケジュール	98	12 ライダーの装備	100	22 最終検査	101
3 開催種目及び競技方法	98	13 ガソリン及びオイル	100	23 競技結果	101
4 運営実行組織	98	14 出場受付	100	24 ヘルパー	101
5 参加者及びライダー	98	15 車両検査	100	25 競技会の延期、中止及び打ち切り	101
6 出場申込み	99	16 ライダー及び車両変更	100	26 抗議	101
7 出場料及びMFJ共済会掛金	99	17 練習	100	27 ライダーの遵守事項	101
8 賞及び得点	99	18 スタート	100	28 本規則の違反、裁定	101
9 日本代表選手団の選考基準	99	19 競技中の車両の整備	100	29 本規則の解釈	101
10 出場車両	100	20 ゴール	100	30 本規則の施行	101

1 開催競技会(99頁に提示)

2 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

3 開催種目および競技方法

1. トライアル

- 全日本選手権の対象部門は、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 競技方法は持時間制によるトライアルとし、競技結果に基づき、各クラスの上位者によるスペシャルステージが行なわれる(右図参照)。なおそれ

ぞれのセクション数および持時間等の競技内容における細則は、大会公式通知に示される。

(イ)

国際A級全員によるトライ

国際B級全員によるトライ

※国際A級の15位以下と国際B級の6位以下の順位が決定される。

(ロ)

スペシャルステージ

国際A級の(イ)の1位～15位によるトライ

国際B級の(イ)の1位～5位によるトライ

※国際A級の15位以下と国際B級の6位以下の順位が決定される。

4 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

5 参加者およびライダー

1. 参加資格

- 1989年版MFJ国内競技規則・第3章〔競技会〕9の条件を満たしていること。
- 日本グランプリ大会の参加資格
 - 国際A級部門はフリーエントリーとする。
 - 国際B級部門はフリーエントリーとする。

6 出場申込み

全日本選手権シリーズ大会出場申込み

出場申込み書（日本グランプリ含む）に必要な事項を、記入の上、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて提出しなければならない。なお、ヘルパーを申請する場合は、ヘルパー申請料を添付しなければならない。

2. 参加定員

ライダーの定員については特に定めない。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：国際A級部門 7,000円
 国際B級部門 7,000円
 (MFJ選手共済会掛金200円含む)

8 賞および得点

1. 賞

- 細則7.トライアル競技細則・15 (97頁参照) にとづいて授与される。
 その他の賞の詳細は公式通知に示される。
- 国際A級、及び国際B級部門全日本ランキングの得点
 - 得点はMFJ国内競技規則によって与えられる。
 - 日本グランプリトライアル大会については、上記の得点にさらに3点が加算される。
 - 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - その詳細は全日本選手権ランキング順位決定方法 (110頁参照) に示される。

9 日本代表選手団の選考基準

開催競技会の日程、名称、主催場所、出場申込み期間

89全日本選手権シリーズは日本グランプリ大会を含め下表の9戦が開催される。

開催日	大会名称	主催者・出場申込先	開催場所	出場申込期間 (消印有効)
4月16日 (日)	全日本選手権シリーズ第1戦 四国トライアル大会	MFJ四国ブロック協議会 申込先：愛媛県モーターサイクルスポーツ協会 〒791-11 松山市南高井町1812-3 愛媛県二輪車安全普及協会内 ☎0899(76)4505	愛媛県 久万町久万スキー ランド	3月8日(水) ↓ 3月17日(金)
5月14日 (日)	全日本選手権シリーズ第2戦 九州トライアル大会	MFJ九州ブロック協議会 〒816 福岡市博多区半道橋2-7-70 ☎092(474)6196	未 定	4月5日(水) ↓ 4月14日(金)
5月28日 (日)	全日本選手権シリーズ第3戦 第17回日本グランプリトライアル大会 (国際格式)	日本モーターサイクル協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(865)8441	愛知県 キョウセイ交通大 学特設会場	4月19日(水) ↓ 4月28日(金)
6月11日 (日)	全日本選手権シリーズ第4戦 中国トライアル大会	MFJ中国ブロック協議会 〒740 山口県岩国市元町4-1-7 野田 弘 気付 ☎0827(21)5397	島根県 瑞穂ハイランドス キー場	5月3日(水) ↓ 5月12日(金)
7月23日 (日)	全日本選手権シリーズ第5戦 関東トライアル大会	MFJ関東ブロック協議会 〒108 東京都港区港南3-3-10 ☎03(472)6241	神奈川県 宮ヶ瀬トライアル パーク	6月14日(水) ↓ 6月23日(金)
8月6日 (日)	全日本選手権シリーズ第6戦 北海道トライアル大会	札幌モーターサイクルスポーツ協会 〒065 北海道札幌市東区東豊来3条1-4-3 ☎011(782)1492	北海道夕張市 マウントレースイ 国際スキー場	6月28日(水) ↓ 7月7日(金)
9月3日 (日)	全日本選手権シリーズ第7戦 東北トライアル大会	MFJ東北ブロック協議会 申込先：東北ブロックトライアル委員会 〒982 仙台市長町3-3-9 ホンダ宮城販売所内 大友克人気付 ☎0222(47)0123	秋田県 荒川鉱山跡地	8月30日(水) ↓ 9月8日(金)
10月8日 (日)	全日本選手権シリーズ第8戦 中部(北陸)トライアル大会	石川県モーターサイクルスポーツ協会 〒921 石川県金沢市入江3-134 ☎0762(91)7111	未 定	7月26日(水) ↓ 8月4日(金)
10月22日 (日)	全日本選手権シリーズ第9戦 近畿トライアル大会	MFJ近畿ブロック協議会 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(541)5254	兵庫県 姫路セントラルパ ーク	9月13日(水) ↓ 9月22日(金)

'89年9月17日開催のトライアル・デ・ナシオン（開催国：ベルギー）の日本代表選手団の選考基準および詳細は下記のとおりとする。

1. 出場選手の選考基準

- 1) 日本国籍を有する者で'88全日本選手権第1戦から第5戦（北海道大会）までと、'89全日本選手権第1戦から第3戦（日本GP）までの国際A級の得点合計の上位4名の者とする。但し経費等（交通費、車両運搬、メカニック経費他）はすべて自己負担とする。
- 2) MFJより派遣された者には一部支援金が出される。
- 3) 1)の選手で出場意志のない選手が出た場合は下位より繰り上げとする。その場合ランキング15位までの選手とする。
- 4) 6月15日迄に参加者が3名に満たない場合は、日本選手団の派遣は取りやめとする。

10 出場車両

車両は、細則7・トライアル競技細則3（92頁参照）を遵守しなければならない。

11 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級・B級の年間指定ゼッケンナンバーは、別に定めるゼッケンナンバー決定基準によって割り当てられる。
- 2) 主催者から特に指示がない場合は、車両検査までに規定の書体および色分けてナンバーを記入しなければならない。
- 3) ナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 4) 競技中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せず、また間違ったゼッケンを装着して走行した場合は、そのトライは記録されない。

12 ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、細則7・トライアル競技細則6（93頁参照）による。



13 ガソリンおよびオイル

- 1) ガソリンおよびオイルは国内競技規則・第3章〔競技会〕19（24頁参照）による。
- 2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンおよびオイルを入れる容器と、その取扱いは消防法により定められているものとする。

14 出場受付

- 1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に、かならずライダー本人が、MFJライセンス、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

15 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、競技開始前にパドック内の車両検査区域においておこなわれる。
- 2) ライダーはタイムスケジュールに示された時間内に、必ずライダー本人が車両を持参し車両検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- 3) 車両検査への持ち込みは1台に制限される。
- 4) 車両検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車両は、一切の走行を拒否される。
- 5) 車両検査において、フレームボディとクランクケースについてマーキングを行なう。以上の部品は、当日の競技に使用され、競技が終了するまで交換することはできない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中、無断で交換した場合、失格とされる。
- 6) 車両検査時には、細則7・トライアル競技細則・5（92頁参照）の方式ののっとり車両の音量検査が行なわれる。
- 7) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査をおこなうことがある。

16 ライダーおよび車両変更

ライダーおよび出場車両の変更は原則として認めら

れない。ただし、車両の変更は国内競技規則・第3章〔競技会〕21(25頁参照)に該当する場合は出場受付終了以前に手数料5,000円を添えて申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ、認められる。

17 練習

大会当日コースおよびセクションのいかなる場所においても練習は禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップはできる場合がある。

18 スタート

- 1) スタート順序は主催者によって決定される。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーには、1分につき1点の減点が科せられ20分以上遅れたライダーは失格となる。

19 競技中の車両の整備

- 1) 車両のパーツは、マーキングされていないもののみ交換することができる。ただし、ライダーはスペアパーツを主催者の定める区域以外の場所で受け取ることはできない。
- 2) ライダーは、コース上のどこにおいても工具を受け取ることができる。ただし、ライダーが車両の整備を行なう場合、主催者の定める区域外で、他の援助を受けることはできない。これに違反した場合、失格とされる。

20 ゴール

ライダーは定められた競技時間内にゴールしなければならない。ゴール時間に遅れたライダーは失格とする。

21 競技の終了

バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

22 最終検査

最終ラップ終了後、車両は主催者が定める区域において、車両検査時に付けたマークの有無の確認を受ける。

23 競技結果

- 1) 総減点数の少ないものから順位を定める。



- 2) 同点者の判定は次の判定順序に従っておこなう。
 - (1) クリーン数の多い者を上位とする。
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする。
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする。
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする。
 - (5) 以上によって決定できない場合は主催者の判断により決定する。

※国際A級の1位から15位迄と、国際B級の1位～5位の順位はスペシャルステージの減点数も含み、決定する。

24 ヘルパー

89年度全日本選手権において、ライダー1名に対し1名迄のヘルパーが認められる。ヘルパーの資格および遵守事項は次のとおりとする。

- 1) ヘルパーは、トライアル国際B級または国際A級のライセンス所持者で、かつピットクルーライセンスを所持しておりライダーのエントリー時に、10,000円の申請料を添付し、申し込まなければならない。なお、エントリー締切後の追加変更は一切認められない。
- 2) 車両はMFJ公認車両とし、大会当日車検およびゴール後のマシンチェックを受けなければならない。
- 3) 車両のフロントゼッケンに「ヘルパー」の表示をしなければならない。
- 4) 移動コースは、ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。
- 5) セクショントライは一切認められない。
- 6) 指定区域外での車両整備の援助または部品の供給は一切行なってはならない。
- 7) ヘルパーの不正は、当該ライダーに罰則が課せられる。
※エントリー用紙には、サポートライダーと表示されているが、ヘルパーに訂正。

25 競技会の延期、中止およびうち切り

- 1) 大会は、本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) 大会は、大会審査委員会が天変地異等の特別な理由によって競技を中止しなければならないと判断したときに限り競技が中止される。
- 3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を請求することはできない。

26 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章(競技会)26(26頁参照)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定するものとする。
- 3) 審判員の下したチャージに対して抗議することは一切できない。

27 ライダーの遵守事項

ライダーは次の事項を守らなければならない。

- 1) 競技会は、国内競技規則のとおりにこなされる。ライダーはすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- 2) リタイヤするライダーは必ずリタイヤ届を提出しなければならない。なお本人がやむを得ず提出できない場合は代理人による提出も認められる。これに違反した場合は総則に記載される罰則が科せられる。
- 3) ライダーはすべて本競技会特別規則のにとり

行動すること。場合によっては、失格、さらに退場に至る罰則が科せられる。

- 4) 参加者は国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定を守り、競技役員の指示にしたがわなければならない。また公道上では交通法規を守らなければならない。
- 5) 参加者は常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- 6) 参加者は競技期間中、飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- 7) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、MFJ競技ライセンスを必ず携帯しなければならない。

28 本規則の違反・裁定

本規則に対する違反の裁定は大会審査委員会によって判断され、違反者には罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえどもこれにしたがわなければならない。

29 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑申立てができる。なお、質疑申立てに対する回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

30 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。

なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則による。

1989年1月1日

全日本選手権大会事務局長



RIDING SPORT

ライディングスポーツ臨時増刊 [イヤーブック1988-89]

12月24日(土曜日)発売予定 ● 定価 ¥1,800

世界選手権、全日本選手権からAMAまで、全てのレースを網羅。

'88レースシーズンの集大成、「イヤーブック1988-1989」

YEAR BOOK 1988-89



BUSHUSHOBO

株式会社 星雲堂 ● Phone 03 (463) 1141

〒100 東京都港区赤坂1-16-2 西興ビル

あなたの MFJ

モーターサイクル・スポーツは、野球やテニスと同じように立派なスポーツである。観ているだけでは物足りない。自ら思い切ってサーキットを走ってみたいという行動派には、是非ともMFJ競技ライセンスの取得をお勧めしたい。

MFJ競技ライセンスは、公認競技会に出場してポイントを得ることによって、さらに上級のライセンスに昇格することができるシステム。ロードレースをはじめとして、モトクロス、トライアル、スノーモビルなどの種目に分けられており、16歳未満で運転免許証を持たないライダーには「キッズライセンス」が用意されている。また、マイペースでモーターサイクル・スポーツを楽しみたいというライダーのためには「Lライセンス」が設けられており、ミニバイクレースやスクーターレースなどのMFJ承認競技会に出場することができる。

MFJ競技ライセンス取得の申請は、全国の都道府県モーターサイクル・スポーツ協会（県協会）で受け付けてくれるが、全国各地2000箇所の「MFJスポーツ協力店」でもライセンス取得のための申請手続きを受け付けて行っている。

MFJ競技ライセンスを取得すれば、全国各地で開催される承認競技会への参加ができる他、承認競技会に参加中の万一の事故に対しては、MFJ共済保険制度が適用される。また、一般公道で不幸にしてクルマやバイクを運転または同乗中に重大事故に遇った場合には、最高120万円の見舞い金が支払われることになっている。さらに、最寄りの「MFJスポーツ協力店」を通じて、各種モーターサイクル・スポーツやレジャー情報の提供を受けられたり、月刊「ライディング」誌が毎月贈呈されるなど盛りだくさんの特典が用意されている。

MFJ競技ライセンスを取得して、モーターサイクル・スポーツライフをより一層と充実したものにしてみたいいかがだろうか？

●問合せ先：日本モーターサイクル協会(M.F.J.)
〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7
第2オカノビル
☎03-865-8441

MFJ

MFJ(エム・エフ・ジェー)とは「日本モーターサイクル協会」—THE MOTORCYCLING FEDERATION OF JAPAN—の略称です。ユネスコ傘下の国際機関であるFIM(国際モーターサイクリスト連盟)に連なる唯一の日本代表機関として1961年の創立以来、国内のモーターサイクル・スポーツのサーキットの公認、競技の承・公認、ライセンスの発行、昇格ポイントの管理及び共済制度等を統括する幅広い活動を行っております。

県協会

県協会は、全国の都道府県モーターサイクル・スポーツ協会の略称です。ロードレース、モトクロス、トライアル、スノーモビルの多彩な公認競技会や承認競技会、ライセンス講習会やツーリング、ジムカーナなどの承認行事によって、地域に密着した幅広いモーターサイクル・スポーツ及びレジャー・スポーツ活動をそれぞれ展開しています。もちろん、ライセンス取得のための申請手続きを受け付けています。

スポーツ協力店

全国各地で地域密着型のモーターサイクル・スポーツ活動の普及・発展を推進しているシステムが「MFJスポーツ協力店」です。MFJ競技ライセンスやMFJ-Lライセンスの申し込み受け付けの最先端窓口として、これからメンバーとなるモーターサイクル・スポーツ仲間を増やしています。そして、新しい仲間たちの活動をアドバイスしてくれるのも、このスポーツ協力店です。スポーツ協力店は指定のステッカーが店頭に掲げてあります。



競技ライセンスを取って安全に楽しく走ろう

スポーツは、安全に楽しむことが基本です。モーターサイクル・スポーツは、野球やテニスと同じように立派なスポーツです。そのスポーツに参加するには、ルールとマナーを守ることが大切です。モーターサイク

ル・スポーツを安全に楽しむために、ぜひMFJ競技ライセンスを取られることをお勧めします。そして、真のモーターサイクル・スポーツを満喫してください。

ライセンスはモーターサイクル・スポーツのパスポート

MFJ競技ライセンスは、9歳以上の方や運転免許を受けていないモーターサイクル・スポーツ大好きな人なら、講習会を受講するだけで取れます。

- MFJ競技ライセンス
(16歳未満の方は「キッズライセンス」)
- MFJ-Lライセンス

MFJ競技ライセンス

MFJ競技ライセンスは、公認競技会に出場してポイントを得ることによって、さらに上級のライセンスに昇格しようとするライセンスです。種目はロードレース、モトクロス、トライアル及びスノーモビル等があります。

「キッズライセンス」は16歳未満の方に与えられ、モトクロス、トライアル及びスノーモビルの種目があり、モトクロスについては排気量が80cc以下のマシンに限定されています。

MFJ-Lライセンス

MFJ-Lライセンスは、いわゆるマイペースで楽しむスポーツ——

- モトクロス(ミニモトクロス) ●トライアル(ミニトライアル) ●エンデュロ ●スノーモビル ●ミニバイクレース(スクーターレース) 等の種目の承認競技会に出場することができます。

ライセンス取得後のメリットは盛りだくさん

MFJのライセンスを取れば、次のように盛りだくさんのメリットが受けられます。

- 全国各地で開催される承認競技会への参加。
- 承認競技会に参加中の万一の事故に対してはMFJ共済保険制度が適用。
- 一般公道で不幸にして、自家用・乗用車または自動二輪車(原付車含む)を運転または同乗中に重大事故(死亡・後遺症)にあった場合は、最高120万円の見舞い金を支払われます。
- 最寄りの「MFJスポーツ協力店」を通じて各種モーターサイクル・スポーツ及びレジャー情報の提供。
- 月刊「ライディング」誌の毎月贈呈(Lライセンスを除く)。
- MFJオリジナルステッカーの贈呈(Lライセンスを除く)。
- 「MFJ国内競技規則」の贈呈(Lライセンスを除く)。



PIT SIDE CHAT THE BIKE

MOTOR SPORTS LEATHER



●FG-100 Winter Racing Glove
Price ¥7,300
Color ブラック×ホワイト×レッド
レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
Size M-L
Spec. 牛革使用・中縫/シンサレート



●FG-101 Winter Racing Glove
Price ¥7,900
Color ブラック×ホワイト×レッド
ブラック×ホワイト×ネイビー
ホワイト×レッド
Size M-L
Spec. 牛革使用・中縫/宇宙ロック (レディースあり サイズFree)



●FG-102 Winter Racing Glove
Price ¥9,000
Color レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
グレー×ブラック
Size M-L
Spec. 牛革使用・中縫/シンサレート



●GORE-1007 GORE-TEX Winter Glove
Price ¥8,500
Color レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
ブラック×ホワイト×グレー
Size M-L
Spec. 牛革使用・中縫/シンサレート



●GORE-2004 GORE-TEX Winter Glove
Price ¥12,800
Color ブラック
Size M-L-LL
Spec. 牛革使用
中縫/シンサレート・ゴアテックスインサート



●GORE-1007 GORE-TEX Winter Glove
Price ¥13,000
Color レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
Size M-L
Spec. 牛革使用
中縫/シンサレート・ゴアテックスインサート



●RCB-01 Racing Boots
Price ¥32,000
Color ホワイト×レッド
ホワイト×ネイビー
Size 24.5cm~27.0cm



●FB-10R Racing Boots
Price ¥29,000
Color レッド×ホワイト
ネイビー×ホワイト
Size 24.5cm~27.0cm



●FB-11R Racing Boots
Price ¥24,000
Color ブラック×ホワイト×レッド
レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
Size 24.5cm~27.0cm



●FB-12 Touring Boots
Price ¥22,000
Color ホワイト×ブラック×レッド
ホワイト×レッド×ブラック
ホワイト×ネイビー×ブラック
Size 24.5cm~27.0cm
(レディースあり 22.5cm~24.0cm)



●FB-14 Touring Boots
Price ¥26,000
Color ブラック×ホワイト×レッド
レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
Size 24.5cm~27.0cm
(レディースあり 22.5cm~24.0cm)



●THE BIKE-NEW BALANCE
Price ¥22,000
Color ホワイト×ブラック
ホワイト×レッド
ブラック×ホワイト
Size 23.0cm~28.0cm



●RC-1 Racing Suit
Price ¥180,000
Color ホワイト×レッド
ホワイト×ネイビー
Size S-M-L-LL



●GP-3 Racing Suit
Price ¥158,000
Color レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
Size S-M-L-LL



●FR-8 Racing Suit
Price ¥135,000
Color ブラック×ホワイト×レッド
レッド×ホワイト×ブラック
ネイビー×ホワイト×ブラック
Size S-M-L-LL



●FR-9 Racing Suit
Price ¥135,000
Color ホワイト×レッド×ブラック
ホワイト×ネイビー×ブラック
レッド×ホワイト×ブラック
Size S-M-L-LL

■THE BIKEのレーサースーツ・ブーツには6ヶ月間の製品保証が付いています。詳しくは販売店または本都まで。
■同製品はサンプルの為仕様等が異なる場合があります。
■同製品は仕様の外観は予告なく変更する事があります。
■THE BIKEカタログが出版しました。レーサースーツ・ブーツ・グローブ等をより詳しく解説。A4版カラー36Pを同封の上 本都THE BIKEカタログ係まで請求下さい。
■中部・近畿地域の皆さまへ 鈴鹿サーキットより車で5分のDaito SUZUKA店もご利用下さい。THE BIKEのレーサースーツ・ライディングギアを豊富に取り揃えてお待ちしております。もちろん修理等アフターサービスやオーダーについてもご相談もOK。お気軽にお立ち寄り下さい。
■広告の製品に関するお問い合わせは 本都までどうぞ。
〒110東京都台東区北上野2-11-1 ☎03(844)4823 本都定休

PRODUCED BY
Daito
co., ltd.



Lockheed
MANUFACTURED BY AP RACING

概略図

●2ストロークキャリバー ボディ径φ.375×24UNF 254.0%~304.8%ピストン用 CP2696-主軸径¥32,000(1セット)	●2ストロークキャリバー ボディ径φ.375×24UNF 254.0%~304.8%ピストン用 CP2696-主軸径¥32,000(1セット)	●2ストロークキャリバー ボディ径φ.375×24UNF 254.0%~304.8%ピストン用 CP2696-主軸径¥32,000(1セット)	●4ストロークキャリバー ボディ径φ.375×24UNF 254.0%~304.8%ピストン用 CP2696-主軸径¥32,000(1セット)	●4ストロークキャリバー ボディ径φ.375×24UNF 254.0%~304.8%ピストン用 CP2696-主軸径¥32,000(1セット)	●4ストロークキャリバー ボディ径φ.375×24UNF 254.0%~304.8%ピストン用 CP2696-主軸径¥32,000(1セット)
●Fマスターシリンダー ボディ径φ.375×24UNF CP3106-2 シリンダー径 17.31% CP3106-1 シリンダー径 17.31% 主軸径 ¥28,000	●Fマスターシリンダー ボディ径φ.375×24UNF CP3106-2 シリンダー径 17.31% CP3106-1 シリンダー径 17.31% 主軸径 ¥28,000	●Rマスターシリンダー ボディ径φ.375×24UNF CP3106-2 シリンダー径 17.31% CP3106-1 シリンダー径 17.31% 主軸径 ¥28,000	●Rマスターシリンダー ボディ径φ.375×24UNF CP3106-2 シリンダー径 17.31% CP3106-1 シリンダー径 17.31% 主軸径 ¥28,000	●Rマスターシリンダー ボディ径φ.375×24UNF CP3106-2 シリンダー径 17.31% CP3106-1 シリンダー径 17.31% 主軸径 ¥28,000	●Rマスターシリンダー ボディ径φ.375×24UNF CP3106-2 シリンダー径 17.31% CP3106-1 シリンダー径 17.31% 主軸径 ¥28,000

●2ピストンレーシングキャリバー.....各機 ¥32,000	●マスターシリンダー リザーバータンクキャップ.....¥1,300
●4ピストンレーシングキャリバー.....各機 ¥79,000~¥87,000	●サマルベイト.....¥18,000
●フロントマスターシリンダー.....各機 ¥28,000~¥32,000	●ブレーキオイル.....¥2,000/500ml
●リヤマスターシリンダー.....各機 ¥17,000	●キャリバー用ブラケットセット.....各機 ¥14,000
●フローティングディスク.....各機 ¥55,000~¥70,000	(SRX600-1/400-1・TZR250) (NSR250R・GSXR750S-1/1月未発売予定)
●ブレーキパッド.....各キャリバー用 ¥4,600~¥6,500/2枚	
●キャリバーリペアキット.....2ピストン用 ¥2,500 4ピストン用 ¥4,000	
●Fマスターシリンダーリペアキット.....各機 ¥2,500~¥2,600	
●ブレーキレバー.....ノーマルサイズ ¥11,000 ロングサイズ ¥11,000	

●ロックホールのブレーキシステムは全国のデイトナ販売店で取
詳しいお問合せはデイトナ技術部・菅沼・松

SPF3

【エアロレーシングブレーキホース】
(テフロンチューブ硬質細線ステンレス巻)
航空機用素材を使用し、オートバイ
の圧力域において最良のレスポンス
を発揮する専用設計。
■各機種(付属パーツ含む)
¥5,300~¥22,500



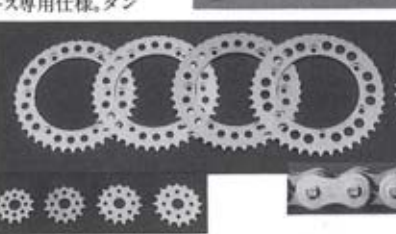
【2ストロークチャンバー】
'87・'88シーズンにワーク
ハブをフィードバック、アルミ
交換可能。
■各機種 ¥65,000~¥70,000



【GPステアリングダンパー本体】
軽量アルミボディ。精密加工によるフリクションロス・ダン
ピング効果のバラツキを抑えたレース専用仕様。ダン
パー負荷5段階に調整可能。
■本体 ¥19,800 ■レーシング
フロントブラケット各 ¥2,800



【ドライブスプロケット】
クロームモリブデン肌焼鋼使用。
肉抜き孔加工、浸炭熱処理を
施した強靱なレース用
■各機種 ¥2,100 ~ ¥2,500



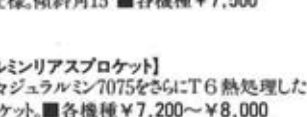
【アルミ削り出しバックステップ】
超軽量コンパクト安全設計。シン
ブルなデザインでロスの少ないス
ムーズなタッチ。
■各機種 ¥19,800~¥39,000



【GPパッド】
〈RXタイプ〉耐フェード性に優れた
ット走行にも適応する全天候型セミ
メタルタイプ。〈RYタイプ〉アスベ
スト系。使用温度設定を高温に
し、ハードなブレーキングに対
応。耐フェード性も高く、耐ウエ
ット性も付加。〈RZタイプ〉アスベ
スト系。使用温度設定を低く抑え、初期吸い付きに優
れ、耐フェード性も良好。ドライ走行専用。
■F・R各 ¥10,000



【レーシングセパレートハンドル】
ハンドルバーは左右角度の誤差を最小に抑えた
レース仕様。傾斜角15° ■各機種 ¥7,500



【超タジュラルミンアスプロケット】
航空機用超タジュラルミン/7075を641T6熱処理した
最高級スプロケット。■各機種 ¥7,200~¥8,000

【エヌマレーシングプロチェーン】
エヌマ特許の肉抜き加工により強
度を確保しつつ軽量化を実現。
■各機種 ¥16,000~¥31,000



●デイトナでは、ノービスSP、F3のサポートをするデイトナレーシングシステムがあります。
実力に応じてデイトナパーツ・転載費用一部・マシン貸与などをサポートします。
●デイトナレーシングシステムには、住所・氏名・電話番号・年令・血液型・過去1年の
レース実績・レース歴を明記の上、デイトナレースサポート係まで郵送して下さい。(電話
応募は受けられません。)89年度シーズン期間中あなたのコンタクトを通して書類選考の上、連絡いたします。

DAYTONA RACING SYSTEM



DAYTONA
株式会社 デイトナ 〒438 静岡県豊田市岩井183-6
TEL.05363-5-61144
有限会社 デイトナ 〒167 東京都港区香取1-15-12
TEL.03-355-3444

LICENCE

細則 9

MFJライセンス 昇格・降格に関する規則

- | | | |
|-------------------------|-----------------------|---------------------|
| 1 目的……………① | 4 モトクロスライセンスの昇格……………④ | 7 特別昇格及びその手続き……………⑦ |
| 2 自動昇格に必要な得点……………② | 5 トライアルライセンスの昇格……………⑤ | 8 特別降格及びその手続き……………⑧ |
| 3 ロードレース・ライセンスの昇格……………③ | 6 自動降格の基準……………⑥ | 9 再昇格基準……………⑨ |

1 目 的

この規則は、日本モーターサイクル協会(以下「MFJ」という)が発給管理する。競技ライセンスの昇格・降格に関し規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点は公認競技会の成績に応じて与えられる。その得点は、次のとおりである。

(1) 全日本選手権及び地方選手権競技会

順位	25 以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

(2) その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	8	8	8	8	8	
3位	6	6	6	6		
4位	5	5	5			
5位	4	4				
6位	3					

(注) 出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ台数とする。

- 2) 昇格の対象となる期間は、前年度の11月から当該年度の10月末日までの12ヵ月間とする。
- 3) キッズ部門の公認競技会における得点は競技会の格式にかかわらず、上記(2)その他の公認競技会の得点とする。

3 ロードレース・ライセンスの昇格

- 1) ノービス部門からジュニア部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。
- (1) 各サーキットごとの公認競技会においてノービス部門125cc、250cc及びTTF3クラスのいずれかのクラスの年間得点合計で得点10点以上の成績を得た者。(異なるクラス及び異なるサーキット間の得点は合計しない。)ただしSPフォーミュラ部門は、自動昇格対象とはならないが、上記と同等の得点を得た者は特別昇格の申請ができる。

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、都・府・県モーターサイクリススポーツ協会（以下「県協会」という）及び地方ブロック協議会（以下「ブロック」という）の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

- (3) その他、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) ジュニアから国際A級への昇格基準

- (1) 全日本選手権ランキング6位迄の者（自動昇格）
- (2) 全日本選手権にて15ポイント以上獲得した者で、ランキング15位以内の者は特別昇格の申請が出来る。
- (3) 地方選手権以上の得点合計で30点以上獲得した者は特別昇格の申請が出来る。
- ①地方選手権も1位から15位（20～1点）のポイントを与える。
- ②他のサーキットの得点も加算する。

4 モトクロスライセンスの昇格

- 1) KIDS 部門からノービス部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を得た者。（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない）④：得点は格式にかかわらず国内競技規則・第3章〔競技会〕16その他の公認競技会の得点（23頁参照）とする。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会及びブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2) ノービス部門からジュニア部門への昇格の対象者は次のとおりとする。

- (1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者。（複数のブロックにまたがる得点の合計はしない）

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	40	40	30	30	30	40	40	30

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会及びブロックの承認推薦された者

で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 3) ジュニア部門から国際B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- (1) 全日本選手権ランキングで、クラス1位から6位にランクされた者。
- (2) 全日本選手権シリーズ大会において得点30点以上を得た者。
- (3) 公認競技会において各地方で、下記の得点以上を得た者。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	80	85	50	50	50	60	100	50

- (4) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会及びブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

- (5) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 4) 国際B級部門から国際A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- (1) 全日本選手権ランキングでクラス1位から15位にランクされた者。
- (2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

5 トライアルライセンスの昇格

- 1) KIDS 部門からジュニア部門への昇格の対象者は次のとおりとする。

- (1) キッズ部門はノービス部門との混走が認められ、ノービスとキッズ部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得たもの。

- ①ノービス・キッズ部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者。（ノービス・キッズ部門が同セクション、同ラップ数で行なわれた場合のみ）
- ②ノービス・キッズ部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝した者。（ノービス・キッズ部門が同セクション、同ラップ数で行なわれた場合のみ）

- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

- 2) ノービス部門からジュニア部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

- (1) ノービス部門参加者10名以上の公認競技会に

において下記の成績をおさめた者。

① ノービス部門で参加者29名以下の公認競技会においてノービス部門での優勝者。(次の大会よりジュニア部門で出場すること)

② ノービス部門で参加者30名以上の公認競技会において、ノービス部門での優勝者及び2位の2名の者。(次の大会よりジュニア部門で出場すること)

(2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会及びブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3) ジュニア部門から国際B級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

(1) 各ブロックごとの地方選手権において、下記の人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	5	7	25	13 (内北陸3)	10	6	5	8

(2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会及びブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4) 国際B級部門から国際A級部門への昇格の対象者は、次のとおりとする。

(1) 全日本選手権ランキングで1位から5位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。

(2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

6 自動降格の基準

1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって、下表によりライセンス資格が自動降格される。

自動降格基準表

未更新期間	種目 ライセンス	モトクロス・トライアル					ロードレース			
		Bライセンス	ノービス	ジュニア	国際B級	国際A級	Bライセンス	ノービス	ジュニア	国際A級
1年	Bライセンス	Bライセンス	ノービス	ジュニア	国際B級	国際A級	Bライセンス	ノービス	ジュニア	国際A級
2年		#	#	#	#	#	#	#	#	#
3年		#	#	ノービス	ジュニア	#	#	#	ノービス	#
4年		#	#	#	ノービス	国際B級	#	#	#	ジュニア
5年		#	#	#	#	#	#	#	#	#
6年以上		#	#	#	#	ジュニア	#	#	#	#

※ロードレースについては5年以上の未更新期間のある場合はMFJ公認サーキットの走行証明が必要。



7 特別昇格及びその手続き

1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。

2) 前項の申請は、特別昇格をしようとする前年の11月1日から12月31日までにMFJ事務局に到達されることを要し、それ以外の申請は受理されない。

3) 申請は、所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県協会及びブロックの承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。

なお、所定の申請書は県協会またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。

4) 申請にあたっては申請書に申請料3,000円(切手でも可)を添えて県協会に提出すること。

5) 特別昇格についての最終的決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。

8 特別降格及びその手続き

1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は、次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。

2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までにMFJ事務局に到達されることを要する。申請者の用紙は、県協会又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し、申請料3,000円(切手でも可)を添えて県協会及びブロックの承認・経由して、MFJ事務局に申請する。

3) 降格承認後は降格が認められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。

MFJ 1988 年度 全日本選手権ランキング認定表彰式・MFJ大賞授賞式



9 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。

1) ロードレース

- (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
- (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

2) モトクロス

- (1) 国際B級部門からジュニア部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズ大会で優勝した者。
- (2) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、1回優勝した者。
- (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

3) トライアル

- (1) 国際B級部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (2) ジュニア部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。

- (3) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。
- (4) その他MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1989年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

1. 全日本選手権ランキング順位づけ決定の方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- 1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大きなものから順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
- 2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
- 3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- 4) 上記3)で決定できない場合、MFJスポーツ委員会において最終決定する。

MFJ公認車両

一般市販車

車 名	型 式	排気量	ボア・ストローク	公称月日
-----	-----	-----	----------	------

●本田技研工業株式會社

TLM200R	MD15	193cc	67mm×55mm	'85.3.28
XL125R	JD04	124cc	58.5mm×49.5mm	'85.7.15
XL200R	MD14	194cc	65.5mm×57.8mm	'85.5.20
TX200R.II	MD13	193cc	67mm×55mm	'85.2.25
FLR250R	MD16	249cc	75mm×56.5mm	'85.5.20
XL600R	PD04	591cc	97mm×80mm	'85.9.18
CBX250S	MC12	249cc	75mm×56.5mm	'85.3.28
VT250F INTEGRA	MC08	248cc	60mm×44mm	'85.5.20
NS400R	NC19	387cc	57mm×50.6mm	'85.5.20
CBR400F	NC17	399cc	55mm×42mm	'85.8.26
CBR400F FOUR	〃	〃	〃	〃
CBR400F FOUR A-3	〃	〃	〃	〃
CBR400 Four Trochy	NC20	399cc	84mm×72mm	'85.9.18
CBR400 Four Trochy MK.II	〃	〃	〃	〃
CBR400 Four Trochy	PC16	498cc	92mm×75mm	'85.9.18
CBR400 SOLDIER	RC17	747cc	67mm×53mm	'85.6.10
TLR250R	MD18	244cc	72mm×60mm	'86.5.26
XLR250R	MD20	249cc	73mm×59.5mm	'86.12.15
FTR250(キップ)	MD17	249cc	73mm×59.5mm	'86.3.26
FTR250(セル)	〃	〃	〃	〃
VT250F	MC15	249cc	60mm×44.1mm	'86.4.28
NSR250R	MC17	249cc	54mm×54.5mm	'86.10.13
CBR250FOUR	MC14	249cc	48.5mm×33.3mm	'86.4.28
VFR400R	NC21	399cc	55mm×42mm	'86.3.26
CBR400R	NC23	399cc	55mm×42mm	'86.7.9
VFR400Z	NC21	399cc	55mm×42mm	'86.4.28
VFR750F	RC24	748cc	70mm×48.6mm	'86.3.26
SHADOW	RC25	749cc	79.5mm×75.5mm	'86.4.28
TLM200R	MD15	193cc	67mm×55mm	'87.5.6
FLR80R	HD10	79cc	47.5mm×45mm	'87.9.4
MONKEYR	A-A822	49cc	39mm×41.4mm	'87.4.2
NS50F AERO	A-AC08	49cc	39mm×41.4mm	'87.3.31
NSR50	A-AC10	49cc	39mm×41.4mm	'87.7.8
CBX125CUSTOM	JC11	124cc	58mm×47mm	'87.8.5
CBX125F	JC12	124cc	58mm×47mm	'87.8.5
NS125R	TC01	124cc	58mm×50.6mm	'87.8.5
VT250F	NC15	249cc	60mm×44.1mm	'87.3.4
CBR250R	MC17	249cc	48.5mm×33.8mm	'87.5.6
VT2250	MC15	249cc	60mm×44.1mm	'87.6.5
GB250CLUBMAN	MC10	249cc	72mm×61.3mm	'87.3.31
CBR400R	NC23	399cc	55mm×42mm	'87.3.4
CBR750S-1/1-EPO	RC27	748cc	70mm×48.6mm	'87.3.4
VFR400R	NC24	399cc	55mm×42mm	'87.5.6
VFR400Z	NC21	399cc	55mm×42mm	'87.6.5
TRANSALP600V	PD06	583cc	75mm×66mm	'87.6.5
V45MAGNA	RC28	748cc	70mm×48.6mm	'87.6.5
VFR750R	RC30	748cc	70mm×48.6mm	'87.12.9
ATC70		72cc		'87.3.4
XL80S	HD04	79cc		'87.3.4
XR80	XR80	79.7cc		'87.3.4
モンキー	Z50J	49cc		'87.3.4
ゴリラ	Z50J	49cc		'87.3.4
ダックス	ST50	49cc		'87.3.4
XL50S	AD03	49cc		'87.3.4
XLR BAJA	MD22	249cc	73mm×59.5mm	'88.1.6
NSR80	HC06	79cc	49.5mm×41.4mm	'88.1.6
AX1	MD21	249cc	70mm×64.8mm	'88.1.6
NSR250R	MC18	249cc	54mm×54.5mm	'88.2.16
CBR400RR	NC23	399cc	55mm×42mm	'88.2.16
CBR400 FOUR (Two-400)	NC25	398cc	64mm×62mm	'88.2.16



車 名	型 式	排気量	ボア・ストローク	公称月日
PRODOT-ONE(050)	RC31	647cc	79mm×66mm	'88.2.16
NS50F-AERO	A-AC08	49cc	39mm×41.4mm	'88.3.9
CRM50	A-AD10	49cc	39mm×41.4mm	'88.4.13
CRM80	HD11	79cc	49.5mm×41.4mm	'88.4.13
NX125	JD08	124cc	56.5mm×49.5mm	'88.4.13
NSR250RSP	MC18	249cc	54mm×54.5mm	'88.5.13
MONKEY	A-AB	49cc	39mm×41.4mm	'88.5.13
CBR250R	MC19	249cc	48.5mm×33.8mm	'88.6.10
AFFRICATWIN	RD03	647cc	79mm×66mm	'88.8.3
VTZ250	MC15	249cc	60mm×44.1mm	'88.8.3

●ヤマハ発動機株式会社

RZ50	1HK	19cc	40mm × 39,7mm	'85, 5.20
RZ125	1GV	123cc	56mm × 50mm	'85, 5.20
SELOW225	1KH	223cc	70mm × 58mm	'85, 8.28
TZR250	1KT	249cc	56,4mm × 50mm	'85, 10.27
FZ250	1HX	249cc	48mm × 34,5mm	'85, 3.28
FZ400N	1KF	399cc	54mm × 43,6mm	'85, 3.28
FZ750	1FM	749cc	68mm × 51,6mm	'85, 3.28
DT200R	1TG	195cc	66mm × 57mm	'85, 11.28
XT225	2LN	223cc	70mm × 58mm	'86, 12.15
YSR50	2AL	49,9cc	40mm × 39,7mm	'86, 4.28
YSR80	2GX	79cc	48mm × 42mm	'86, 9.9
FZ250	1KG	249cc	48mm × 34,5mm	'86, 4.28
FZR250	2KR	249cc	48mm × 34,5mm	'86, 12.15
FZ400R	46X	399cc	54mm × 43,6mm	'86, 4.28
FZR400	1WG	399cc	56mm × 40,5mm	'86, 4.28
SRX400	1JL	399cc	87mm × 67,2mm	'86, 3.26
FZX750	2AK	749cc	68mm × 51,6mm	'86, 4.28
TW200	2JL	198cc	67mm × 55,7mm	'87, 6.5
DT200R	2LR	195cc	66mm × 57mm	'87, 3.31
TZR125	2RM	124cc	56,4mm × 50mm	'87, 5.6
SDR	2TV	195cc	66mm × 57mm	'87, 9.4
FZR400R	2TK	399cc	56mm × 40,5mm	'87, 3.2
FZR750	2LM	749cc	68mm × 51,6mm	'87, 3.31
XV400	2NU	399cc	68mm × 55mm	'87, 3.31
XV400	2NT	399cc	68mm × 55mm	'87, 3.31
SRX400	2NY	399cc	87mm × 67,2mm	'87, 3.4
SRX600	2NX	608cc	96mm × 84mm	'87, 3.4
TZ250		249cc	56mm × 50,7mm	'88, 2.16
TZR125	2VT	124cc	56,4mm × 50mm	'88, 3.9
TZR250	2XT	249cc	56,4mm × 50mm	'88, 3.9
TDR250	2YK	249cc	56,4mm × 50mm	'88, 3.9
XY250	3DM	248cc	49mm × 66mm	'88, 3.9
YSR80	3CE	79cc	49mm × 42mm	'88, 5.13
FZR250	3HX	249cc	48mm × 34,5mm	'88, 5.13
SRX400	3HV	399cc	87mm × 67,2mm	'88, 9.2
SRX600	3GV	608cc	96mm × 84mm	'88, 9.2
SR400C	3HT	399cc	87mm × 67,2mm	'88, 9.2
SR500C	3GM	499cc	87mm × 84mm	'88, 9.2
RZ250R	3HM	247cc	54mm × 54mm	'88, 9.2
TDR50	3FY	49cc	40mm × 39,7mm	'88, 9

車 名	型 式	排気量	ボア・ストローク	公称月日
TDR80	3GA	79cc	49mm×42mm	'88.10.13

●鈴木自動車工業

RG50I	A-NA11A	49.8cc	41mm×37.8mm	'85.3.28
RG125I	NF11F	123cc	54mm×54mm	'85.7.15
RG250I	GJ21B	247cc	54mm×54mm	'85.4.18
GF250	GJ71C	249cc	44mm×41mm	'85.3.28
GSX-R400	GK71B	398cc	53mm×45.2mm	'85.2.25
RG400I	HK31A	397cc	50mm×50.6mm	'85.2.25
RG500I	HM31A	498cc	56mm×50.6mm	'85.5.20
GSX-R750	GR71F	749cc	70mm×48.7mm	'85.3.28
VS750	VF51A	747cc	80mm×74.4mm	'85.4.18
TS50W	A-SA11A	49.8cc	41mm×37.8mm	'85.3.28
SX125R	SF41B	124cc	57mm×48.8mm	'85.5.20
SX200R	SH41A	199cc	66mm×58.2mm	'85.5.20
GAG	A-LA41A	49cc	39mm×41.8mm	'86.2.24
RG250I(フールカウル)	GJ21B	247cc	54mm×54mm	'86.2.24
RG250I(フルカウル)	//	//	//	//
GF250S	GJ71C	249.2cc	44mm×41mm	'88.2.24
GF250SS(アンダーカウル)	//	249cc	//	//
NZ250	NJ44A	249cc	72mm×61.2mm	'86.2.24
NZ250S(カウル)	//	//	//	//
GSX-R400	GK71F	398cc	56mm×40.4mm	'86.3.26
GSX400Xインパルス	GK71E	398cc	56mm×40.4mm	'86.3.26
LS650	NP41A	652cc	94mm×94mm	'86.11.23
GSX-R750R	GR71G	749.2cc	70mm×48.7mm	'86.2.24
GSX-R250	GJ72A	248cc	49mm×33mm	'87.3.31
RG250I	GJ21B	247cc	54mm×54mm	'87.7.8
GSX-R400	GK71F	398cc	56mm×40.4mm	'87.7.8
GSX-R750	GR71G	749cc	70mm×48.7mm	'87.5.6
SAVAGE	NK41A	396cc	88mm×65.2mm	'87.5.6
RGV250I	VJ21A	249cc	56mm×50.6mm	'88.4.13
GSX-R400	GK73A	398cc	56mm×40.4mm	'88.4.13
GSX-R750	GR77C	748cc	73mm×44.7mm	'88.4.13
RH250J	SJ11C	249cc	70mm×64.8mm	'88.7.9
GSX400P	CA74A	398cc	56mm×40.4mm	'88.7.9
TV250(フルフ)	VJ21A	249.2cc	56mm×50.6mm	'88.8.3

●川崎重工業

GPZ400R	ZX400D	398cc	56mm×40.4mm	'85.2.25
FX400R	//	//	//	'85.11.28
GPZ600R	ZX600A	592cc	60mm×52.4mm	'85.6.10
GPZ750F	ZX750A	738cc	68mm×54mm	'85.6.10
VULCAN	VN750	749cc	84.9mm×66.2mm	'85.2.25
AR125S	AR125A	123cc	55mm×51.8mm	'86.1.30
CASUAL SPORTS	BR250A	248cc	74mm×58mm	'86.1.30
GPZ250R	EX250E	248cc	62mm×41.2mm	'86.1.30
GPX750R	ZX750	748cc	68mm×51.5mm	'86.7.9
ELIMINATOR	ZL750A	748cc	70mm×48.6mm	'86.1.30
GPX250R	EX250E	248cc	62mm×41.2mm	'87.3.31
GPX400R	ZX400F	398cc	56mm×40.4mm	'87.3.31
GPZ400S	EX400A	398cc	70mm×51.8mm	'87.3.31
KR-1	KR250B	249cc	56mm×50.6mm	'88.2.16
ZX-4	ZX400G	398cc	57mm×39mm	'88.2.16
KS-1	MX050A	49cc	39mm×41.6mm	'88.2.16
KS-II	MX080A	78cc	49mm×41.6mm	'88.2.16
KXM200	MX200A	191cc	67mm×54.4mm	'88.5.13

スポーツ専用市販車・ロードレーサー

●本田モーターサイクル

RS125R-V	ND4	124cc	56mm×50.7mm	'85.3.28
RS250R	ND5	249cc	56mm×50.6mm	'85.2.25
'87RS125R	NF4	124cc	54mm×54.5mm	'88.10.13
'87RS250R	NF5	249cc	54mm×54.5mm	'88.11.23

車 名	型 式	排気量	ボア・ストローク	公称月日
RS250R-II	ND5	249cc	56mm×50.6mm	'86.1.30
'88RS125R	NF4	124cc	54mm×54.5mm	'87.12.9
'88RS250R	NF5	249cc	54mm×54.5mm	'88.1.6

●ヤマハ発動機

TZ250	59W	249.7cc	56mm×50.7mm	'86.1.29
TZ250	1FK	249.7cc	56mm×50.7mm	'86.1.30
TZ250	2KM	249.7cc	56mm×50.7mm	'87.2.10

スポーツ専用市販車・モトクロス

●本田技研工業

CR80R	HE04	79cc	48mm×47.8mm	'85.9.18
CR125R	JE01	123cc	54mm×54mm	'85.9.18
CR250R	ME03	249cc	66.4mm×72mm	'85.9.18
XR250R	ME06	249cc	75mm×56.5mm	'85.5.20
XR80R	HE01	79.7cc	47.5mm×45mm	'86.7.2
CR125R	JE01	124.8cc	54mm×54.5mm	'86.9.30
CR250R	ME03	249cc	66.4mm×72mm	'86.9.30
XR250R	ME06	249cc	73mm×59.5mm	'86.10.13
CR80R	HE04	79.4cc	48mm×47.8mm	'87.10.7
CR125R	JE01	124.82cc	54mm×54.5mm	'87.10.7
CR250R	ME03	249.3cc	66.4mm×72mm	'87.10.7
CR125R	JE01	124.8cc	54mm×54.5mm	'88.9.2
CR250R	ME03	249.3cc	66.4mm×72mm	'88.9.2

●ヤマハ発動機

YZ80	1LR	79.1cc	47mm×45.6mm	'85.9.18
YZ125	1LX	123cc	56mm×50mm	'85.9.18
YZ250	1LU	246cc	68mm×68mm	'85.10.27
YZ80	2JF	79.1cc	47mm×45.6mm	'86.9.9
YZ125	2HG	123cc	56mm×50mm	'86.9.9
YZ250	2HH	246cc	68mm×68mm	'86.9.9
YZ80	2VF	79.1cc	47mm×45.6mm	'87.9.4
YZ125	2VN	123cc	56mm×50mm	'87.9
YZ250	2VM	246cc	68mm×68mm	'87.10.7
YZ125	3D1	124cc	56mm×50.7mm	'88.9.2
YZ250	3JE1	246cc	68mm×68mm	'88.9.2

●鈴木自動車工業

RM80	RC12A	79cc	46.5mm×46.8mm	'85.10.8
RM125	RF13A	123cc	54mm×54mm	'85.9.18
RM250	RJ13A	246cc	67mm×70mm	'85.9.18
RM80	RC12A	79cc	46.5mm×46.8mm	'86.11.23
RM125	RF13A	123cc	54mm×54mm	'86.11.23
RM250	RJ13A	246cc	67mm×70mm	'86.12.15
RA125-II	SF13A	124cc	56mm×50.6mm	'86.11.23
RH250-II	SJ11C	249cc	70mm×64.8mm	'86.11.23
RM80	RC12A	79cc	46.5mm×46.8mm	'87.10.7
RM125	RF13A	123cc	54mm×54mm	'87.10.7
RM250	RJ14A	246cc	67mm×70mm	'87.10.7
RM80	RC12A	79.4cc	46.5mm×46.8mm	'88.9.2
RM125	RF14A	124.8cc	54mm×54.5mm	'88.9.2
RM250K	RJ15A	249.6cc	67mm×70.8mm	'88.10.13

●川崎重工業

KX80	KX080B	80cc	43mm×41.6mm	'85.7.15
KX80	KX080H	78cc	47mm×45.8mm	'85.7.15
KX125	KX125EJ	124cc	56mm×50.6mm	'85.8.28
KX250	KX250D2	249cc	70mm×64.9mm	'85.8.9
KDX200	KDX200C	198cc	68mm×58mm	'86.10.13
KX80	KX080H	78cc	47mm×45.8mm	'86.8.5

車 名	型 式	排気量	ボア・ストローク	公称月日
KX125	KX125E	124cc	56mm×50.8mm	'86.8.5
KX250	KX250E	249cc	67.4mm×70mm	'86.8.5
KX80	KX080B	60cc	43mm×41.6mm	'87.9.4
KX80	KX080M	79cc	47mm×45.8mm	'87.9.4
KX125	KX125F	124cc	56mm×50.8mm	'87.9.4
KX250	KX250F	249cc	67.4mm×70mm	'87.9.4
KX80		79cc	47mm×45.8mm	'88.4.13
KX80		60cc	43mm×41.6mm	'88.9.2
KX80		79cc	47mm×45.8mm	'88.9.2
KX80-II		79cc	47mm×45.8mm	'88.9.2
KX125		124cc	56mm×50.8mm	'88.9.2
KX250		249cc	67.4mm×70mm	'88.9.2
KDX200R		198cc	66mm×58mm	'88.10.13

スポーツ専用市販車・トライアラー

●純ホンダレーシング

TLM240R	F8F	236cc	72mm×58mm	'85.11.28
'87-TLM240R	F8F	236cc	72mm×58mm	'86.10.13
RTL250S	ND9	249cc	70mm×64.9mm	'86.1.30
'87-RTL250S				'86.10.30
RTL50S	NT9	49cc	39mm×41.4mm	'87.11.4
'88TLM250R	F8F	249cc	74mm×58mm	'87.1.6
'88RTL250S	NNO	249cc	70mm×64.9mm	'87.1.6
TLM220R		216cc	69mm×58mm	'88.4.11

●ヤマハ/発動機

TY250R	1LW	246cc	68mm×68mm	'85.9.18
TY350R	1VY	341cc	80mm×68mm	'85.10.27
TY250R	1LW	246cc	68mm×68mm	'86.10.13
TY250R	3BB	246cc	68mm×68mm	'87.11.4

スクーター

●本田技研工業

アクティブCH50E	35R			
リードS	AF01			'87.3.4
タフティ	AB19			
シャリー70	CF70	72cc		
リード80	HF01	79cc		
スベイシー80	HF02	76cc		
リーダー	A-AF03	49cc		
エクスプレス	A-AB20			
エクスプレスピジネス				
ボーカル	A-AF04			
イブ	A-AF06			
ビート	A-AF07			
フラッシュ	A-AB19			
イブスマイル	A-AF08			
ロード/ビル	NC50Z			
R&P	CY50			
Dio			39mm×41.4mm	'88.3.9
DJ-IRR			39mm×41.4mm	'88.3.9
PAL			41mm×37.4mm	'88.4.13
LEAD60			39mm×41.4mm	'88.5.13
LEAD90		89cc	48mm×41.4mm	'88.5.13
PAXCLUB		49cc	41mm×37.4mm	'88.5.13
シャリー	CF50			

●ヤマハ/発動機

サリアンCA50E	14T	49cc	40mm×39.2mm	'87.2.11
サリアンCA50ES				
サリアンCA50ED				
ジョグCE50E	27V			

車 名	型 式	排気量	ボア・ストローク	公称月日
ジョグCG50E	2JA	49cc	40mm×39.2mm	'87.2.11
チャンプCJ50EM	54V			
チャンプCJ50E				
チャンプCJ80ES	2GM	79cc	49mm×42mm	
チャンプCJ50R	2NA	49cc	40mm×39.2mm	
チャンプCJ50E	2NE			
ミントSH50E	1YU			
ミントSH50				
キューートCN50ED	53L			
トライCP50E	52W			
ボクスンCQ50E	1HV			
エクスセルCK50E	1YT			
アクティブCH50EM	35R			
アクティブCH50ET				
パッソルS50	2E9			
パッソルS50D				
パッソルミリオンス50				
パッソルII S50II				
パッソルII S50IIE				
パセッタSB50	5MO			
パセッタSB50E				
CG80Z(JOB)		79cc	49mm×42mm	'88.3.9
CG50Z(JOG)		49cc	40mm×39.2mm	
CW50(BWS)				'88.5.14
CX50(CHAMPX)				

●鈴木自動車工業

ラン	CA11A	49cc	41mm×37.8mm	'86.11.26
チャンス	CA12A	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
パラ	CA13A	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
ラプスリー	CA15A	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
ハイ	CA18A	49cc	41mm×36.4mm	'86.11.26
ラン	CA17A	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
ジェンマ	A-CA1BA	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
モレ	A-FA14A	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
カーナ	A-CA18A	50cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
シュート	A-CA14B	49cc	41mm×37.4mm	'86.11.26
アドレスチューン		49cc	41mm×37.4mm	'88.7.9
アドレスウェイ		49cc	41mm×37.4mm	'88.8.13
HU-P		49cc	41mm×37.4mm	'88.9.9

85～輸入車両

●株式会社インターナショナル

FANTIC TRIAL 101	FM266	249.4cc	74mm×58mm	'85.8.28
FANTIC HP 1	FM265	124.4cc	55.2mm×52mm	'85.8.28
FANTIC TRIAL 125.1	FM267	124.4cc	55.2mm×52mm	'86.8.5
FANTIC TRIAL 201	FM267	156.99cc	62mm×52mm	'86.8.5
FANTIC TRIAL 241	FM289	212cc	69mm×56.5mm	'86.8.5
FANTIC 243	FM363	212cc	69mm×56.5mm	'87.7.8
FANTIC 303	FM364	249.4cc	74mm×58mm	'87.7.8
FANTIC TRIAL 125	FM361	124.4cc	55.2mm×52mm	'88.1.6

●株式会社モーターズ

DUCATI	ZDM750R	748cc	88mm×61.5mm	'86.7.9
DUCATI	ZDM750M	748cc	88mm×61.5mm	'86.7.9
DUCATI	ZDM400R	398cc	70.5mm×51mm	'86.7.9
DUCAT-750S		748cc	88mm×61.5mm	'88.10.13
DUCAT-851SI		851cc	92mm×64mm	'88.10.13

●株式会社

BETATR-34	BETAB-3	239.2cc	72.8mm×57.5mm	'87.2.10
-----------	---------	---------	---------------	----------

FIM TTフォーミュラー公認車両

	本田技研工業株式会社	ヤマハ発動機株式会社	鈴木自動車工業株式会社	川崎重工業株式会社
FORMULA 1	CB650(RC03) CBX650C,VFR750F, CB750F2,CB750K CB750F2(RC04) NV750C,VF750F, VF750S,CB750F, XL750,VFR750, CBR600F,CBR750,	IT425,XJ650 RD500L,CXS650SP, XJ700X,XJ750, XJ750X,XV750, XS750E,XS850, RD400E,FZ750, SRX600,FZ700, FZ750,FZR750,	PE400,GR650, GS850EZ,GS850GZ, GS750,GSX-R750, GSX750E,GSX750EX, GSX750SZ,RG600R, RG400R,GSX-R750R,	KZ650,KZ750, KZ750V,KZ750 (Z2) ZX750A,GPZ750R, VN750,ZX750F (GPX750R)
FORMULA 2	CX500,VT500, XL500R,XR500R, FT500,CB550F2, CBX550F2,XL600R, VF500F,CBR600F, TRANSALP600V,	RD350(RZ350) XT500,SR500, XJ550,XJ600, XT550,XV500, XT600Z,XZ550, RD350J1KRZR, SRX600,TT600, FZ600,	DR500SZ,GS500E, GS550E,GS550M, GSX550E,	KZ500,KZ550, KZ550-L,GPZ800R,
FORMULA 3	CB400N,CB400F1, CBX400F,CBR400F, MVX250F,NS250R, MTX200R,XR350R, XL400R,VF400F, NSR250R,VFR400R, CBR400R,VFR400R (PRO ARM)	RD250(RZ250), XT350,XJ400, DT200,XS400, FZ400R,RD250 (31L)RZR, SR400,FZ400N,XT400, XJ400ZS,XZ400, FZR400,TZR250,	GSX400F,GSX400E, DR400S,GN400L, RG250W(RG250TT), GSX400WR,	KZ400,KZ400M, GPZ400F,GPZ400R, KR250A,
ET	CBR250R	TZR125		

MFJ公認ヘルメット

'83~'84公認ヘルメット(ロードレース特選)

簡アライヘルメット	XJ040 RZR RZ035 高橋国光 X-75 AVANTI スベンサーレプリカ クローノレプリカ スーパーバードフィン8 K-700 FA-200 シングルトン レプリカ VENT ASTRO SL-80 松本恵二 CLCRX-7	簡アライヘルメット	RACER REPLICAS SUPER VENT RAPIDE RACING VENT
		認定化工機	RF-KATAYAMA TASK-1 TASK-3 TASK-5 W-GARDNER V-II ARMET ER-II GR-Z ER-7 RF-102 RF-101 RF-VOGUE RF-GARDNER

公認ヘルメット

会社名	名称	取得規格	形状	公認月日
認定化工機	PS-J15	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'85.5.20
	PS-J46	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'85.5.20
	PS-J47	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'85.5.20
	PS-J48	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'85.5.20
	RF-V KATAYAMA II	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェイス	'85.6.10
	PS-R81	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェイス	'85.6.10
	PS-R82	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェイス	'85.6.10
	PS-R86	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェイス	'85.6.10
	VT-1	JIS-C・モトクロス用	フルフェイス	'85.6.10
	PS-J50	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'85.8.28
	VX-1	JIS-C・モトクロス用	フルフェイス	'85.8.28
	VX-2	JIS-C・モトクロス用	フルフェイス	'85.11.22
	PS-L52	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'85.11.22
	PS-L53	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'85.11.22
	GX-1	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェイス	'86.3.26
	PS-J48	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'86.4.28
	PS-J20	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'86.4.28
	PS-J51	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'86.4.28
	PS-J52	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'86.4.28

会 社 名	名 称	取 得 規 格	形 状	公 報 日
昭栄化工株	PS-R20	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.4.28
	RF-a	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.4.28
	TR-2	JIS-B・トライアル用	ジェット	'86.7.2
	VJ-1	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'86.8.5
	RF-REAL	SNELL JIS-C・ロードレース特選	ジェット	'86.10.13
	R-76	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.11.23
	R-77	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.11.23
	R-78	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.11.23
	R-79	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.11.23
	RF-VESTA	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'86.11.23
	1F-SARRON	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'87.3.4
	VJ-201	JIS-C・ツーリング用	フルフェース	'87.3.31
	TJ-72	JIS-C・ツーリング用	ジェット	'87.6.31
	GX-2	SNELL JIS-C・ロードレース特選	ジェット	'87.6.5
	GX-2(FAVOR)	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'87.6.5
	RFV-TASK5	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.1.6
	RFV-VESTA	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.1.6
	GRV	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.1.6
	RFV-VOGUE	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.1.6
	RF-TRITONE	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.1.6
	RFV-DEGREE	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.1.6
	REV-VOGUE	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	REV-DEGREE	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	REV-TASK5	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	REV-VESTA	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	GRV-ROBERTS	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	GRV	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	GRV-LAWSON	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
	GRV-GARDNER	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェース	'88.7.5
興光繊維モーターズ	KVAS(KVL-KEVLAR)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.4.18
	KVAS(TV-FIBER)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.4.18
	KVAS(CROSS)	JIS-C・モトクロス用	フルフェース	'85.4.18
	MDS(M84)	JIS-C・モトクロス用	フルフェース	'85.3.28
	MDS(M90)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.3.28
	AGV(X70)	JIS-C・ロードレース・モトクロス用	ジェット	'85.3.28
	MDS(M81)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.3.28
	AGV(X300/83)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.3.28
	MDS(M83)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.3.28
	AGV(KR2000)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'88.1.30
ワールド通商株	ボルシェ・デザイン(CP-4)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.2.25
	KIW(K-16)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.7.2
	KIW(K-20)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'88.1.6
	ANSWER		フルフェース	'88.8.3
興コミネオートセンター	KF-RX	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.6.10
	KF-RX	SNELL・ロードレース特選	フルフェース	'85.10.8
	KF-RV	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.3.26
	KF-RC	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.9.9
	ANSWER	SNELL JIS-C・モトクロス用	フルフェース	'86.9.9
興隆東	NOLAN N42	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'85.2.28
	NOLAN N25	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.5.6
	NOLAN N35 AIR	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'88.5.13
日栄プラスチック株	DIC(TY-1)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.4.30
	DIC(IDF-1)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.1.9
	DIC(IDF-2)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.3.31
	DIC(GP'87)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.7.7
	DIC(K)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.9.4
	DIC(AR)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.9.4
	DIC(ZIO)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.11.4
	SUZUKI(ONE) S50C		フルフェース	'88.1.18
	SUZUKI(ONE) S50C		フルフェース	'88.1.18
興和精機株	GRIFFIN(G100TD)	JIS-B・トライアル・ツーリング用	ジェット	'86.10.23
	GRIFFIN(GS-520)	JIS-B・ツーリング用	フルフェース	'86.10.23
	GRIFFIN(GX-707)	JIS-B・ツーリング用	フルフェース	'86.10.23
	GRIFFIN(GS530)	JIS-B・ツーリング用	フルフェース	'86.11.23
	GRIFFIN(GX707)	JIS-C・モトクロス用	フルフェース	'87.3.4
	GRIFFIN(GS530)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.3.4
東京シート株	AMI(L05)	JIS-B・トライアル・ツーリング用	ジェット	'86.7.2
	R91	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'86.7.2
	AMI(L-06)	JIS-B・トライアル・ツーリング用	ジェット	'87.10.7
	AMI(L-07)	JIS-B・トライアル・ツーリング用	ジェット	'87.10.7
	AMI(L-08)	JIS-B・トライアル・ツーリング用	ジェット	'87.10.7
	RHEOS(R-21)	JIS-C・ロードレース用	フルフェース	'87.10.7

会 社 名	名 称	取 得 規 格	形 状	公 報 月 日
東京シート製	RHEOS(R-82)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.10.7
	RHEOS(R-83)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.10.7
	RHEOS(R-84)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.10.7
	RHEOS(R-85)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.10.7
	RHEOS(R-86)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.10.7
	RHEOS(R-87)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.10.7
	SEED(J-23)	JIS-B・トライアル・ツーリング用	ジェット	'87.10.7
	Ami		ジェット	'88.1.18
	SEED-R22		フルフェイス	'88.1.18
	SEED-R23		フルフェイス	'88.1.18
	Rheos R88		フルフェイス	'88.1.18
	Rheos R89		フルフェイス	'88.1.18
	Rheos		フルフェイス	'88.7.5
朝谷尾商会	NAVA 3A/C	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.4.28
	NAVA-8	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.7.7
朝ヤナセ	FJ(FJ-01)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.5.28
	FJ(FJ-02)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.4.28
クノエ工業㈱	F-J(FJ-II・インテグラ)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.7.7
	EF-2	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'88.8.5
	DELTA	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'88.8.5
	ANGLE	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'88.8.5
	LYNX	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'88.8.5
	SETA(045)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.3.4
	VS-2	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.3.28
ユニコ㈱	NEF(VS-2)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.12.15
	NEF-R02		フルフェイス	'88.6.10
			フルフェイス	'88.1.30
ヤマハ大船渡製作所	GEORAMA-TS	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.2.24
	GEORAMA-RS	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.2.24
	FE-X	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.2.24
	OE	JIS-C・モトクロス用	フルフェイス	'88.2.24
	GEORAMA-GFV		フルフェイス	'88.3.15
ジャーティン・マセソン㈱	GPA(G1)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'85.1.29
	GPA(G2)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'85.1.29
	GPA(G4)	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'85.1.29
	GPA(F1)	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'85.3.28
	GPA(C1)	JIS-C・モトクロス用	フルフェイス	'85.3.28
	GPA(E1)	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'85.4.18
マルシン工業㈱	VT-910	SNELL JIS-C・ロードレース特選	フルフェイス	'85.9.18
	VT-810	SNELL JIS-C・モトクロス用	ジェット	'85.9.18
朝レイズ	クラウター(JET-1)	JIS-C・モトクロス・トライアル用	ジェット	'85.9.18
朝ジャ/コンプロダクト	R120N R2-1	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'88.7.2
朝旺文社インターナショナル	NAVA	JIS-C・トライアル用	セミジェット	'88.7.26
朝アール・エス・タイチ	JT(ALS-1)	JIS-C・モトクロス用	ジェット	'87.9.4
	JT(ALS-2)	JIS-C・モトクロス用	フルフェイス	'87.9.4
朝ローヤル	ファンティックモーター	JIS-B・ツーリング用	ジェット	'85.2.25
朝立花自動車部品	アクセル・フレード	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'85.7.15
朝大都	BELL(MAG-4)	SNELL JIS-C・モトクロス用	ジェット	'88.9.30
朝丸万茂又	MAC	JIS-C・ロードレース用	フルフェイス	'87.8.5

MFJ公認部品

会 社 名	部 品 名	型 式	通 用 車 種	公 報 月 日
東京汎機製作所	2サイクル/E用キャブレター-ASSY2	PJRR34	ロードレース用	'85.12.15
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	PJRR36	ロードレース用	'85.12.15
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	PJRR38	ロードレース用	'85.12.15
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	PJMX34	モトクロス用	'85.12.15
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	PJMX36	モトクロス用	'85.12.15
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	PJMX38	モトクロス用	'85.12.15
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	CRS36	ロードレース・モトクロス用	'85.8.28
	2サイクル/E用キャブレター-ASSY	CRS38	ロードレース・モトクロス用	'85.8.28
	無限86ME125エンジン/パワーアップキット	YA1	モトクロス用	'85.11.28
	無限SHOWA87ME125ワークスフォークパーツ	YA1	'87CR125RH	'88.12.15
朝 無 限	無限SHOWA87ME125スペシャルノックション	YA1	'87CR125RH	'88.12.15
	無限SHOWA87ME250ワークスフォークパーツ	YA2	'87CR250RH	'88.12.15

会 社 名	部 品 名	型 式	適 用 車 種	公 定 月 日
無 限 公 司	無限'86ME125フロントフォークASSY	YA1	'86CR125RG	'86.1.30
	無限'86ME125スペシャルリヤクッション	YA1	'86CR125RG	'86.1.30
	無限'86MEスペシャルリヤクッション	YA2	'86CR250RG	'86.1.30
	無限'86ME250ワークスフォークパーツ	YA2	'86CR50RG	'86.1.30
	ME125Wエンジン/パワーアップキット	YA1	CR125RH	'87.3.4
	ME125エンジン/パワーアップキット	YA1	CR125RJ	'87.12.9
	ME125フロントフォークキット	YA1	CR125RJ	'87.12.9
	ME125リヤクッション	YA1	CR125RJ	'87.12.9
	ME250フロントフォークキット	YA2	CR250RJ	'87.12.9
	ME250リヤクッション	YA2	CR250RJ	'87.12.9
朝ホンダレーシング	NS250R用6速ミッションキット	NE8	NS250R	'85.3.28
	CBR400F用6速ミッションキット	NE5	CBR400F	'85.2.25
	VF400F用6速ミッションキット	NE4	VF400F	'85.2.25
	RS125R-V用キャブレターASSY	PJ12A	RS125R-V	'85.2.25
	トランスミッションセット	NF2	VFR400R/Z	'86.3.26
	トランスミッションセット	NF8	CBR400R	'86.7.9
	トランスミッション	NH3	NSR250R	'86.10.30
	トランスミッションセット	NFZ	VFR400R/2	'87.5.6
	2.4サイクルE/G用キャブレターASSY			'88.3.15
トランスミッションセット			'88.2.9	
カヤハ工業㈱	リヤショックユニット	OG-T	ロードレース用	'85.11.28
	リヤショックユニット	OGS-T	ロードレース用	'85.11.28
	NSR250用リヤショック		NSR250	'88.1.6
RC, SUGO	TZR250用6速クロスミッションキット	1KT	TZR250	'85.10.27
	FZ750クロスミッションキット	1FM-M	FZ750	'85.3.28
	FZR400用クロスミッションキット	1WG	FZR400	'86.4.28
	TZR250用クロスミッションキット	1KT	TZR250	'86.10.13
	SRX400クロスミッション	2NY	SRX400	'87.3.31
	'87TZR250クロスミッション	1KT	'87TZR250	'87.3.31
	SRX600クロスミッション	2NX	SRX600	'87.3.31
	H-Hシリンドー	49VHH	TZ250('81~'84)	'85.2.25
朝カロッツェリアジャパン	オーリス・ガスショックアブソーバー	YA7100	TZR250	'88.1.6
	オーリス・ガスショックアブソーバー	DM7430	TZR250	'88.1.6
	オーリス・ガスショックアブソーバー	BM4412	K5 K5B Y25 SR CR5 SR X5 SR	'88.1.6
朝スポーツショップアイシイ	TZR250レース用リヤショックASSY	YC-1006	TZR250	'87.9.4
	SDRリヤショックASSY			'88.2.9
川崎重工業㈱	KX125フロントフォークカートリッジキット	KX125-FC	KX125	'87.3.31
	KX250フロントフォークカートリッジキット	KX250-FC	KX250	'87.3.31
カワサキオートバイ販売㈱	GPZ400R用フロントフォークキット	ZX-R1	GPZ400R	'86.7.9
	ZX-4用6速クロスミッションセット			'88.2.9
	KR-1用6速クロスミッションセット			'88.2.9
ヨシムラジャパン㈱	GSX-R400用クロスミッション	YC86	GSX-R400	'86.4.28
	クロスレシオトランスミッション	ZX400-D1	GPZ400R	'85.3.28
朝日本ビート工業	KP250用6速クロスミッションセット	KR250AEM	KP250	'85.3.28
朝カワサキモーターサービス	GPZ400R用6速クロスミッションセット	ZX400DEM	GPZ400R	'85.3.28

MFJ公認タイヤ

会 社 名	タ イ ヤ 名	サ イ ズ	公 開 年 月
井上ゴム工業㈱	TRIAL WINNER	4.00R18 TR-7 RADIAL	'86.3.26
	TRIAL WINNER TR-9	4.00R18(RADIAL)	'87.7.8
日本ミシュランタイヤ㈱	MICHELIN TRIAL COMPETITION×1 TL	4.00R18 TL	'87.7.8
㈱日本ダンロップ	K320	2.75-21 4P.R.	'86.11.23
	K320	4.00R18 4P.R.	'86.11.23

MFJ主催ビッグイベント及び全日本スノーモビル選手権シリーズ・開催日・開催クラス・出場申込み先

●第2回MFJミニバイク・グランプリ大会

▶開催日：8月20日（日）

▶開催場所：三重県鈴鹿サーキット

▶開催クラス：●N5クラス（スクーター50ccノーマル・車種オープン）

●S5クラス（スポーツバイク50cc・ノーマル・車種オープン）

●S5・NSR50クラス（ホンダNSR50・ノーマル）

●S5・YSR50クラス（ヤマハYSR50・ノーマル）

●S5・GAG50クラス（スズキGAG50・ノーマル）

●S5・KS-1クラス（カワサキKS-1・ノーマル）

▶参加資格：ライダーは各都府県モーターサイクルスポーツ協会の選抜とし、MFJライセンス、KIDSライセンス、ビートルライセンス（免許証所持者）、Bロードライセンス、又はノービスライセンスのいずれかを受けている者。

▶参加定員：各県より選抜される人数は、各クラス最高2名迄、合計12名迄とする。

▶出場申込み期限：選抜された当該県協会宛に7月1日（出）～7月10日（用）迄とする。

※その他競技会に関する規則の詳細は、ライディング等で掲載致します。

●第2回トライアル・ジュニア・グランプリ大会

▶開催日：11月19日（日）

▶開催場所：愛知県キョウセイ交通大学

▶開催クラス：ジュニアクラス
KIDSクラス

▶参加資格：ジュニアクラスはMFJトライアルジュニアライセンス所持者で9月31日迄に各地方選手権で1ポイント以上取得した者。
KIDSクラスはMFJトライアルKIDSライセンス、Lライセンスいずれかを取得している者でフリーエントリーとする。

▶出場申込み先：日本モーターサイクル協会

〒103 東京都中央区東日本橋2-16

1-7 第2オカノビル7F

☎03-865-8448

▶出場申込み期限：10月11日（火）～10月20日（木）
消印有効

●'89ジャパンカップツインショックトライアル選手権シリーズ（承認）

第1戦 3月26日 中部（愛知県・妙楽寺トライアル場） 名古屋トライアルクラブNTC

第2戦 4月23日 中国（未定） 備後トライアルクラブ

第3戦 6月25日 関東（山梨県・道志の森） ハザードブレイカーズ

第4戦 8月13日 近畿（京都府・亀岡トライアルランド） クラシックトライアラーオーナーズクラブ

第5戦 10月1日 東北（宮城県・スポーツランドSUGO） Team 宮トラ & ホルスタイン泉

第6戦 11月26日 中部（静岡県・滝の白糸） R-139



大会名				1989年全日本スノーモビル選手権シリーズ							
				第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	第6戦	第7戦	
開催日				1月29日	2月5日	2月12日	2月19日	2月26日	3月5日	3月12日	
会場				長野県・斑尾	北海道・士別	福島県・高森	北海道・美瑛	青森県・岩木山麓	北海道・知床	新潟県・津南	
主催者				長野県モーターサイクルスポーツ協会	MFJ北海道プロック協議会	福島県モーターサイクルスポーツ協会	MFJ北海道プロック協議会	青森県モーターサイクルスポーツ協会	MFJ北海道プロック協議会	東京都モーターサイクルスポーツ協会	
申込先				ヤマハ東京㈱ 長野(営) 0262-41-4186	北海道ヤマハ㈱ 011-612-1060	フジモーターズ 0245-63-5522	北海道ヤマハ㈱ 011-612-1060	ヤマハ東北㈱ 青森営業所 0177-39-8081	北海道ヤマハ㈱ 011-612-1060	YSP京葉 03-656-5485	
格式	部門	ライセンス	クラス								
全日本	モタiffライ	スライゼン	オープン	○	○	○	○	○	○	○	
			540cc	○	○	○	○	○	○	○	
			340cc	○	○	○	○	○	○	○	
地方大会	モタiffライ	スノーモビルKIDSライセンス	オープン	○	○					○	
			540cc	○	○						○
			340cc	○	○						○
大会併催	スポーツ	ライセンス	オープン	○						○	
			540cc	○	○		○		○		
			340cc	○	○		○		○		○
種別	フレッシュマン	レディーズ・ジュニア	オープン								
			540cc	○	○	○	○	○	○	○	○
			340cc	○		○		○		○	○
種別	フレッシュマン	レディーズ・ジュニア	OBレース							○	

申し込み先住所
 ヤマハ東京㈱ 長野 平380 長野市三輪1-1-18 TEL 0262-41-4186
 北海道ヤマハ㈱ 平063 札幌市西区夢似1条6-238-2 第一生命ビル TEL 011-612-1060

ヤマハ東北㈱ 青森 平030-01 青森市大字ハツ役上林78-55 TEL 0177-39-8081
 フジモーターズ 平980 福島市土船字蔵立27-6 TEL 0245-63-5522
 YSP 京葉 平132 東京都江戸川区一之江2-287 TEL 03-656-5485

MFJ共済会制度

種 目	MFJ共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払条件		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払い額	
ロ ー ド レ ース	3,500円	MFJ共済会見舞金 700万円	MFJ共済会見舞金 ①通院実日数(ギブス等の固 定期間及び通勤、通学、就 業が不可能として診断さ れた日数含む)×1,000円 ②入院実日数×1,500円 ③診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診 断書 (様式10) (死亡、後遺症の場合は MFJが指定する他の書 類が必要となります。)
スポーツプロダクション ロ ー ド レ ース (50・80ccのロードレース) (ノーマル車レース含む)				
公認サーキットにおける シングル・ツイン・クラシックレース	2,000円	MFJ共済会見舞金 600万円	MFJ共済会見舞金 ①通院実日数(ギブス等の固 定期間及び通勤、通学、就 業が不可能として診断さ れた日数含む)×1,000円 ②入院実日数×1,500円 ③診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診 断書 (様式10) (死亡、後遺症の場合は MFJが指定する他の書 類が必要となります。)
モ ト ク ロ ス (125cc以上)	1,000円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
ト ラ イ ア ル	200円			
ミニバイクレース (カートコースまたはこれに準ずる コースにおいて総排気量80cc以下 で行なわれるもの)	500円			
エ ン デ ュ ー ロ	500円			
ジ ム カ ー ナ ー	500円			
ス ノ ー モ ビ ル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含)	200円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル審判員講習会	200円			
種 目	MFJ共済会掛金 (1名1年間)	見舞金支払条件		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払い額	
ビ ッ ト ク ル ー	500円 (ライセンス料に含まれる)	MFJ共済会見舞金 600万円	MFJ共済会見舞金 ①通院実日数(ギブス等の固 定期間及び通勤、通学、就 業が不可能として診断さ れた日数含む)×1,000円 ②入院実日数×1,500円 ③診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診 断書 (様式10) (死亡、後遺症の場合は MFJが指定する他の書 類が必要となります。)
競 技 役 員				
講 師				

☆見舞金の支払われる期間は受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数となります。

☆見舞金の請求期限は受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は公認又は承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行なわれた競技中、又は公式練習中に発生した事故とする。(※サーキットが行なう特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)

☆四大大会で二種目以上出場する場合は掛金の高い種目が適用されます。

☆上記共済会は治療費が支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けて下さい。

共済会見舞金請求の手続きは……

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

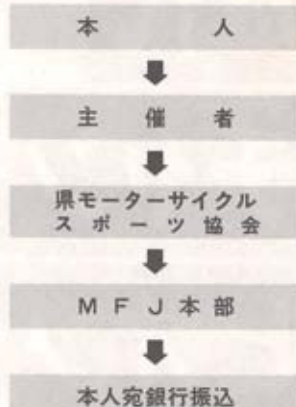


2. 大会主催者からMFJ共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ共済会見舞金請求書(様式9)と診断書書式(様式10)を請求して下さい。

3. 請求先は主催事務局です。

請求書中の必要な事項を自分で記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼して下さい。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヵ月以内に指定口座に振り込まれます。



ライセンス自動付帯搭乗者傷害見舞金

対象者	見舞金の対象事故	見舞金額	請求のために必要な書類
すべてのMFJライセンス所持者	MFJライセンス保持者本人が自家用自動車、自動二輪、原付を運転中または搭乗中に被った損害	死亡…120万円 後遺症…120万円 3.6万円	大正海上火災保険が指定する書類



歴代

チャン

ピオン

'88年度全日本選手権シリーズチャンピオン〈国際A級〉



♥ロードレース
藤原徹彦 (500cc)



♥ロードレース
本間利彦 (250cc)



♥ロードレース
廣瀬政幸 (125cc)



♥ロードレース
宮崎祥司 (TT-F1)



♥ロードレース
塩森俊伸 (TT-F3)



♥モトクロス
東福寺保雄 (250cc)



♥モトクロス
岡部篤史 (125cc)



♥トライアル
伊藤敦志

※歴代チャンピオンリストは、1968年度からのものです。なお、トライアルは74年以降からです。

ROAD RACE

●ロードレース部門('68~'88年)



年	部 門	クラス	氏 名	年	部 門	クラス	氏 名	年	部 門	クラス	氏 名
'68	アマチュア	90cc	角谷 新二	'69	セ ニ ア	251cc以上	隅谷 守男	'71	エキスパート ジュニア	250cc	中尾 康夫
		125cc	鈴木 聖弘			90cc	岩道 博			251cc以上	坂 眞男
		250cc	大脇 俊夫			125cc	柴谷 正昭			90cc	金谷 秀夫
		251cc以上	中山 仁			250cc	小塚 法正			125cc	杉本 泉
	ジュニア	90cc	酒井 奎吾	'70	ジュニア	251cc以上	鍋田 正明			250cc	大脇 俊夫
		125cc	森井 一夫			90cc	江崎 正	ノービス	ノービス	251cc以上	金谷 秀夫
'69	セ ニ ア	250cc	谷口 茂夫			125cc	青山 英二			90cc	菅原 伸夫
		251cc以上	菱木 哲哉			250cc	糟野 雅治			125cc	坂 公平
		90cc	神谷 良明		セ ニ ア	251cc以上	只野 光男			250cc	上野 真一
		125cc	馬場 忠雄			90cc	近藤 英二	ジュニア	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
	アマチュア	250cc	和田 正宏			125cc	小田 量			90cc	毛利 良一
		251cc以上	松永 喬			250cc	大脇 俊夫			125cc	大本 公平
'71	アマチュア	90cc	野田 正彦	'72	ノービス	251cc以上	河崎 裕之			250cc	大本 公平
		125cc	斎藤 茂憲			90cc	平井 裕	エキスパート ジュニア	エキスパート ジュニア	251cc以上	片山 敬清
		250cc	中尾 康夫			125cc	上田 公次			125cc	渡辺 富士夫
		251cc以上	数井 隆			250cc	大橋 富夫			250cc	隅部 孝夫
	ジュニア	90cc	角谷 新二	'73	ジュニア	251cc以上	松谷 光明			251cc以上	内田 隆
		125cc	高井幾次郎			90cc	渡辺 富士夫	セ ニ ア	セ ニ ア	125cc	小田 量
'72	セ ニ ア	250cc	尾崎 俊彦			125cc	青木 辰己			251cc以上	小田 量
		251cc以上	里村 祥二			250cc	内田 隆			90cc	杉野 順三
		90cc	小田 量		エキスパート ジュニア	251cc以上	加藤 昇平			125cc	松山 守
		125cc	隅谷 守男			90cc	江崎 正			250cc	橋本久仁啓
	アマチュア	250cc	金谷 秀夫			125cc	遠藤 恒雄				

年	部 門	ク ラ ス	氏 名	年	部 門	ク ラ ス	氏 名	年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'73	ジュニア	900cc	新田 茂平	'77	エキスパート	3500cc	鈴木 修	'83	国際 A 級	1250cc	栗谷 二郎
		1250cc	坂 公平			7500cc	毛利 良一			2500cc	齊藤 光雄
		2500cc	山崎 達衛			2500cc	上田 幸也			5000cc	平 忠彦
		3500cc	佐藤 順道			2500cc	長谷川 嘉久			1250cc	齊藤 兼一
	エキスパート	1250cc	毛利 良一		ジュニア	1250cc	伊藤 裕之		ノービス	1250cc	山田 浩史
		7500cc	片山 敬清			2500cc	伊藤 巧			2500cc	塩森 俊修
		1250cc	角谷 新二			3500cc	藤本 泰東			1250cc	宮城 光
		7500cc	榎本 健			1250cc	上田 公次			1250cc	宮城 光
	ノービス	900cc	岡崎 隆史		エキスパート	1250cc	上田 公次	'84	国際 B 級	1250cc	清水 雅広
		1250cc	佐藤 健正			2500cc	上田 公次			2500cc	田村 圭二
		2500cc	酒井 克			3500cc	石川 岩夫			2500cc	八代 俊二
		2500cc	合津 悟志			7500cc	上野 真一			2500cc	江崎 正
	ジュニア	900cc	石井 康夫		ノービス	1250cc	富田 英志		国際 A 級	1250cc	栗谷 二郎
		1250cc	康夫 康夫			2500cc	齊藤 光雄			2500cc	小林 大忠彦
		2500cc	橋本久仁啓			1250cc	吉村 俊宏			5000cc	平 忠彦
		3500cc	鈴木 修			2500cc	阿部 三吉			1250cc	持田 利明
	エキスパート	1250cc	岩道 博		ジュニア	3500cc	阿部 三吉		国際 B 級	1250cc	太田 浩一
		7500cc	坂本 裕介			3500cc	平 忠彦			2500cc	井上 賢博
		1250cc	青木 辰己			1250cc	齊藤 三夫			2500cc	塩森 俊修
		7500cc	高井幾太郎			3500cc	木下 恵司			2500cc	聡 陽一
	アマチュア	900cc	片橋 英治		ノービス	1250cc	五百部徳雄		国際 A 級	1250cc	山本 陽一
		1250cc	東金 勇男			2500cc	窪田 正二			2500cc	山本 陽一
		2500cc	橋谷 俊彦			1250cc	山本 陽一			2500cc	山本 陽一
		2500cc	田口 勝雄			3500cc	堀内 清孝			5000cc	小林 大忠彦
	ジュニア	900cc	山梨 保克		ジュニア	1250cc	田中 光男		ジュニア	1250cc	町井 邦生
		1250cc	酒井 克			1250cc	一瀬 憲明			1250cc	藤沢 哲也
		2500cc	大島 孝治			3500cc	平 忠彦			2500cc	町井 邦生
		3500cc	相沢 清			1250cc	荒木 利春			1250cc	山本 陽一
	エキスパート	1250cc	石井 康男		国際 A 級	3500cc	鈴木 修		国際 A 級	1250cc	吉田 健一
		7500cc	江崎 正			7500cc	中山 博文			2500cc	吉田 健一
		7500cc	浅見 貞男			1250cc	竹村 浩生			2500cc	片山 信二
		7500cc	牧野 栄			2500cc	七尾 道夫			5000cc	木下 恵司
	ノービス	900cc	川上 浩		国際 B 級	2500cc	新井 亮一		ジュニア	1250cc	新垣 敏之
		1250cc	木下 恵司			3500cc	一瀬 憲明			1250cc	佐藤聡一郎
		2500cc	東金 勇男			5000cc	藤本 泰東			2500cc	嶋村 健太
		2500cc	水谷 勝			1250cc	藤田 雅樹			1250cc	田口 益充
	ジュニア	1250cc	太田 一博		国際 A 級	2500cc	三浦 昇		国際 A 級	1250cc	大島 行弥
		2500cc	飯田 浩之			1250cc	荒木 利春			2500cc	清水 雅広
		2500cc	毛利 良一			2500cc	小林 大			5000cc	藤原 慎彦
		3500cc	佐藤 順道			1250cc	一瀬 憲明			1250cc	白井 直樹
	エキスパート	1250cc	高井幾太郎		国際 B 級	2500cc	堀田 照男		ジュニア	1250cc	原田 哲也
		7500cc	鈴木 利彦			5000cc	水谷 勝			2500cc	永井 康友
		7500cc	佐藤 裕文			1250cc	宮城 健一			2500cc	塩森 俊伸
		7500cc	藤本 泰東			2500cc	宮城 光			1250cc	宮崎 祥司
	ノービス	900cc	利彦 裕文		国際 A 級	5000cc	宮城 光		国際 A 級	1250cc	宮崎 政幸
		1250cc	藤本 泰東			5000cc	宮城 健一			2500cc	本間 利彦
		2500cc	川上 浩			1250cc	水谷 勝			5000cc	藤原 慎彦
		2500cc	山名 久			2500cc	宮城 光			5000cc	堀 勇
	ジュニア	900cc	徳外 仁久		ノービス	1250cc	宮城 光		国際 A 級	1250cc	堀 勇
		1250cc	平野 芳男			2500cc	宮城 健一			1250cc	堀 勇
		1250cc	飯田 浩之			1250cc	水谷 勝			2500cc	堀 勇
		1250cc	飯田 浩之			2500cc	宮城 光			2500cc	堀 勇

MOTOCROSS

●モトクロス部門('68~'88年)



年	部 門	ク ラ ス	氏 名	年	部 門	ク ラ ス	氏 名	年	部 門	ク ラ ス	氏 名
'68	アマチュア	500cc	堀 勇	ジュニア	ジュニア	2500cc	西 信之	アマチュア	アマチュア	2500cc	岩尾 一敏
		900cc	堀 勇			2510cc以上	ロバート・E・エーモ			500cc	堀 勇
		1250cc	堀 勇			900cc	星野 一義			900cc	堀 勇
		2500cc	山下 和男	セニア	セニア	1250cc	星野 一義	ジュニア	ジュニア	1250cc	堀 勇
'69	ジュニア	2510cc以上	山下 和男			2500cc	山本 陸			2500cc	堀 勇
		500cc	蛭名 博昭			500cc	田中 敏夫	セニア	セニア	900cc	山本 陸
		900cc	蛭名 博昭	アマチュア	アマチュア	900cc	多田 茂次			1250cc	矢島金次郎
		1250cc	西 信之			1250cc	中里 道夫			2500cc	鈴木 忠男

年	部 門	クラス	氏 名	年	部 門	クラス	氏 名	年	部 門	クラス	氏 名
'70	ノービス	5000	一色 薫	'75	ジュニア	9000	北村 隆實	'81	国際 A 級	12500	東福寺保雄
		9000	小田切信雄			12500	青山 金助			25000	福本 敏夫
		12500	平野 芳男			25000	青山 金助			12500	ロン・キング
		25000	青木 雅和			12500	東福寺保雄			25000	馬場 善人
'71	ジュニア	9000	鈴木都良夫	'76	ジュニア	9000	月岡 尚人	'82	国際 B 級	12500	小橋 勝年
		12500	岩尾 一敏			12500	月岡 尚人			25000	小橋 勝年
		25000	岩尾 一敏			25000	横山 隆夫			12500	大関 昌典
		25000	吉村 太一			25000	光安 鉄美			25000	東福寺保雄
'72	ノービス	9000	栗原 和年	'77	ジュニア	9000	渡辺 義己	'83	ジュニア	12500	天田 淳
		12500	栗原 和年			12500	小沢 孝			25000	天田 淳
		25000	斉藤 英夫			25000	福田 正敏			12500	茶谷 淳
		25000	中村 忠			25000	佐藤 健二			25000	茶谷 学
'73	ジュニア	9000	杉浦 雅保	'78	ジュニア	9000	鈴木都良夫	'84	国際 B 級	12500	庄司 寛
		12500	竹沢 正治			12500	竹沢 正治			25000	杉尾 良文
		25000	潮尾 勝彦			25000	渡辺 義己	'85	ジュニア	12500	調所 伸一
		25000	潮尾 勝彦			25000	小沢 孝			25000	小栗 伸
'74	ノービス	9000	矢島金次郎	'79	ジュニア	9000	佐藤 健二	'86	国際 B 級	12500	菅原 義広
		12500	上野 広一			12500	大泉 浩一			25000	鶴田 忍
		25000	藤 秀信			25000	瀬尾 勝彦			12500	東福寺保雄
		25000	藤 秀信			25000	瀬尾 勝彦	'87	ジュニア	12500	スティーブ・マートン
'75	ノービス	9000	小田切信雄	'80	ジュニア	9000	原本 松市			12500	長沼 朝之
		12500	池田 勝			12500	庄司 寛			25000	花田 茂樹
		25000	唐沢栄三郎	'81	ジュニア	9000	佐々木 隆	'88	国際 B 級	12500	田崎 武
		25000	唐沢栄三郎			12500	佐々木 隆			25000	川崎 智之
'76	ノービス	9000	鈴木 秀明			25000	瀬尾 勝彦			12500	岡部 篤史
		12500	鈴木 秀明			25000	光安 鉄美			25000	スティーブ・マートン
		25000	菅家 恵	'82	ジュニア	9000	齊藤 武男	'89	ジュニア	12500	藤本 正勝
		25000	村上 光則			12500	大久保和親			25000	吉田 和泉
'77	ノービス	9000	菅家 恵			25000	堀口 雅史			12500	花田 茂樹
		12500	古田 哲郎	'83	ジュニア	9000	秋元 春夫	'90	ジュニア	12500	花田 茂樹
		12500	古田 哲郎			12500	原口 衛			25000	伊田井佐夫
		25000	古田 哲郎			25000	光安 鉄美			25000	東福寺保雄
'78	ノービス	9000	岸川 清秀	'84	ジュニア	9000	光安 鉄美	'91	ジュニア	12500	岸田 隆夫
		12500	藤 秀信			12500	小野沢良一			25000	機本 慎二
		25000	鈴木都良夫	'85	ジュニア	9000	小野沢良一	'92	ジュニア	12500	吉田 和泉
		25000	鈴木 秀明			12500	谷川龍太郎			25000	石橋 博也
'79	ノービス	9000	谷川 徹二			25000	庄司 寛			12500	岡部 篤史
		12500	光安 鉄美	'86	ジュニア	9000	東福寺保雄	'93	ジュニア	12500	大塚 元和
		25000	渡辺 明			12500	杉尾 良文			25000	大塚 元和
		25000	渡辺 明			25000	平山 勝一			12500	大塚 忠和
'80	ノービス	9000	鈴木 秀明	'87	ジュニア	9000	茶谷 学	'94	ジュニア	12500	大塚 忠和
		12500	鈴木 秀明			12500	岡部 篤史			25000	大塚 忠和
		25000	鈴木 秀明			25000	岡部 篤史			12500	岡部 篤史
		25000	鈴木 秀明			25000	岡部 篤史			25000	東福寺保雄

TRIAL

●トライアル部門('74~'88年)



年	部 門	氏 名	年	部 門	氏 名	年	部 門	氏 名
'74	ノービス	伊吹 健次	'79	ジュニア	佐藤 雄一	'84	国際 B 級	米山 満昌也
'75	ジュニア	近藤 博志	'80	国際 A 級	近藤 博志	'85	国際 B 級	泉山 裕明也
'76	ジュニア	鎌 秀男	'81	国際 A 級	木 一美保	'86	国際 B 級	山本 昌也
'77	ジュニア	加藤 文博	'82	国際 A 級	丸山 鳳保	'87	国際 B 級	小林 直樹也
'78	ジュニア	町田 晴一	'83	国際 A 級	石原 正美	'88	国際 B 級	小山 本昌也
	エキスパート	黒山 男郎		国際 A 級	高田 雅孝		国際 A 級	小谷 敬志
	ジュニア	山本 昌也		国際 A 級	山本 昌也		国際 B 級	伊藤 敦志
	エキスパート	近藤 博志		国際 B 級	和田 弘行		国際 B 級	成田 匠
	ジュニア	山田 民雄		国際 A 級	山本 昌也		国際 A 級	伊藤 敦志
	エキスパート	近藤 博志		国際 A 級			国際 A 級	



飛び出せ、 北は爽快。



04-285 スパジオSG-001 ウインター ■PRICE: 9,800YEN
■SIZE: M, L ■COLOR: BK, W/R/BK, W/BL/LB, W/GM/BK
■MATERIAL: 牛革 ケブラー使用 [立体裁断]



04-287 スパジオ SG-003 ウインター ■PRICE: 9,800YEN
■SIZE: M, L ■COLOR: BK/R, W/BL, W/R
■MATERIAL: 牛革, ケブラー使用

04-289 XG-289 ウインター
■SIZE: M, L
■COLOR: BK
■MATERIAL: 牛革
■PRICE: 6,800YEN



04-270 ウインターベフ
■SIZE: M, L
■COLOR: BK, NB
■PRICE: 11,000YEN
■MATERIAL: 牛革
IN: ポリプロピレン
ウォームパッド入り



●ネオブレン・ネックカバー 2,600YEN BK
●ネックカバー・ツイル 2,600YEN BK
●ネックカバー・レザー 4,600YEN BK
●ツーリングマスク 5,800YEN
●ネオブレン・ジェットマスク 2,600YEN BK, BL
●ライダーマスク 2,400YEN(STD)



●GPマスク [ロング]
■COLOR: BK, W, BR, BK/R, R/BK, BG, BL
■MATERIAL: コットン95%
IN: ポリウレタン5%
■PRICE: 2,200YEN
フリーサイズ



A ジェネラルマスク 900YEN 牛革
B レーシングマスク 1,500YEN 牛革 IN: コットン

- | | | | | | |
|---------|----------------|-------|--------------|------|--------------|
| ○K.ポイント | 03(845)0455PC | ○船橋店 | 0477(52)3686 | ○千葉店 | 0472(22)1884 |
| ○大塚支店 | 0727(24)1555PC | ○藤沢店 | 0466(81)2757 | ○小山店 | 0285(23)0566 |
| ○船橋町店 | 03(833)2471PC | ○東松山店 | 0483(23)0535 | ○太田店 | 0276(32)0438 |
| ○練馬店 | 03(904)3147 | ○埼玉店 | 0482(84)2981 | ○高崎店 | 0274(42)3215 |
| ○多摩店 | 0425(51)9623 | ○大宮店 | 0486(52)1431 | | |



Hi-land NEWS

Let's TRY!

ハイレベルの戦い!

1989も西仙台ハイランドが面白い!



'89 ロードレーススケジュール

開催日程及び開催種目

SP-I = 125
SP-II = 250F, 400, 250

大会名称 開催日	クラス	申込期間	SP (公認)				N (公認)			J (公認)			特別Race (公認)		レディス (公認)	
			125	250F	250	400	125	250	F3	125	250	F3	S50	S80	SP-I	SP-II
ハイランド選手権 4月15、16日 ①	3/8~ 3/17	3/8~ 3/17	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○
ハイランド選手権 5月6、7日 ②	3/29~ 4/7	3/29~ 4/7	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○
ハイランド選手権 6月3、4日 ③	5/1~ 5/10	5/1~ 5/10	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○
ハイランド選手権 7月22、23日 ④	6/14~ 6/23	6/14~ 6/23	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○
ハイランド選手権 8月12、13日 ⑤	7/5~ 7/14	7/5~ 7/14	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○

Hi-land全日本 Road Race選手権 9月23、24日	申込期間 8/16~ 8/25	ジュニアクラス				国際Aクラス			
		125	250	F-3		125	250	F-3	
		○ 15 L	○ 15 L	○ 15 L		○ 15 L	○ 20 L	○ 20 L	

大会名称 開催日	申込期間	125	250F	250	400	N125	N250	N-F3	J125	J250	J-F3	S50	S80	SP-I	SP-II
		2 H B&N	2 H N	4 H N&J	4 H N&J			4 H N&J			4 H N&J			○ 8 L	○ 8 L
Hi-land 2H/4H 耐久Road Race大会 10月7、8日	8/30~ 9/8	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハイランド選手権 10月21、22日 ⑥	9/13~ 9/22	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Hi-land Grand National SP Champion 大会 11月25、26	10/18~ 10/27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(●はハイランド選手権シリーズ表彰対象レース)

主催及び参加申込先

主 催 / ハイランドレースウェイクラブ [Hi-RaC]

参加申込先 / 西仙台ハイランドレースウェイ選手権事務局

〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川字早坂山12 TEL.022-395-2120・2123

走行ライセンス講習会

2輪走行ライセンス講習会

- 申込方法 / 前日までに電話にて予約申し込みをして下さい。☎022-395-2120・2123
- 受付時間 / AM8:30~AM9:00
- 講 議 / AM9:00~AM11:30
- 受講資格 / 2輪運転免許所持者でかつ必身共に健全な者
- 走行実技 / PM0:00~PM0:30
- 当日持参するもの / 運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm×2.5cm、無背景、無帽)、筆記用具(万年筆又はボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮つなぎ、ブーツ、2輪車(No付、レーサー共に可)
※20才未満の方については、所定の誓約書に親権者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。
- 開 催 日 / 3月より12月までの間の毎週土・日曜日、及び祝・祭日
※但し、レース開催日などの特別催事がある場合は行ないません。
- 費 用 / 新規ライセンス発給料20,000円・共済費5,000円(最高300万円共済保険付)合計25,000円
次回更新料10,000円+5,000円(共済費)合計15,000円 ※取得日より1ヶ年有効
- 場 所 / 西仙台ハイランドレースウェイ

Hi-land Raceway

TAKAI RACING TECHNOLOGY 1

1.3mmの選択。



PRO SHOP TAKAI

TAKAI RACING TECHNOLOGY 2

8mmの独想。



PRO SHOP TAKAI

TAKAI RACING TECHNOLOGY 3

矛盾への挑戦。



PRO SHOP TAKAI

TAKAI RACING TECHNOLOGY

日常において私たちが使う皮製品は、ある程度重みがあり、皮に含まれるオイル成分も多く、表面のツヤもマットなものの方が、しっとりとした高級感があるとされている。女性たちのセクシーな体を包む、最近のレザーファッションもそういった傾向だ。しかし、ハードな男たちの戦場を戦いぬくレーシング・スーツにはそうした公式はまったくあてはまらない。レーシングマシンが究極の軽量化をめざすように、競技用の皮製品は、最大限の安全性と機能性を実現しながら、しかも軽くなければならない。これらの矛盾する条件を両立させるためのタカイの結論。それが1.3mm厚の厳選された牛皮である。オイル成分が少ない皮質とあわせて、通常の皮ツナギの1.4～5mmに比べて約30%もの軽量化を実現している。さらに表面のキメの細かなものにクリアの樹脂を吹き付け、薄くても高い強度を保ち、万一の転倒の際にも路面とのマサツを極力押さえることに成功した。タカイのレーシング・スーツが、一流のレーシング・ライダーたちに愛される理由はまさにここにある。ただ単に質感や、見た目のいかにも安全そうな安心感を追うのではなく、レーシング・マシンの造り方と同じように、最高の機能性＝安全性と動き易さを最少の重量の中に実現しているからなのだ。品質管理においても、厳選された良質の皮の最も強度の高い部分のみを使用していることも、タカイ製品の大きな長特である。キミたちがタカイのレーシング・スーツを選べたら、それは長年にわたって“一流”のレースから得たノウハウと、それをストレートに製品に反映させた“目に見えない一流”を選べることなのだ。

PRO SHOP
TAKAI
株式会社プロショップ品庫
〒451 名古屋西区江向町4-28
TEL.052-531-5551



The Oil Specialist

チャンピオンの選択。

勝つために選ぶ——カストロール



E.ローソン選手 '88世界選手権ロードレース500ccクラス、チャンピオン獲得



スズキ・フランスチーム '88世界選手権耐久レース
チャンピオン獲得



New Formula TTS

2サイクル分岐・
混合両用オイル
SAE: 30
100%化学合成油
標準小売価格
¥1,500/12



2T5

2サイクル分岐・
混合両用オイル
SAE: 30
100%化学合成油
標準小売価格
¥1,300/12



スーパー
スポーツ

2サイクル分岐・
混合両用オイル
SAE: 20
部分合成油
標準小売価格
¥1,300/12



ミニ・バイク

2サイクル分岐・
混合両用オイル
SAE: 20
部分合成油
標準小売価格
¥900/12



A747

2サイクル混合用
レース専用オイル
SAE: 50
化学合成油・植物油
の混合油
標準小売価格
¥4,000/12



R30, 40

2サイクル混合用
レース専用オイル
SAE: 30, 40
植物油
標準小売価格
¥3,000/12



シントロン

4サイクル専用
API: SF/CD
SAE: 15W-50
100%化学合成油
標準小売価格
¥3,600/12



New Formula RS

4サイクル専用
API: SF/CD
SAE: 15W-50
100%化学合成油
標準小売価格
¥2,600/12

Castrol

優れたマシンとそのマシンにかかるライダー達の信頼が、いまここに結実する。——
カストロールオイル、テクノロジーが目を見守る。



GPS

4サイクル専用
API: SF
SAE: 20W-50
部分合成油
標準小売価格
¥1,350/12



GP

4サイクル専用
API: SF
SAE: 10W-40
鉱物油
標準小売価格
¥1,500/12



GTX-7 2輪車用

4サイクル専用
API: SF
SAE: 15W-40
鉱物油
標準小売価格
¥1,050/12

SUPER PERFORMANCE

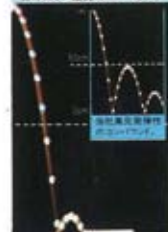
PRO-TECH

NS-10

速さだけを見つめた究極の設計。

およそバイクに乗る人にとって、速さは永遠の魅力をたたえているものです。バイクの原点だと思います。だからIRCは速さだけを見つめて、タイヤを作り出した。プロテックNS-10。はっきり言って過激なタイヤです。耐摩耗性やウェット性能など、速さを追求するうえで障害となる要素には、あえて目をつぶる必要最少限に留めました。その

極みにくい性質のコンパウンド



かわり、そこで犠牲にした分はすべてグリップの追求に注ぎ込みました。これは私達作る側にとっても、ライダー諸兄にとっても夢だったタイヤです。いま目の前にそれがあります。速さの追求。その顕著な例がコンパウンドです。プロテックNS-10は一般市販ロードタイヤでは最も柔かなコンパウンドを採用した。タイプA。硬度60〜64という極端なものの一般タイヤが65前後

後)。またグリップ力を決定する反発弾性も徹底して低くしました。路面にがっちり密着して絶大なグリップ力を発揮します。例えば、右の図版のように極めて弾みにくい材質なのです。ですからアスファルトの細かな凸凹まで包み込み、ガッチリと握って離さないのです。パターンデザインもグリップ追求の顕著な例です。私達の理想はスリックでした。しかし最低限の耐ウェット性能のために、やむを得ずグループを設けたのです。フロントにはストレートとウイングを、

リヤにはブーメラン&アーチェリーカットを…。イメージはロードゴーイングスリックです。しかもこの溝、4mmから6.5mmへと次第に巾広くなる形状です。次なる速さの追求はケーシング構造です。強力な構造体でトレッドをガッチリと支えます。強靱なケーシングに柔かくグリップの良

いトレッドを、これはまさにレーシングタイヤのコンセプトと同じなのです。加えて、操縦性を決定する断面形状もプロテックの名にふさわしいものです。フロントには運動性、リアには安定性を追求する断面形状を採用しました。徹底してスピードのみを追い続けたプロテックNS-10。峠ではもちろんサーキットでも大活躍が期待されます。

しかし、特に公道では、その性能をフルに引き出すテクニックと、速さをコントロールする理性が求められます。それがこのタイヤの味なのです。



トレッド
コンパウンドは反発弾性の写真を見ていただければ一目瞭然。路面に直接当たる部分だけに、デザインの細部まで研究しつくされているのです。

ブレーカー
これもカーカス同様、NS-10には2枚使用されています。路面からの衝撃を収め、トレッドに受けた外傷を深部まで及ぼさない役目をしながら、トレッドとカーカスの剥離を防ぎ、全体の強度を上げるという重要な部分です。

カーカス
NS-10の内部構造はカーカス部に最も特徴があります。極太ナイロンをゴムで被覆した層としたため、強靱な骨格を形成しているのです。配列はもちろんバイアス(斜め)構造。

フィラー
NS-10はこの部分から上のサイドウォール部で乗り心地、クッション性を確保しています。

インナーライナー
チューブと同じ素材を使ったチューブレスタイヤの内層ゴム。空気透過性が少なく、空気漏れを防ぐ役目をしています。

ビードワイヤー
鋼線を束ねてゴム被覆した輪形をした補強部品。高圧空気を充満したタイヤをリムに固定する、タイヤの基本となる部分です。

FRONT
90/90-18 51H
100/90-16 54H
100/80-17 52H

REAR
110/80-18 58H
120/80-17 61H
120/80-18 62H
130/70-18 63H

The Motorsport Spirit
IRC TIRE
アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社
〒454 名古屋市中川区八家町3-28 TEL (052) 361-8661(代)
A DIVISION OF INOAC

私達と私達のタイヤに対する御意見をドシドシお寄せ下さい。私達はそれを大歓迎します。①現在お乗りになっているバイク②使用中のタイヤ(他メーカーでもけっこうです)③タイヤに対する御意見④住所⑤電話番号⑥氏名⑦年令⑧職業を書いて、〒107東京都港区赤坂6-5-36-B1 株式会社 井上ゴム工業株式会社 IRC情報センター RS係まで。



入門クラスとして、SPクラスこそは、いまやこのうえなく重要な意味を持っている。そのためにはまず、ベースマシンのパフォーマンスはよりコンペティティブでなければならない。そのうえで、上級クラスへのステップアップが可能となる。ヨシムラのSP400クラスの開発意図はあくまでも、より楽しいレーシングのため。'88 GSX-R400J SPキット。



ヨシムラ TT-FI



ヨシムラ DuplexレーシングマフラーASSY



レーシングステップKIT



520Fドライブチェーン 520Fリブンスプロケット



ゼッケンプレート リアフェンダー

素敵なレーシングへの誘い。

ヨシムラ

YOSHIMURA®

株ヨシムラ・JAPAN 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748 〒243-03 0462(86)0321

ワインディング・ロードを走ったのに、
見えた風景は、GPシーンだった。
ラジアルの空間。



サーキットからストリートへ、待望の発達。

GPで勝利を独占しつづけるミシュランからストリート・ラジアル、ついにデビュー。

コンペティション・テクノロジーのすべてを傾注。たとえば、後輪用M59X。

世界で唯一、ゼロ・ディグリー・ベルトを採用。約450mmの長さに及ぶわずか1枚の
ジョイントレス・ケブラー[®]・ベルトを、ショルダーからショルダーまでタイヤの回転方向とまったく平行に巻きあげました。

グリップ、操縦性、安定性、乗り心地、耐久性。あらゆる点にすぐれた、真のラジアル。

最新鋭・最強マシンの性能を、最大限に引き出します。まさに2輪革命、モーターサイクルの歴史が変わります。



MICHELIN A59X-M59X

ケブラー[®]は、米国デュポン社「アラミド繊維」の登録商標です。

チャレンジロードを、ともに駆けている。

全日本選手権500ccクラス、2年連続チャンピオン、藤原俊彦。

目標というものは、超えられてしまった瞬間

単なる到達点の意味しかもたないことを知っている。

挑戦し続けることが、

唯一の道に導く道であることも知っている。

この天才の才能と強靱な精神力の持ち主に、幸いあれ。

日本の、そして世界の

チャレンジロードとともに駆ける

GRAND PRIX GENERATION

GRAND PRIX GENERATION

KADOYA

RACING SPIRIT AND CRAFTSMANSHIP

SINCE 1926

株式会社カドヤ 東京都品川区西品川3-25-21 TEL:03(543)2000

きらめき360度、オールメッキタイプ。
かつてないライディングシーンを演出する
全面メッキ。ほお両サイドのテンブルベントで
シールド内の曇り解消など機能も充実。

- カラー：オールメッキ
- スネル規格1985
- JIS規格C種(MFJ公認)
- サイズ：S、M、L、XL
- テンブルベント、ノーズカバー付
- ケブラー®ハイブリットコンボ®構造
- 35,000円(スモークシールド標準装備、
夜間走行にはクリアーシールド
AR-514、3,500円を御使用下さい。)

VT-990TR



モノトーンとメッキのシックな輝き。
白または黒とメッキのマッチングが美しい
デザインタイプ。スネル規格1985など多彩な
機能と相まって、ライダーの心を満たす。

VT-991TR

- カラー：ホワイト/メッキ、
ブラック/メッキ●スネル規格1985
- JIS規格C種(MFJ公認)
- サイズ：S、M、L、XL
- テンブルベント、ノーズカバー付
- ケブラー®ハイブリットコンボ®構造
- 35,000円(スモークシールド標準装備、
夜間走行にはクリアーシールド
AR-514、3,500円を御使用下さい。)



※ケブラー®はデュボン社の登録商標です。

時・を・映・す。

例えばダイヤモンドのように、

輝くものには人の心をとらえる何かがある。

それは時を超えた緊張感、こだわりから生まれた孤高の余裕。

鮮明な輝き——走りの風景にもこんな美しさがほしかった。

VT-990TR、VT-991TR。メッキのフルフェイス新登場。



Wind Performance

Wind Performance

株式会社MDG

東京都葛飾区西ツツ木5-9-6 TEL(03)693-5795



財団法人 日本オートスポーツセンター 筑波サーキット

(財)日本オートスポーツセンターは下記の設立趣意に基づき昭和41年2月に文部大臣ならびに通商産業大臣の許可をうけ設立された公益法人であります。その後、5ヶ年を経て昭和45年6月に「筑波サーキット」が完成し、開場の運びとなりました。



筑波サーキットの設立は、元来、青少年の心身の健全なる発達とモータースポーツ育成を主目的として昭和41年からスタートしたもので、モータースポーツの発展、普及のもとにコースが新設され、以来、日本のレース史に残る大レースが行なわれてきました。

全長2,045mのフルコースは、大小12のコーナーからなるクロズドサーキットで、コースの特徴は、高低差が少なく短い距離の中に数多くのコーナーが設けられているために、コーナー自体がきつくなっており、コンパクトでスピードこそ出にくいですが、コースレイアウトはテクニックを要することから、国内で最もテクニカルなコースとなっています。

イベントのかかった大レースでも、マシン

の性能差が現われにくく、テクニックの勝負となることが非常に多いため、毎回のよう激しいバトルが繰り広げられ、エキサイティングなレース展開が見られるのも、筑波サーキットならではの醍醐味と言えます。また、このようなレース展開が一望できるように、観客席を設置しており、5,000人の人員を収容することができ、芝生席には10,000人、その他ピット上などに500人の収容能力を有する他、第2ヘアピン沿いに1万人以上観戦できる芝生席を持つ関東を代表するサーキットです。

今後は、益々施設の充実を計って、ピットやコントロールタワーを新設し、また本年はロードレースファン本位の運営をする決意でございます。

本部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号 オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-591-6056

筑波サーキット 〒300-34 茨城県結城郡千代川村岡字西原 ☎0296-44-3146~7

ビギナーの教科書!
ノービスの参考書!
A級のアンチヨコ!

今年も過激度ナンバー1!! 迫力満載!!

カンゾマシ

毎月1日発売 定価480円
(送料90円)

- ★国産車オールアルバム
- ★NEW MODEL スクープ!
- ★全日本ロード・レース
- ★全国三ニバイク・レース
- ★突撃取材!!



- ★NEW MODEL 試乗&紹介
- ★ショップ・スペシャル マシン&パーツ
- ★新製品タッチ&トライ

(株)内外出版社

〒110 東京都台東区東上野3-35-5 鳥海ビル
☎03(833)3931代・振替 東京8-36541

自・分・仕・様



モーターサイクルライディングは自己表現の世界。ウェアのイメージに自分をあてはめるのではもったいない。ライダーなら誰でも、自分の感性に、カラダに、ウェアを合わせたい——だから自・分・仕・様。クシタニのワンオーダースーツです。GPライダーのスーツを裁断、縫製するスタッフが、同じ手順と技術であなたのスーツを真心をこめて、創りあげます。

KUSHITANI EASY ORDER SYSTEM ワンオーダースーツ 9 のチェックポイント

- ①デザインチェック：最新モデルKI-130をはじめ38種の豊富なデザインバリエーション。(メンズ：26パターン、レディース：12パターン)
- ②サイズチェック：メンズ9サイズ、レディース7サイズの幅広いサイズ対応。袖幅丈ツメ、ヒザ中心移動も同時チェック。
- ③カラーチェック：26種のカラーバリエーションから自由な組み合わせOK。厚手革のカラーもふえました。
- ④仕様チェック：追加したり、はずしたり、プロテクター等のオプションも選択できます。
- ⑤裏地チェック：アイテムにより裏地を6色の中から指定できます。
- ⑥ネームチェック：フルオーダーと同様に、個人ネームが胸内側に入ります。
- ⑦コーディネートチェック：スーツだけでなく、グローブ、ブーツのイーシーオーダーでトータルカラーコーディネート。
- ⑧プライスチェック：色替入、サイズ選択のみなら既製品の15～20%のプライスアップ。とてもリーズナブル。
- ⑨納期チェック：ご注文から3週間以内に各ショップからお渡します。



●詳しい資料をさしあげます。官製ハガキに住所、氏名、年齢、職業を明記のうえ、資料請求券を貼付し、〒158 東京都世田谷区上用賀5-2-12 株式会社クシタニワンオーダースーツ係までお送り下さい。

資料請求券
MFJ



株式会社 クシタニ
東京都世田谷区上用賀5-2-12 ☎03(707)2361
仙台営業所：仙台市青葉区4-13-1 ☎022(295)5161
東京営業所：世田谷区上用賀5-2-12 ☎03(707)2361
浜松営業所：浜松市東区596-1 ☎0534(56)8611
大宮営業所：大宮市牧野2-17-8 ☎0427(24)0303
福岡営業所：福岡市城南区森尾5-30-16 ☎092(845)0911



栄光のチェッカーを
受けた、ヒーローたち。

いつも、

●NGKスパークプラグ
が一緒だった。

走るために生まれてきた彼らが、
レースの興奮をさらに熱くする。
きょうも、勝者に選ばれた
NGKスパークプラグ。

東福寺保雄

250ccチャンピオン/ホンダ



光安鉄美

125cc/250cc/ヤマハ



馬場善人

125cc/250cc/スズキ



岡部篤史

125ccチャンピオン/カワサキ



清水雅広

全日本250ccチャンピオン/ホンダ



平忠彦

世界ワールドGP/ヤマハ



水谷勝

全日本500cc/スズキ



宗和孝宏

全日本F-1/カワサキ



走快感が駆け抜ける——。
着火性で、始動性で、そして
加速性で群を抜く、
Vシリーズ プラグ大好評。



ジェントルな走りの…
●Vプラグ
(ゴールド ハラジウム)



ホットな走りの…
●VXプラグ
(フラチナ)



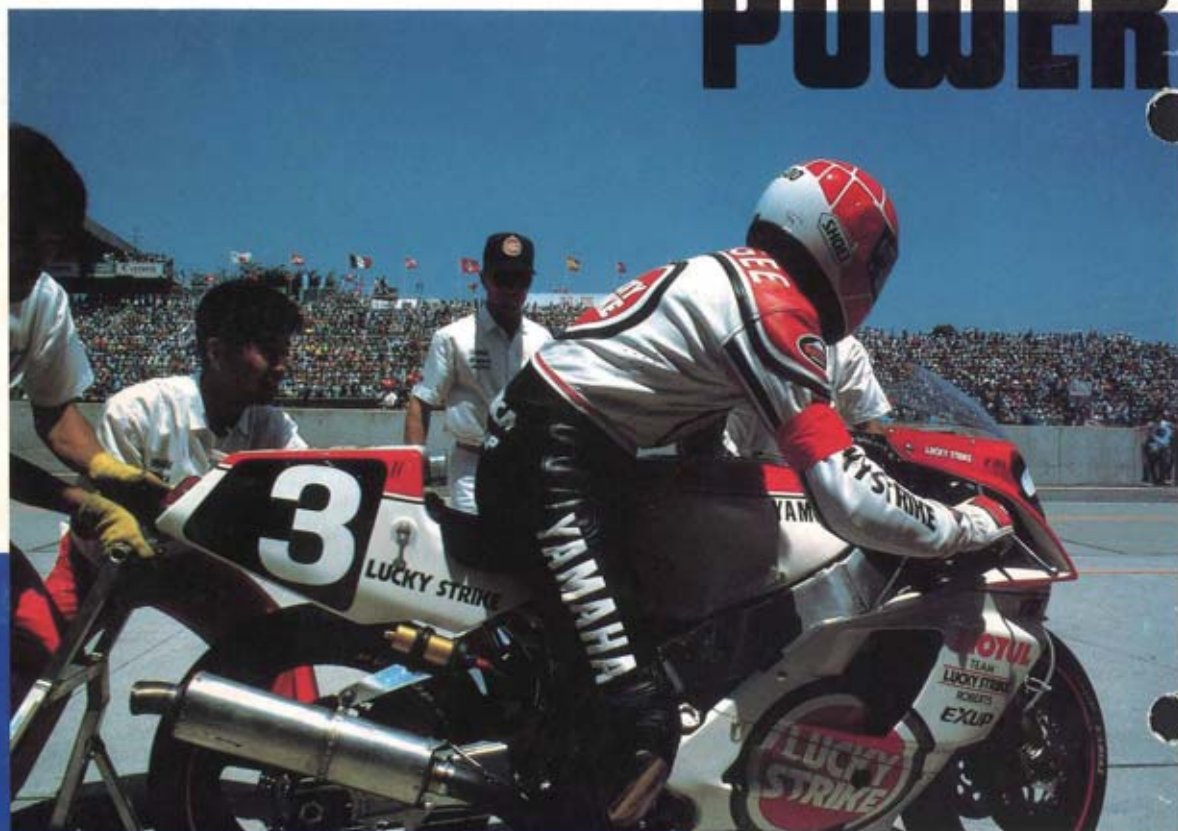
エキサイティングな走りの…
●EGVプラグ
(ゴールド ハラジウム)

NGK **V** シリーズプラグ

誰もキミを追い越せない！

RADIAL POWER

伝説を越えて、スピリットは走り続ける。



ひとつひとつの戦いにチェッカーがあっても、
コンペティション、それ自体に到達点はない。
自らの可能性を見据え、鍛えながら、
絶えずインブルーすることが大切だとケニー・ロバーツは言う。
その強靱なスピリットと、
妥協を許さないダンロップのエンジニアリングが融合し、
ラジアルをここまで昇華させた。
ダンロップ〈ライディーン〉
GPR-10に加えて、ドライ&ウェットのGPR-20もラインナップ。
ポールポジションは、誰にも明け渡さない。

ラジアル・パワー〈ライディーン〉新登場

Rideen

DRY DRY&WET
GPR-10 GPR-20

